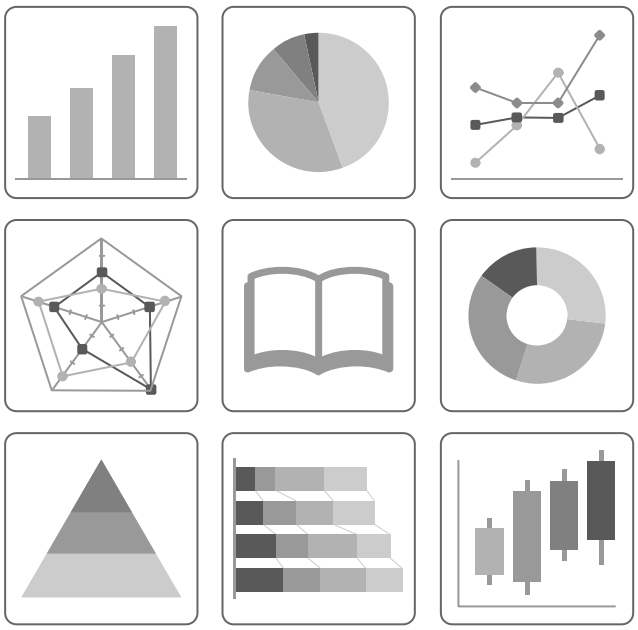
資料２－５

津島市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査
調査結果報告書



平成 31 年３月

津　　島　　市

目　次

Ⅰ　調査の概要 1

1　調査の目的 1
2　調査対象 1
3　調査期間 1
4　調査方法 1
5　回収状況 1
6　調査結果の表示方法 1

Ⅱ　調査結果 2

1　就学前児童 2
（1）宛名のお子さんとご家族の状況について 2
（2）宛名のお子さんの育ちをめぐる環境について 5
（3）宛名のお子さんの保護者の就労状況について 9
（4）平日の保育園・幼稚園・認定こども園などの利用について 18
（5）病児・病後児保育について 33
（6）土曜・休日の保育園・幼稚園・認定こども園などの利用について 38
（7）宛名のお子さんの一時預かりについて 40
（8）宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりについて 44
（9）子育て支援サービス全般について 45
(10) 小学校就学後の放課後の過ごし方について 51
(11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について 57
(12) 子育て全般について 65
2　就学児童 70
（1）宛名のお子さんとご家族の状況について 70
（2）宛名のお子さんの育ちをめぐる環境について 73
（3）宛名のお子さんの保護者の就労状況について 77
（4）病児・病後児事業等について 84
（5）放課後の過ごし方について 89
（6）生活状況について 99
（7）子育て支援サービス全般について 101
（8）子育て全般について 102

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

津島市子ども・子育て支援事業計画（2020～2024 年度）の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

２　調査対象

津島市在住の就学前児童をお持ちの方を無作為抽出
津島市在住の小学生児童をお持ちの方を無作為抽出

３　調査期間

平成 30 年 12 月 11 日から平成 30 年 12 月 21 日

４　調査方法

郵送による配布・回収（内 800 通、園・学校配布）

５　回収状況

	配　布　数	有効回答数	有効回答率
就学前児童保護者	1,500 通	1,024 通	68.3%
小学生児童保護者	500 通	426 通	85.2%

６　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを　で網かけをしています。（無回答を除く）

Ⅱ　調査結果

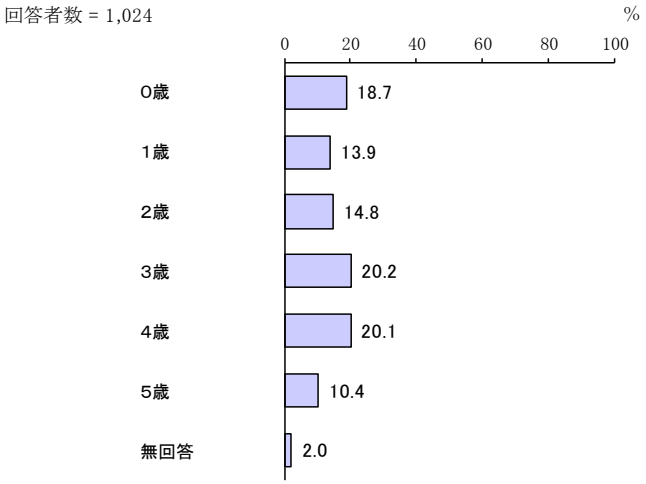
１　就学前児童

（１）宛名のお子さんとご家族の状況について

問１　封筒の宛名のお子さんの生年月をお聞きします。

宛名のお子さんの年齢

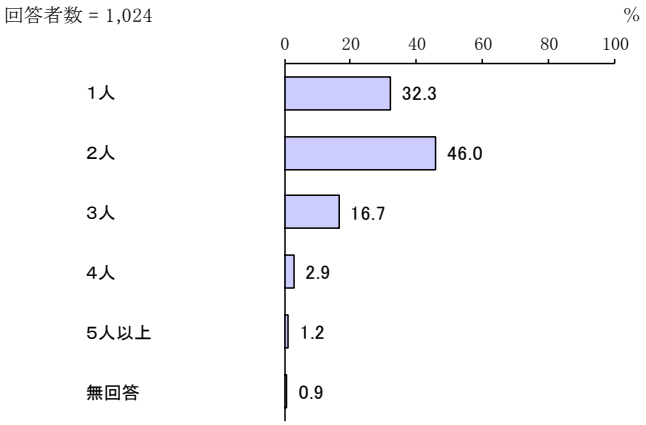
「３歳」の割合が 20.2%と最も高く、次いで「４歳」の割合が 20.1%、「０歳」の割合が 18.7%となっています。



問２　宛名のお子さんを含め、お子さんは何人ですか。２人以上の場合、末のお子さんの年齢（平成 30 年 10 月１日現在の年齢）をお書きください。

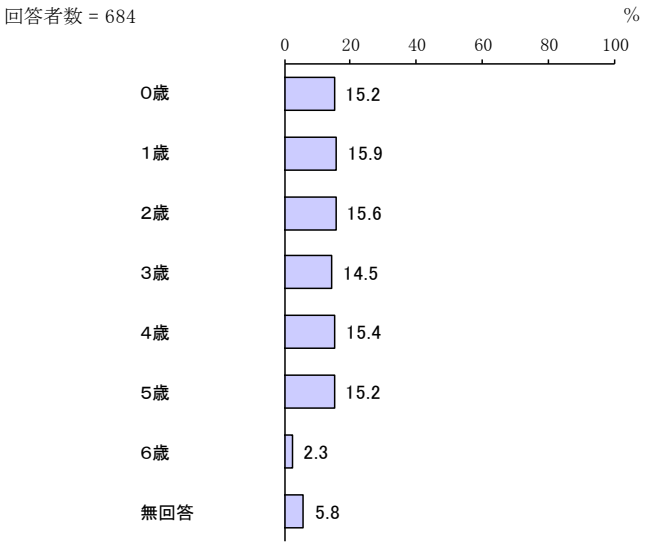
ア．お子さんの数

「２人」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「１人」の割合が 32.3%、「３人」の割合が 16.7%となっています。



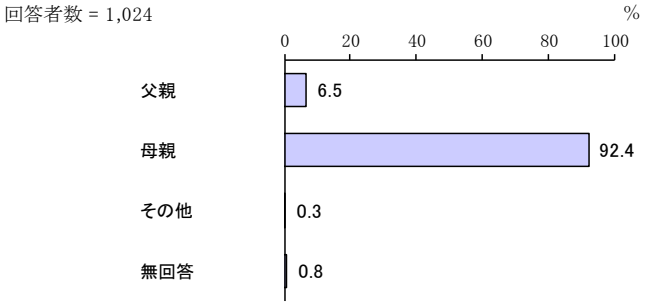
イ．末子の年齢

「１歳」の割合が 15.9%と最も高く、次いで「２歳」の割合が 15.6%、「４歳」の割合が 15.4%となっており、６歳以外はほぼ同じとなっています。



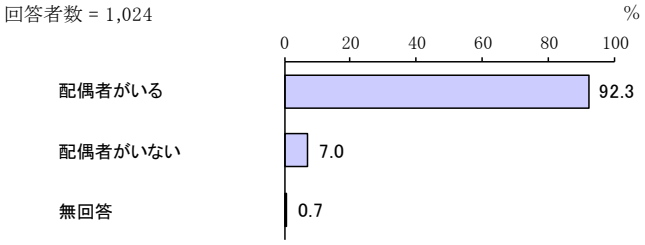
問３　このアンケートの記入者（以後、「あなた」といいます。）は、どなたですか。《あてはまる１つに○》

「父親」の割合が 6.5%、「母親」の割合が 92.4%となっています。



問４　あなたには配偶者（夫または妻）がいますか。《あてはまる１つに○》

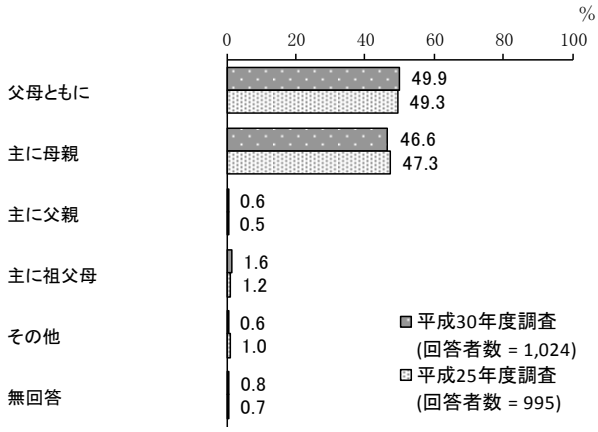
「配偶者がいる」の割合が 92.3%、「配偶者がいない」の割合が 7.0%となっています。



問５　宛名のお子さんの子育てを主にしている方はどなたですか。続柄は、宛名のお子さんから見た関係です。《あてはまる１つに○》

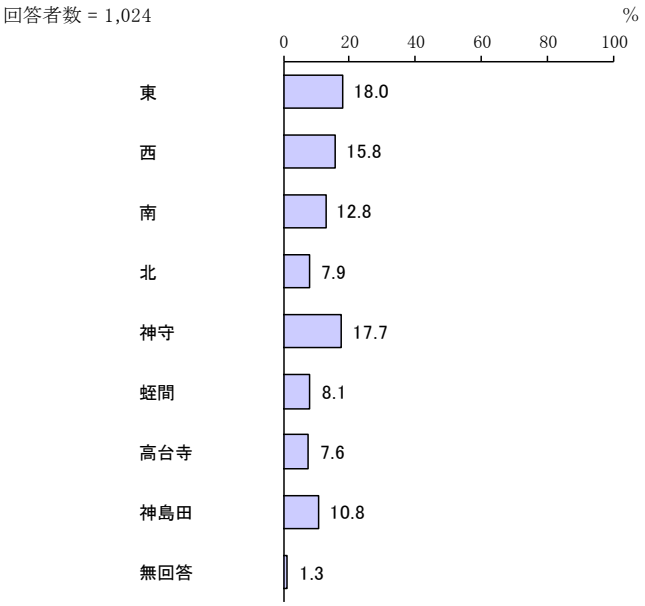
「父母ともに」の割合が 49.9%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 46.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問６　お住まいの小学校区は、どちらですか。《あてはまる１つに○》

「東」の割合が 18.0%と最も高く、次いで「神守」の割合が 17.7%、「西」の割合が 15.8%となっています。



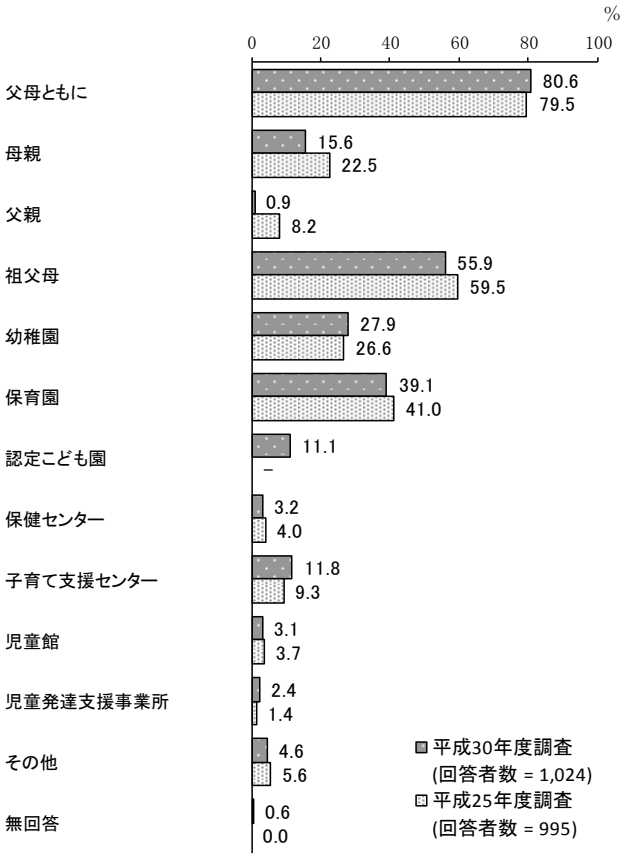
（２）宛名のお子さんの育ちをめぐる環境について

問７　宛名のお子さんの子育てに、日常的に関わっている方（施設）すべてに○をつけてください。《あてはまるすべてに○》

「父母ともに」の割合が 80.6％と最も高く、次いで「祖父母」の割合が 55.9％となっています。

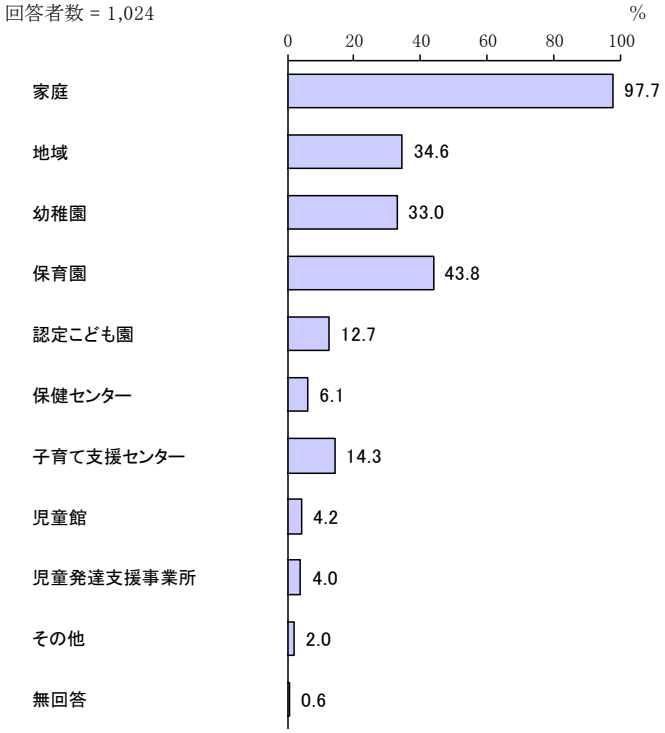
幼稚園、保育園、認定こども園のいわゆる「教育・保育施設」については、合計で 78.1％となっており、平成 25 年度調査では 67.6％でしたので、10.5 ポイントの増となっています。

また、平成 25 年度調査と比較すると、「子育て支援センター」の割合が増加しています。一方、「母親」「父親」「保健センター」の割合が減少しています。



問８　宛名のお子さんの子育てに、主に影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。《あてはまるすべてに○》

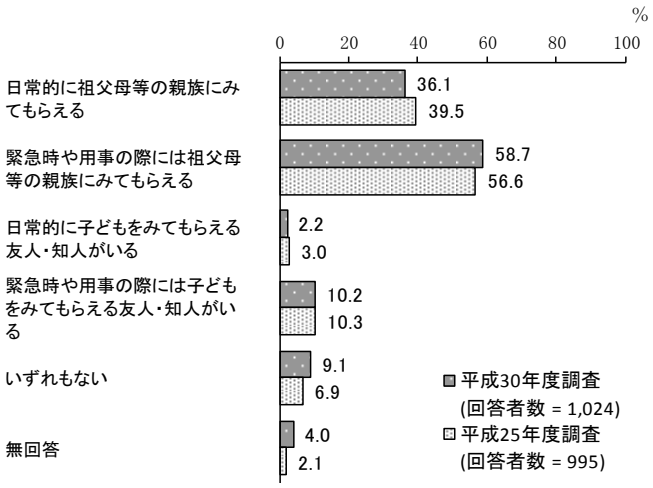
「家庭」の割合が 97.7％と最も高く、次いで幼稚園、保育園、認定こども園のいわゆる「教育・保育施設」の割合が合計で 89.5％、「地域」の割合が 34.6％となっています。



問９　お子さんをみてもらえる人はいますか。《あてはまるすべてに○》

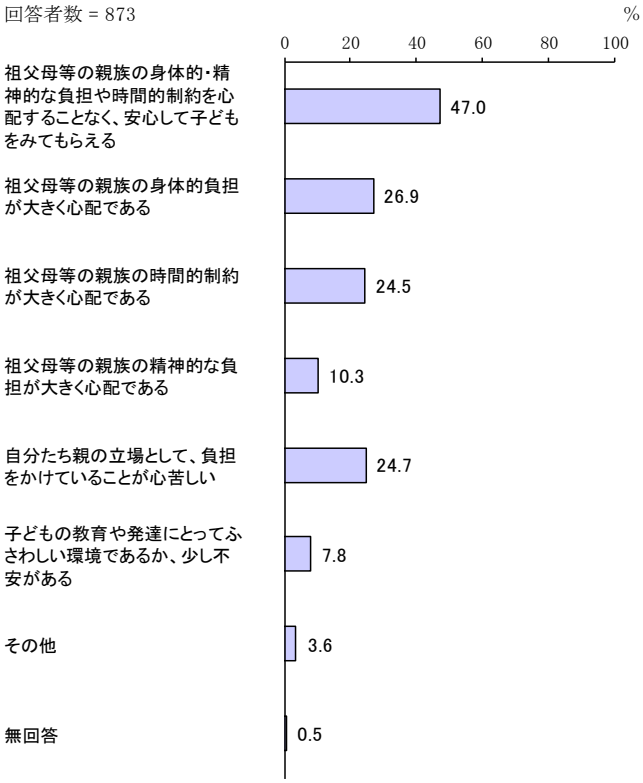
「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 58.7%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 36.1%、「緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が 10.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問９－１　祖父母等の親族にみてもらえる状況についてお聞きします。《あてはまるすべてに○》

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が 26.9%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 24.7%となっています。



【年齢別】

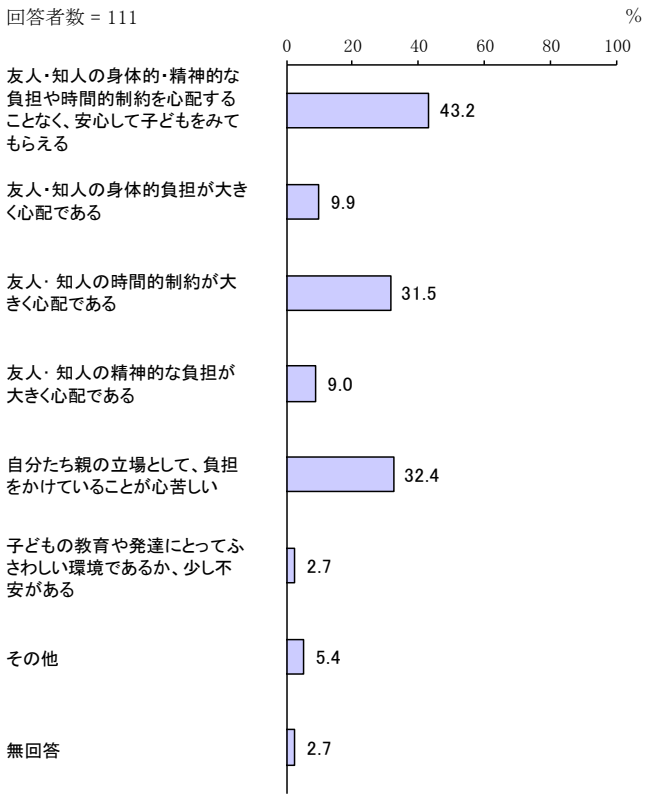
年齢別でみると、他に比べ、５歳で「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	祖父母等の親族の時間的制約が大きく心配である	祖父母等の親族の精神的な負担が大きく心配である	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答
0歳	158	50.6	20.9	25.3	7.6	20.3	8.2	3.2	0.6
1歳	119	44.5	36.1	28.6	12.6	26.9	6.7	3.4	－
2歳	136	44.9	22.1	25.0	2.9	22.1	4.4	5.1	－
3歳	186	46.8	24.2	22.6	11.8	26.3	8.1	2.2	1.1
4歳	170	51.2	30.0	24.1	12.9	23.5	5.9	4.1	0.6
5歳	93	38.7	33.3	23.7	16.1	33.3	15.1	4.3	－

問９－２　友人や知人にみてもらえる状況についてお聞きします。
《あてはまるすべてに○》

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 32.4%、「友人･知人の時間的制約が大きく心配である」の割合が 31.5%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、２歳で「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」の割合が高くなっています。

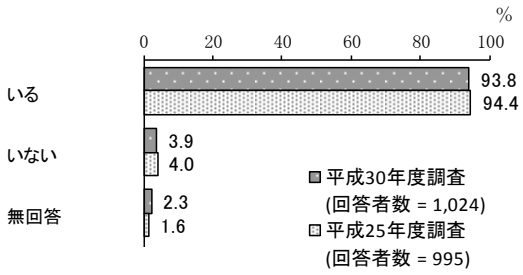
単位：％

区分	有効回答数（件）	友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	友人・知人の身体的負担が大きく心配である	友人・知人の時間的制約が大きく心配である	友人・知人の精神的な負担が大きく心配である	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答
0歳	21	47.6	19.0	33.3	4.8	23.8	－	－	－
1歳	8	50.0	－	25.0	－	25.0	－	－	12.5
2歳	16	56.3	25.0	31.3	12.5	31.3	6.3	－	－
3歳	20	55.0	－	30.0	5.0	25.0	－	5.0	－
4歳	24	29.2	12.5	25.0	16.7	41.7	4.2	12.5	4.2
5歳	19	26.3	－	42.1	10.5	47.4	5.3	10.5	5.3

問 10　あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか。《あてはまる１つに○》

「いる」の割合が 93.8%、「いない」の割合が 3.9%となっています。

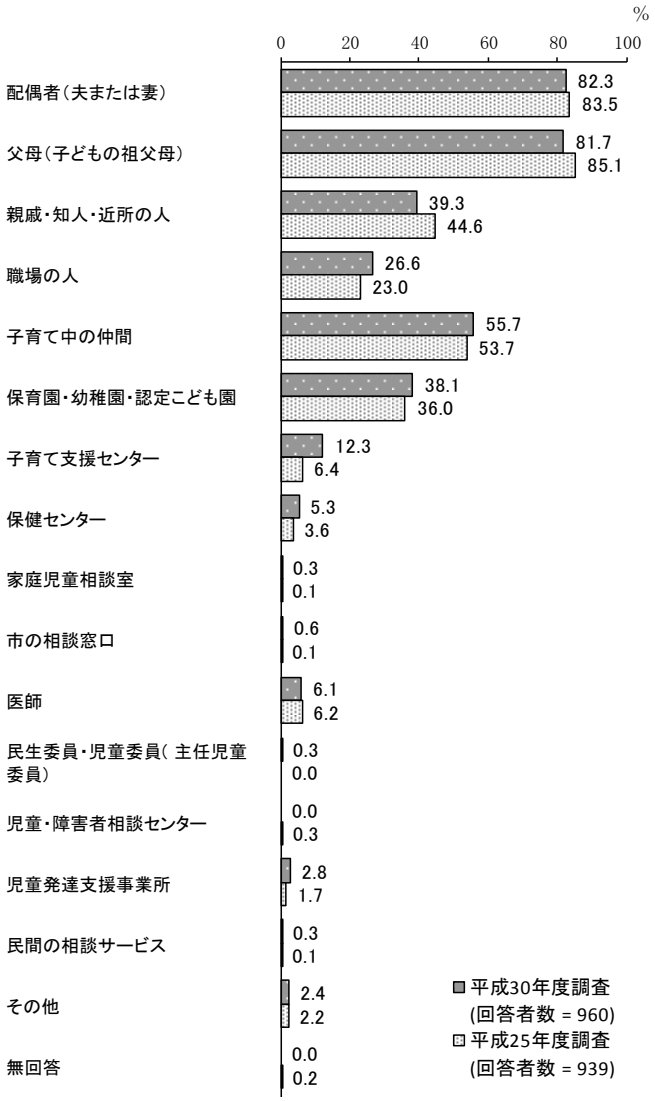
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 10－１　相談先は、次のどなたですか。《あてはまるすべてに○》

「配偶者（夫または妻)」の割合が 82.3%と最も高く、次いで「父母（子どもの祖父母)」の割合が 81.7%、「子育て中の仲間」の割合が 55.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「子育て支援センター」の割合が増加しており、施設が認知されてきたためと考えられます。一方、「親戚・知人・近所の人」の割合が減少しています。



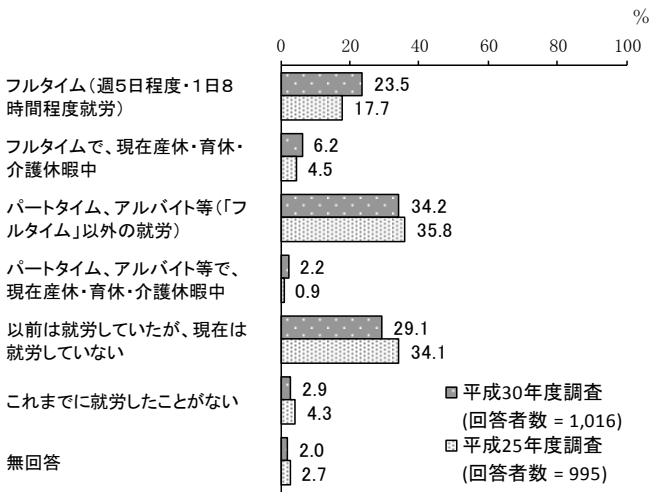
（３）宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 11　現在の就労状況を（自営、家業従事含む）お聞きします。《あてはまる１つに○》
また、併せて日数等をお書きください。

ア．母親

「パートタイム、アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)」の割合が 34.2%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 29.1%、「フルタイム（週５日程度・１日８時間程度就労)」の割合が 23.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイム（週５日程度・１日８時間程度就労)」の割合が増加しています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、５歳で「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労)」の割合が高くなっています。

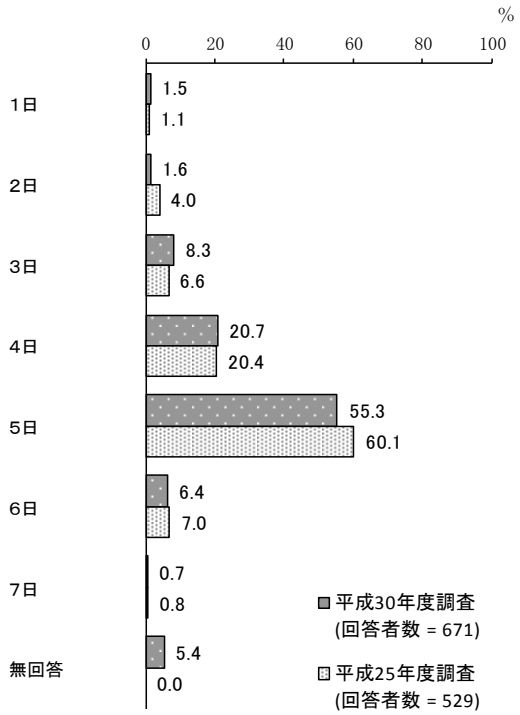
単位：％

区分	有効回答数（件）	フルタイム（週５日程度・１日８時間程度就労）	フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）	パートタイム、アルバイト等で、現在産休・育休・介護休暇中	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまでに就労したことがない	無回答
0歳	190	17.9	18.9	15.3	4.7	38.9	2.1	2.1
1歳	141	24.1	6.4	30.5	0.7	34.0	2.8	1.4
2歳	151	25.8	4.0	31.8	2.6	31.8	3.3	0.7
3歳	207	24.2	2.4	37.7	1.9	28.0	2.9	2.9
4歳	203	29.1	2.0	40.9	1.0	20.7	3.0	3.4
5歳	105	17.1	1.9	58.1	1.9	19.0	1.9	－

（ア） １週あたり就労日数

「５日」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「４日」の割合が 20.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

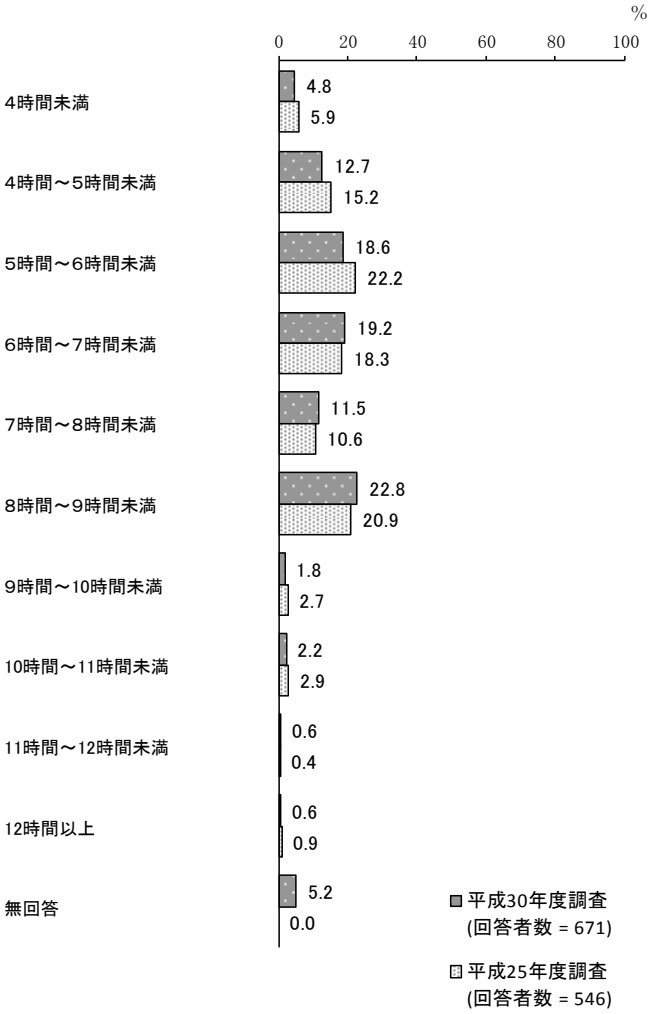


（イ） １日あたり就労時間

「８時間～９時間未満」の割合が 22.8％と最も高く、次いで「６時間～７時間未満」の割合が 19.2％、「５時間～６時間未満」の割合が 18.6％となっています。

６時間未満の割合が減少している一方で６時間以上の割合が増加しております。

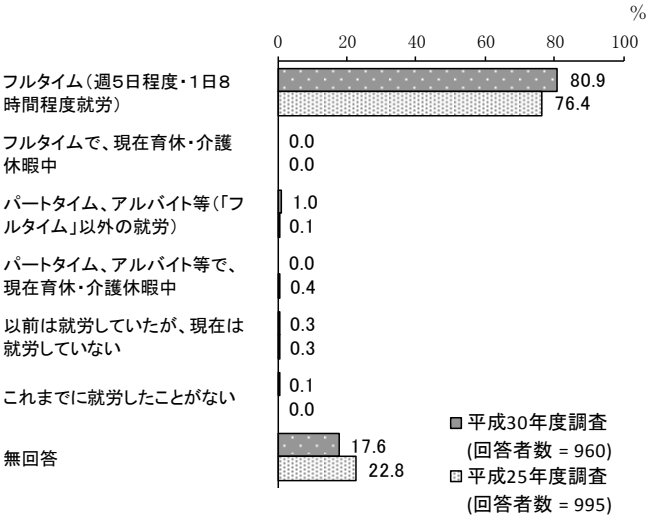
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ．父親

「フルタイム（週５日程度・１日８時間程度就労)」の割合が 80.9％と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別でみると、大きな差異はみられません。

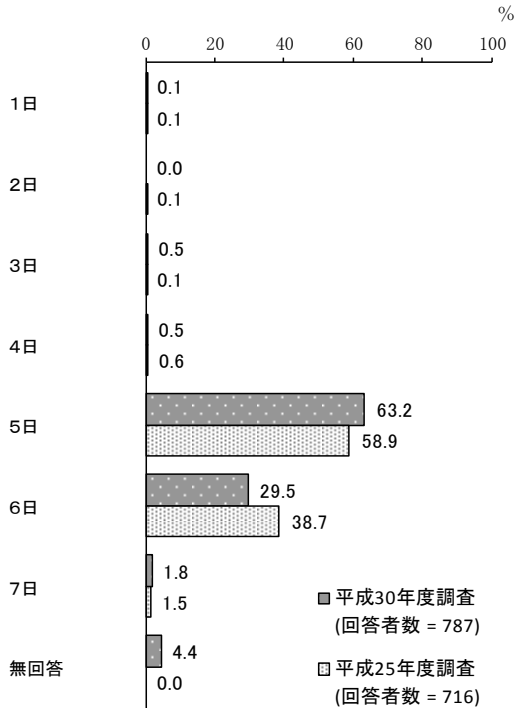
単位：％

区分	有効回答数（件）	フルタイム（週５日程度・１日８時間程度就労）	フルタイムで、現在育休・介護休暇中	パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）	パートタイム、アルバイト等で、現在育休・介護休暇中	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまでに就労したことがない	無回答
0歳	183	80.3	－	1.1	－	－	－	18.6
1歳	134	81.3	－	1.5	－	－	－	17.2
2歳	137	79.6	－	0.7	－	0.7	－	19.0
3歳	196	82.7	－	1.0	－	－	－	16.3
4歳	193	78.2	－	1.0	－	1.0	0.5	19.2
5歳	97	82.5	－	1.0	－	－	－	16.5

（ア）１週あたり就労日数

「５日」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「６日」の割合が 29.5%となっています。

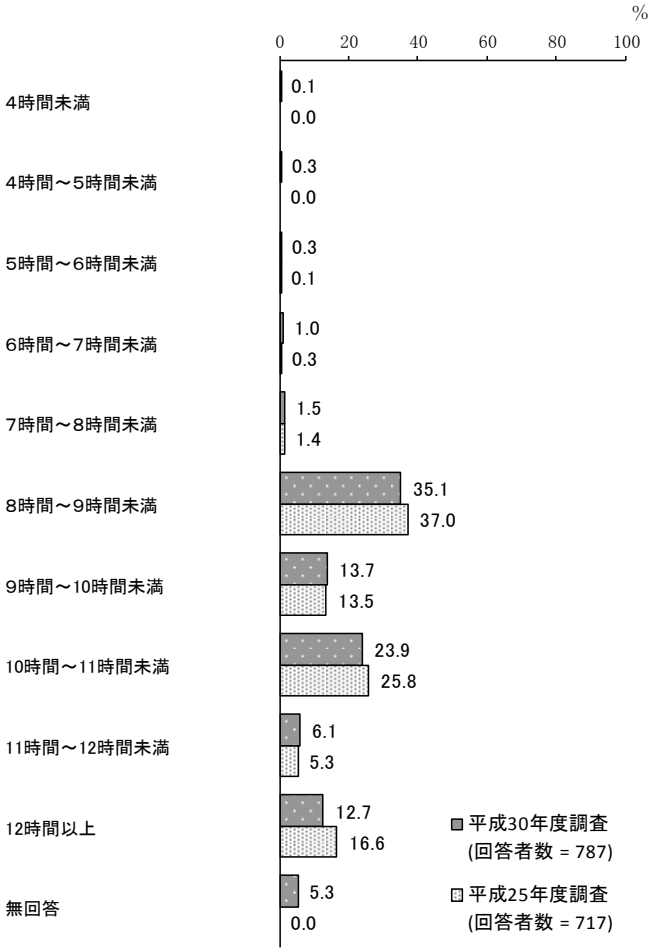
平成 25 年度調査と比較すると、「６日」の割合が減少しています。



（イ） １日あたり就労時間

「８時間～９時間未満」の割合が 35.1％と最も高く、次いで「10 時間～11 時間未満」の割合が 23.9％、「９時間～10 時間未満」の割合が 13.7％となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

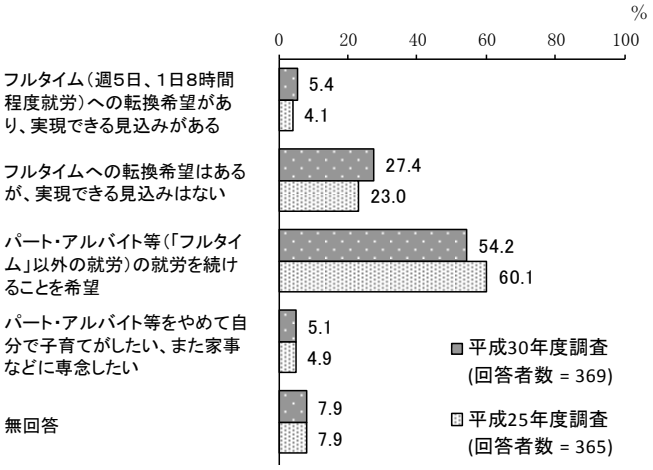


問 11－１　フルタイムへの転換希望はありますか。《あてはまる１つに○》

ア．母親

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）の就労を続けることを希望」の割合が 54.2％と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 27.4％となっています。

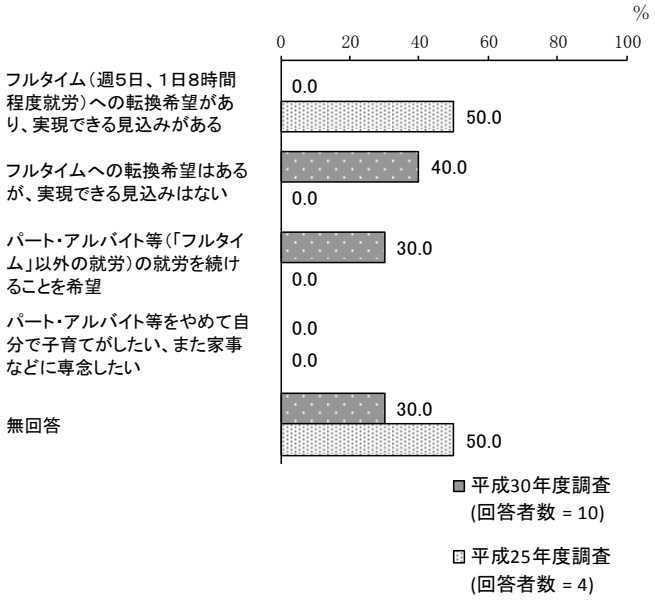
平成 25 年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）の就労を続けることを希望」の割合が減少しています。



イ．父親

「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 40.0％と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）の就労を続けることを希望」の割合が 30.0％となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）の就労を続けることを希望」の割合が増加しています。一方、「フルタイム（週５日、１日８時間程度就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が減少しています。

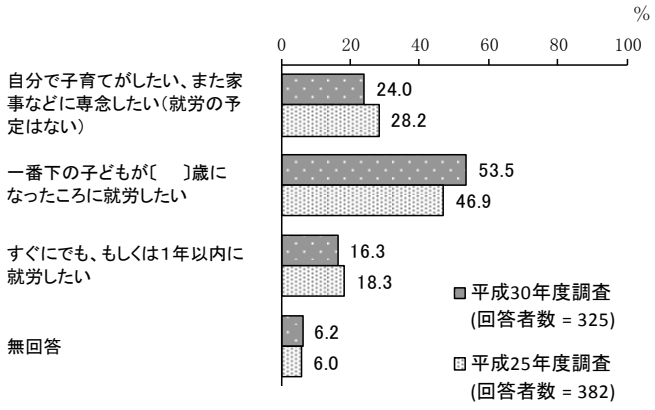


問 11－２　就労希望はありますか。《あてはまる１つに○》

ア．母親

「一番下の子どもが〔　　〕歳になったころに就労したい」の割合が 53.5％と最も高く、次いで「自分で子育てがしたい、また家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が 24.0％、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」の割合が 16.3％となっています。

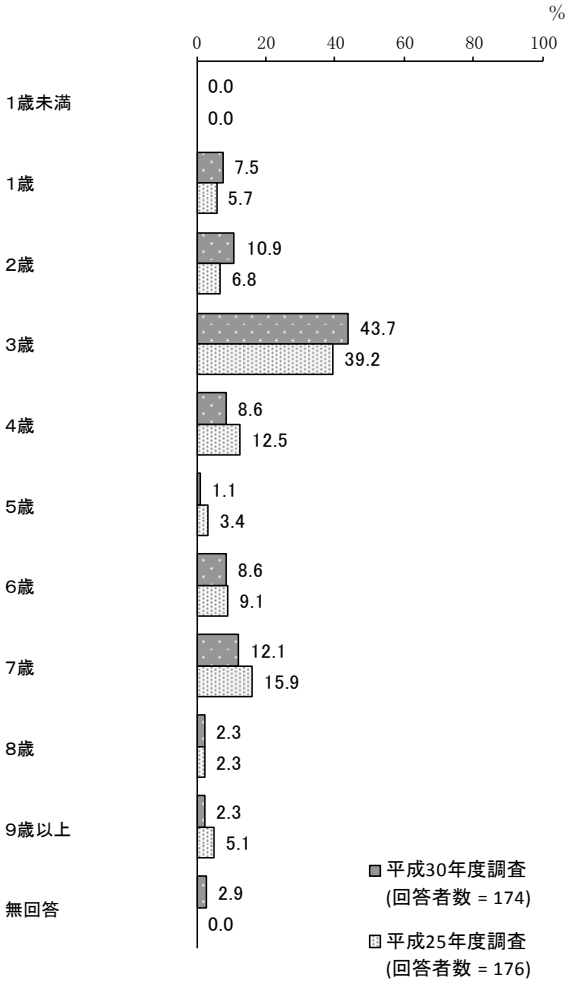
平成 25 年度調査と比較すると、「一番下の子どもが〔　　〕歳になったころに就労したい」の割合が増加しています。



（ア）一番下の子どもが（　　）歳になったころ

「３歳」の割合が 43.7%と最も高く、次いで「７歳」の割合が 12.1%、「２歳」の割合が 10.9%となっています。

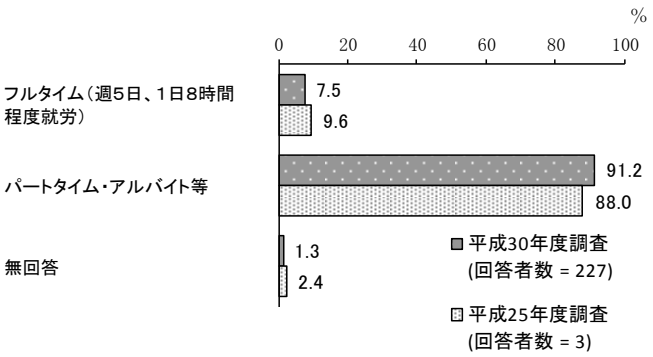
平成 25 年度調査と比較すると、３歳未満の割合が増加しており、出産後短期間での職場復帰の希望が高くなっております。



（イ）希望する就労形態

「フルタイム（週５日、１日８時間程度就労）」の割合が 7.5%、「パートタイム・アルバイト等」の割合が 91.2%となっています。

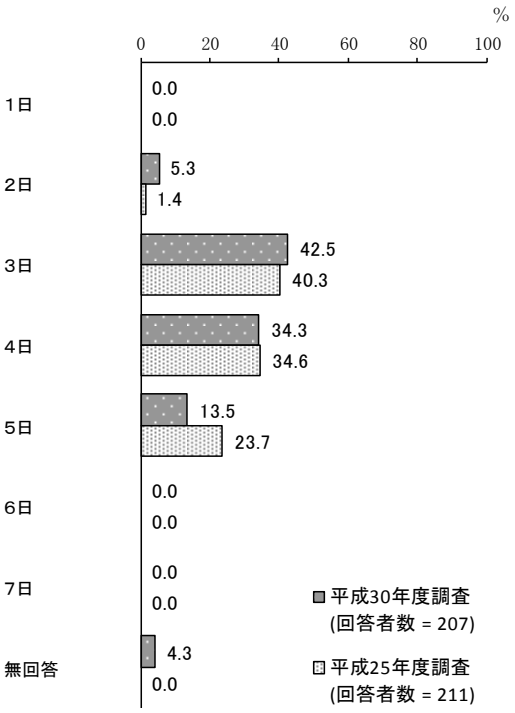
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



①希望１週あたり就労日数

「３日」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「４日」の割合が 34.3%、「５日」の割合が 13.5%となっています。

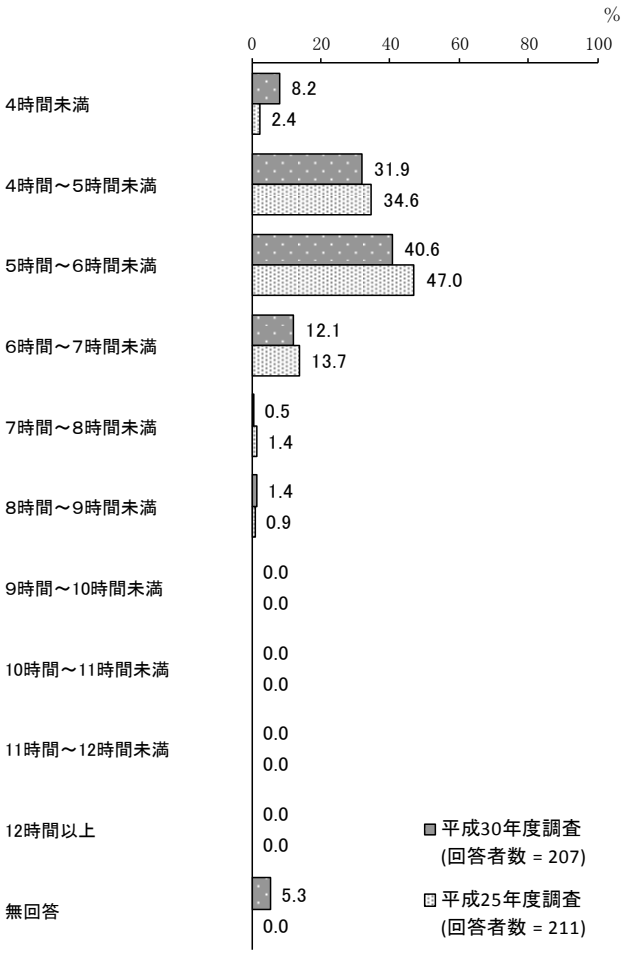
平成 25 年度調査と比較すると、「５日」の割合が減少しています。



②希望１日あたり就労時間

「５時間～６時間未満」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「４時間～５時間未満」の割合が 31.9%、「６時間～７時間未満」の割合が 12.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「４時間未満」の割合が増加しています。一方、「５時間～６時間未満」の割合が減少しています。



イ．父親

「自分で子育てがしたい、また家事などに専念したい（就労の予定はない)」が 2 件となっています。

（ア）一番下の子どもが（　　）歳になったころ

有効回答がありませんでした。

（イ）希望する就労形態

有効回答がありませんでした。

①希望１週あたり就労日数

有効回答がありませんでした。

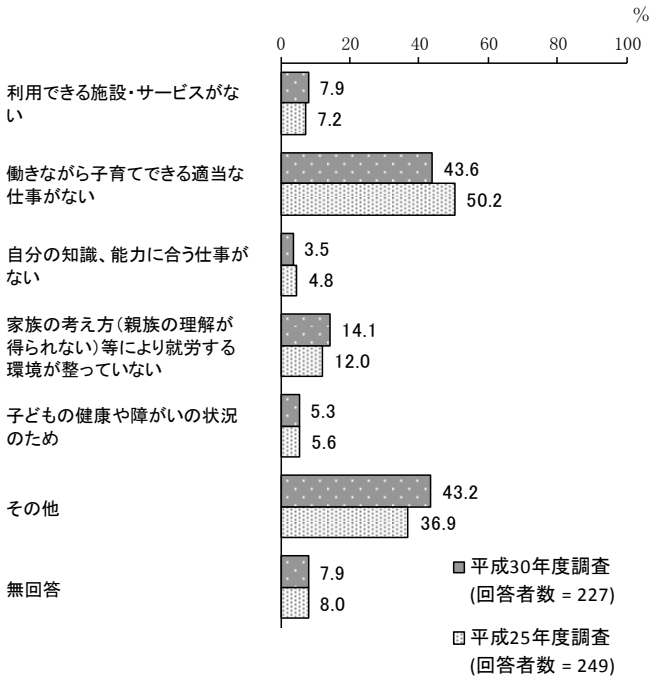
②希望１日あたり就労時間

有効回答がありませんでした。

問 11－３　現在働いていない理由は何ですか。《あてはまるすべてに○》

「働きながら子育てできる適当な仕事がない」の割合が 43.6%と最も高く、次いで「家族の考え方（親族の理解が得られない）等により就労する環境が整っていない」の割合が 14.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」の割合が減少しています。

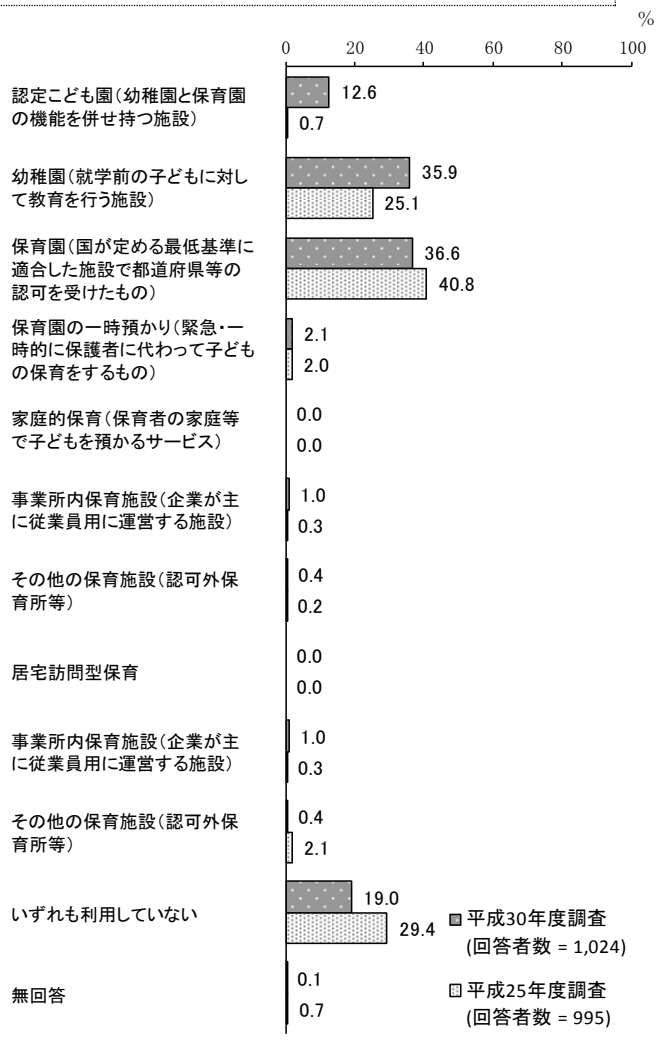


（４）平日の保育園・幼稚園・認定こども園などの利用について

問 12　宛名のお子さんは、現在、平日に次の施設・サービスを定期利用していますか。
《年間を通じて定期利用しているものすべてに○》

「保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」の割合が 36.6%と最も高く、次いで「幼稚園（就学前の子どもに対して教育を行う施設）」の割合が 35.9%、「いずれも利用していない」の割合が 19.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）」「幼稚園（就学前の子どもに対して教育を行う施設）」の割合が増加しています。一方、「いずれも利用していない」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、３歳で「幼稚園（就学前の子どもに対して教育を行う施設)」の割合が、１歳で「保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）	幼稚園（就学前の子どもに対して教育を行う施設）	保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）	保育園の一時預かり（緊急・一時的に保護者に代わって子どもの保育をするもの）	小規模な保育施設（市の認可を受けた定員が概ね６～19人のもの）	家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを預かるサービス）	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	その他の保育施設（認可外保育所等）	いずれも利用していない	無回答
0歳	191	6.3	11.0	19.9	2.6	－	－	1.6	－	62.8	－
1歳	142	8.5	14.8	49.3	4.9	－	－	1.4	－	30.3	－
2歳	152	9.9	31.6	44.7	4.6	－	－	2.6	0.7	15.8	－
3歳	207	16.4	56.5	31.9	－	0.5	－	0.5	－	1.0	－
4歳	206	18.9	48.1	41.7	1.0	－	－	－	0.5	0.5	0.5
5歳	106	14.2	53.8	36.8	0.9	－	－	－	1.9	－	－

平成 25 年度調査との比較

平成 25 年度調査と比較すると、すべての年齢で「いずれも利用していない」の割合が減少しています。

（ア）平成 30 年度調査

単位：%

区分	有効回答数（件）	認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）	幼稚園（就学前の子どもに対して教育を行う施設）	保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）	保育園の一時預かり（緊急・一時的に保護者に代わって子どもの保育をするもの）	小規模な保育施設（市の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの）	家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを預かるサービス）	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	その他の保育施設（認可外保育所等）	いずれも利用していない	無回答
0歳	191	6.3	11.0	19.9	2.6	－	－	1.6	－	62.8	－
1・2歳	294	9.2	23.5	46.9	4.8	－	－	2.0	0.3	22.8	－
3歳以上	519	17.0	52.6	36.8	0.6	0.2	－	0.2	0.6	0.6	0.2

（イ）平成 25 年度調査

単位：%

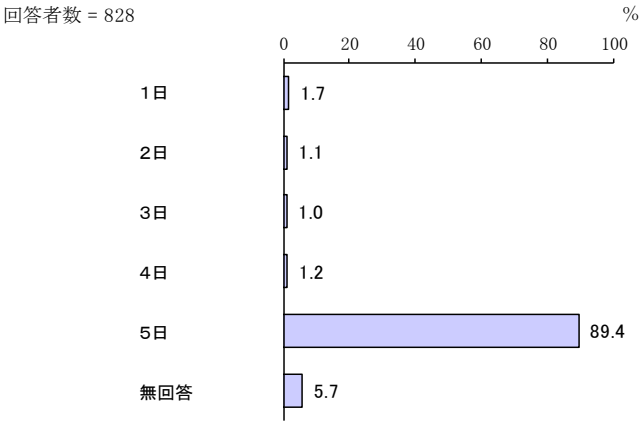
区分	有効回答数（件）	認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）	幼稚園（就学前の子どもに対して教育を行う施設）	保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）	保育園の一時預かり（緊急・一時的に保護者に代わって子どもの保育をするもの）	小規模な保育施設（市の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの）	家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを預かるサービス）	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	その他の保育施設（認可外保育所等）	いずれも利用していない	無回答
0歳	144	0.7	0.7	10.4	3.5	－	－	0.7	0.0	83.3	1.4
1・2歳	306	0.7	3.9	40.8	2.9	－	－	0.7	0.3	47.1	0.7
3歳以上	541	0.7	43.6	48.8	1.1	－	－	－	0.2	5.2	0.6

問 12－１　施設・サービスの利用について、〔　　〕内に数字をお書きください。時間帯は、24 時間制（例：9：00～18：00）でお書きください。

ア．現在の利用状況

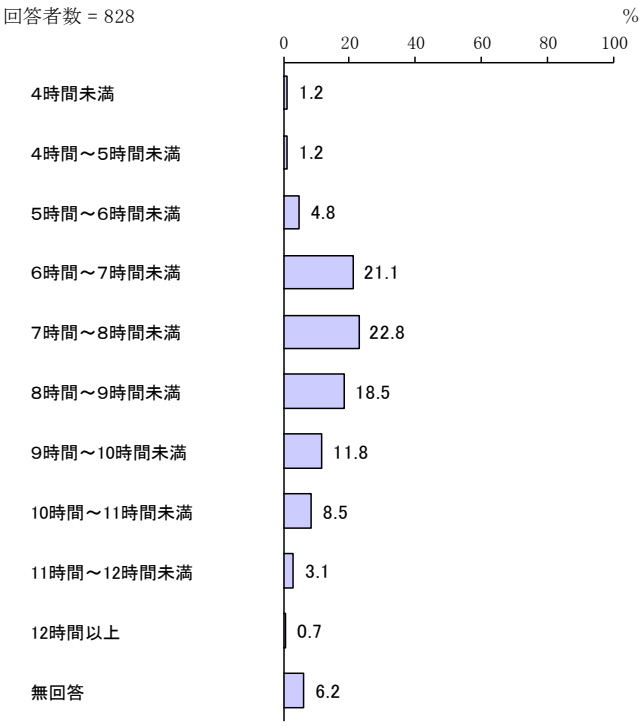
（ア）１週当たり利用日数

「５日」の割合が 89.4%と最も高くなっています。



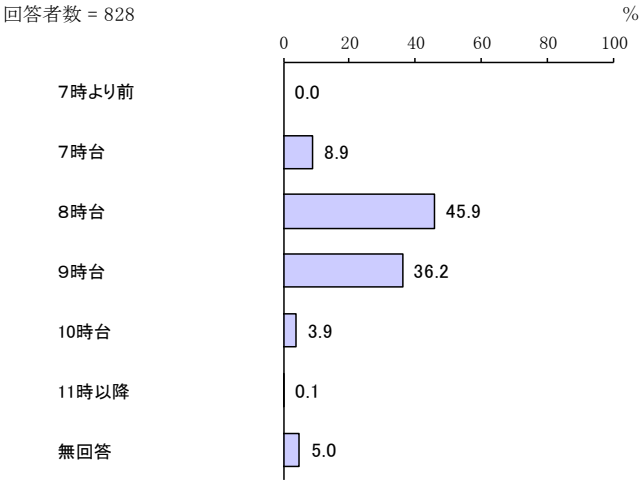
（イ）一日当たり利用時間

「７時間～８時間未満」の割合が 22.8%と最も高く、次いで「６時間～７時間未満」の割合が 21.1%、「８時間～９時間未満」の割合が 18.5%となっています。



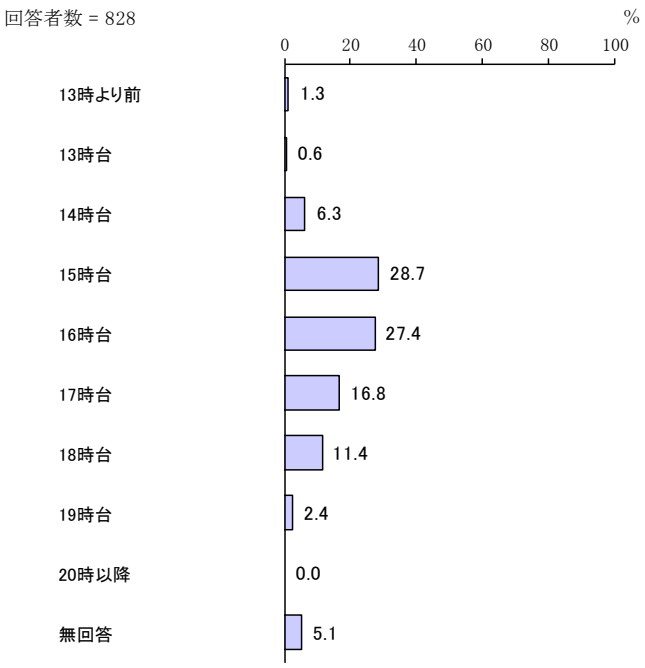
（ウ）時間帯　利用開始時刻

「８時台」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 36.2%となっています。



（エ）時間帯　利用終了時刻

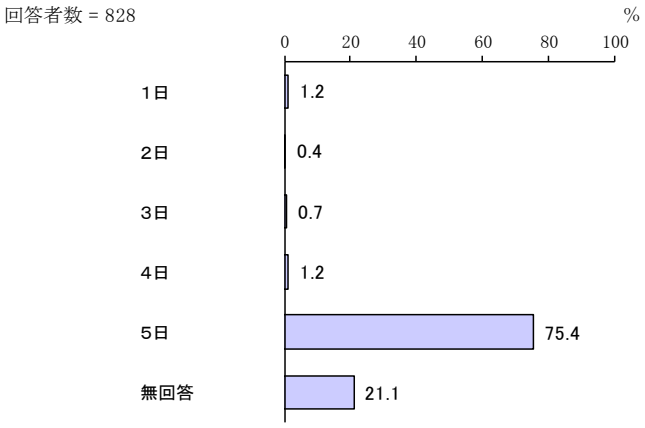
「15 時台」の割合が 28.7%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 27.4%、「17 時台」の割合が 16.8%となっています。



イ．今後の利用希望

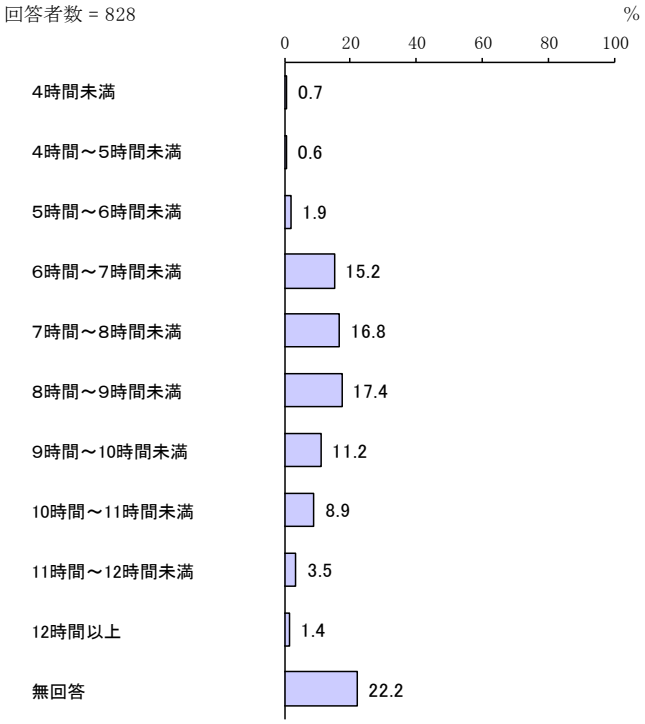
（ア）１週当たり利用日数

「５日」の割合が 75.4%と最も高くなっています。



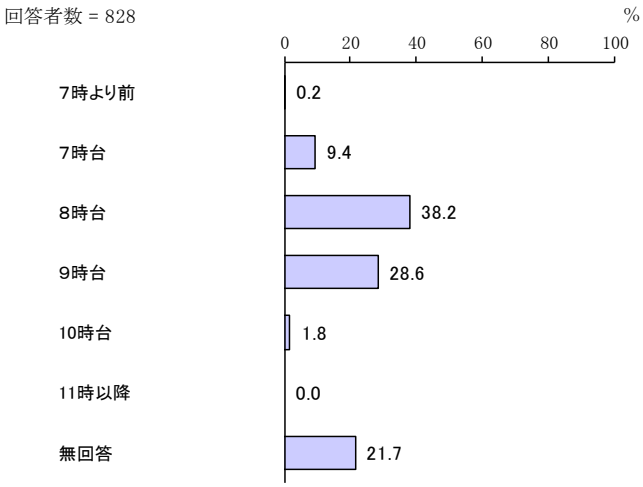
（イ）一日当たり利用時間

「８時間～９時間未満」の割合が 17.4%と最も高く、次いで「７時間～８時間未満」の割合が 16.8%、「６時間～７時間未満」の割合が 15.2%となっています。



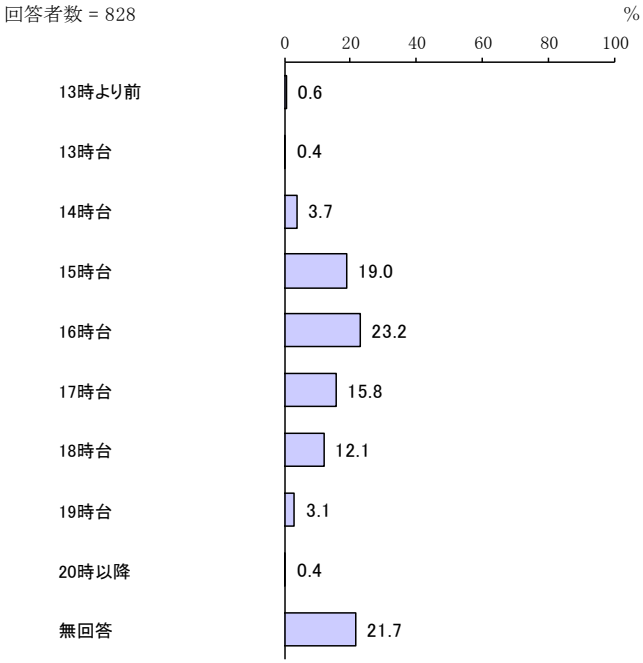
（ウ）時間帯　利用開始時刻

「８時台」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 28.6%となっています。



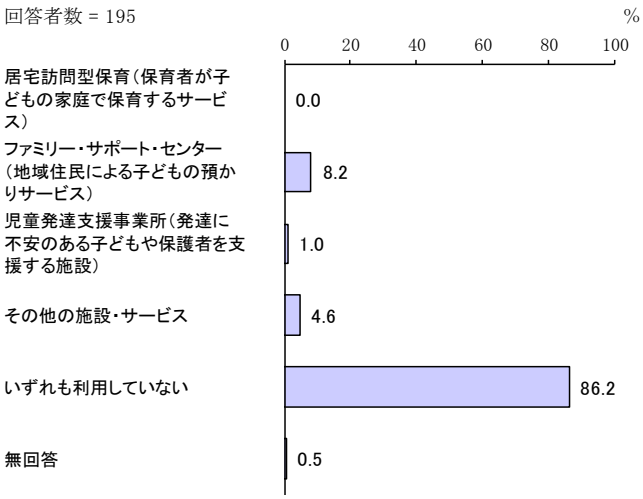
（エ）時間帯　利用終了時刻

「16 時台」の割合が 23.2%と最も高く、次いで「15 時台」の割合が 19.0%、「17 時台」の割合が 15.8%となっています。



問 12－２　次の選択肢の中で利用している施設はありますか。《あてはまるすべてに○》

「いずれも利用していない」の割合が 86.2%と最も高くなっています。

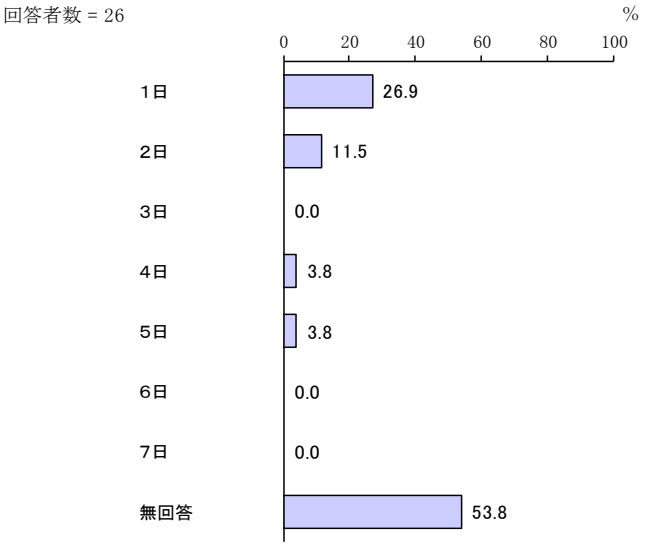


問 12－３　施設・サービスの利用について、〔　　〕内に数字をお書きください。時間帯は、24 時間制（例：9：00～18：00）でお書きください。

ア．現在の利用状況

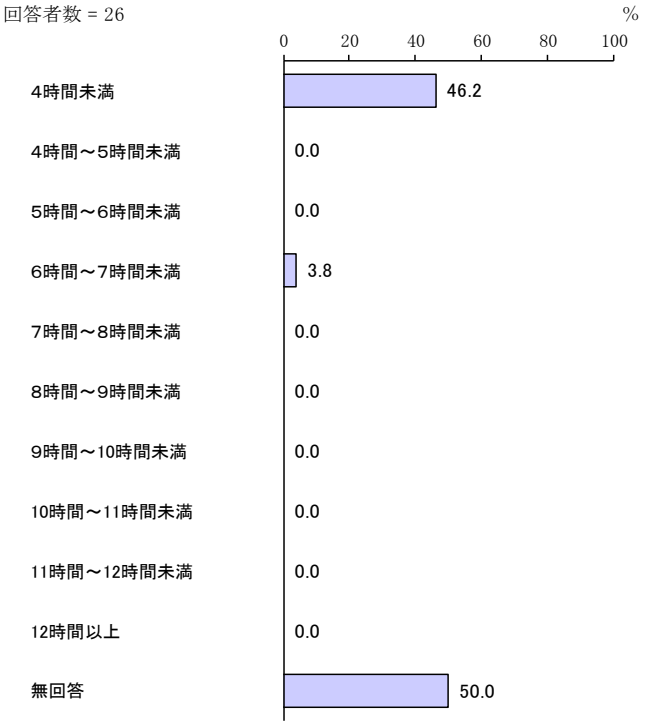
（ア）１週当たり利用日数

「１日」の割合が 26.9%と最も高く、次いで「２日」の割合が 11.5%となっています。



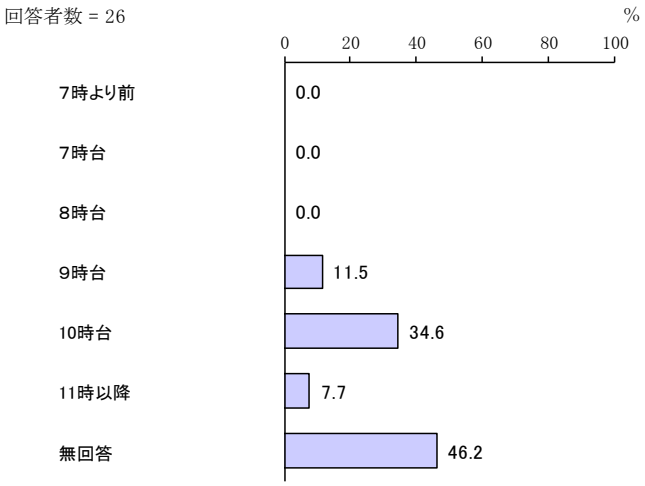
（イ）一日当たり利用時間

「４時間未満」の割合が 46.2%と最も高くなっています。



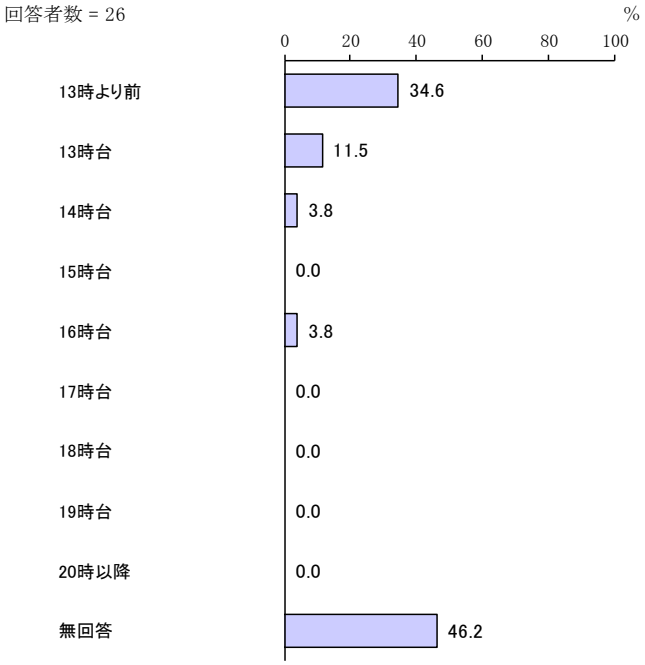
（ウ）時間帯　利用開始時刻

「10 時台」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 11.5%となっています。



（エ）時間帯　利用終了時刻

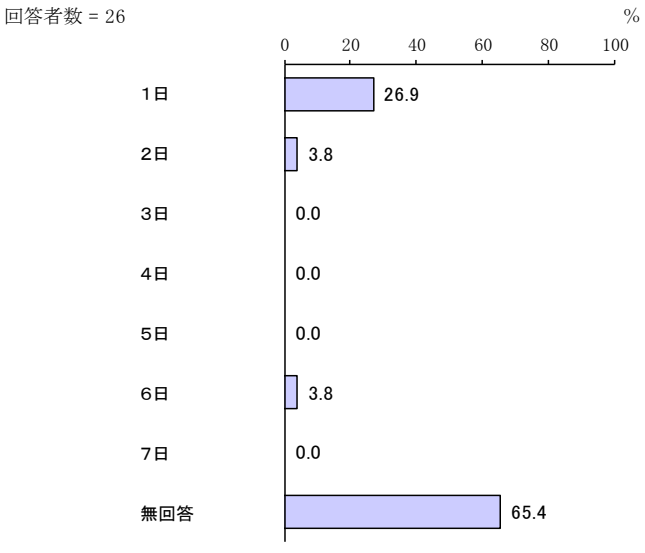
「13 時より前」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「13 時台」の割合が 11.5%となっています。



イ．今後の利用希望

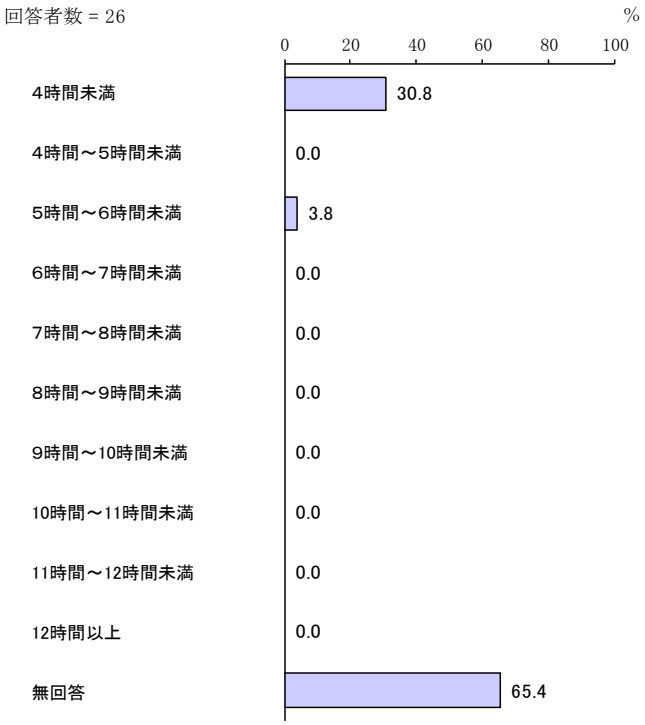
（ア）１週当たり利用日数

「１日」の割合が 26.9%と最も高くなっています。



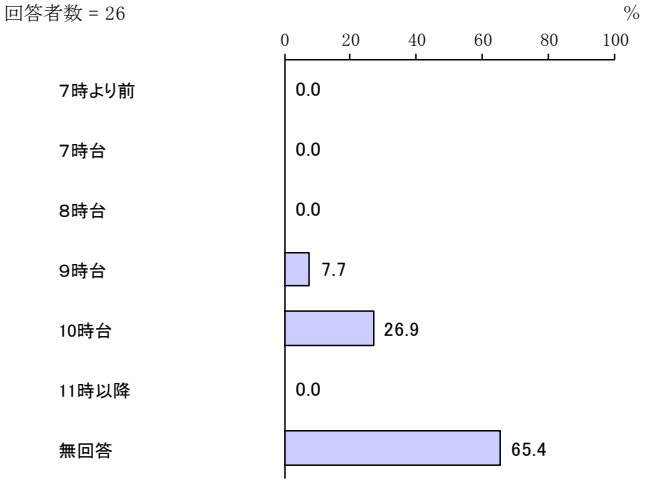
（イ）一日当たり利用時間

「４時間未満」の割合が 30.8%と最も高くなっています。



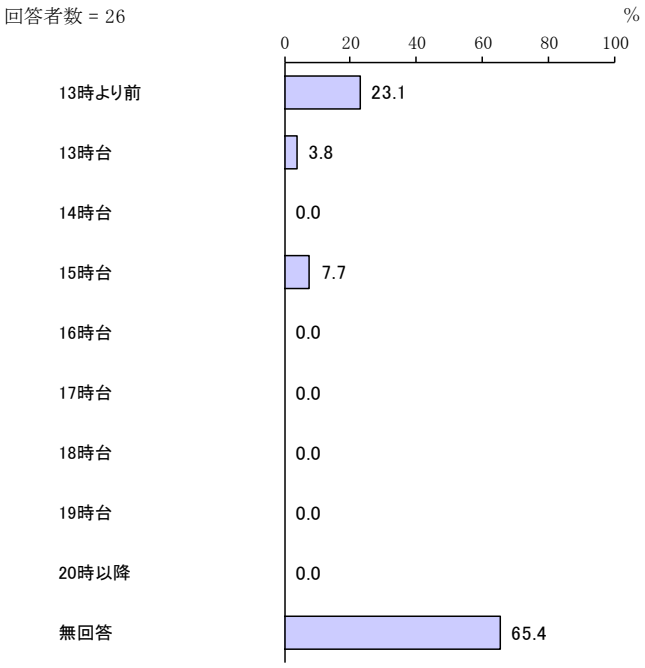
（ウ）時間帯　利用開始時刻

「10 時台」の割合が 26.9%と最も高くなっています。



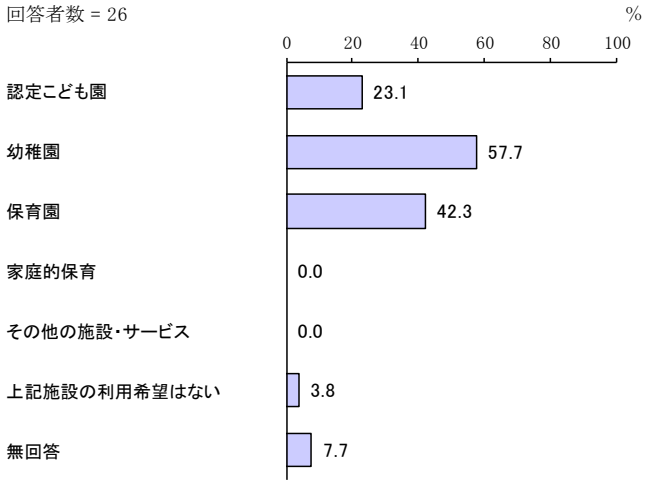
（エ）時間帯　利用終了時刻

「13 時より前」の割合が 23.1%と最も高くなっています。



問 12－４　次の選択肢の中で利用したい施設はありますか。《あてはまるすべてに○》

「幼稚園」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「保育園」の割合が 42.3%、「認定こども園」の割合が 23.1%となっています。

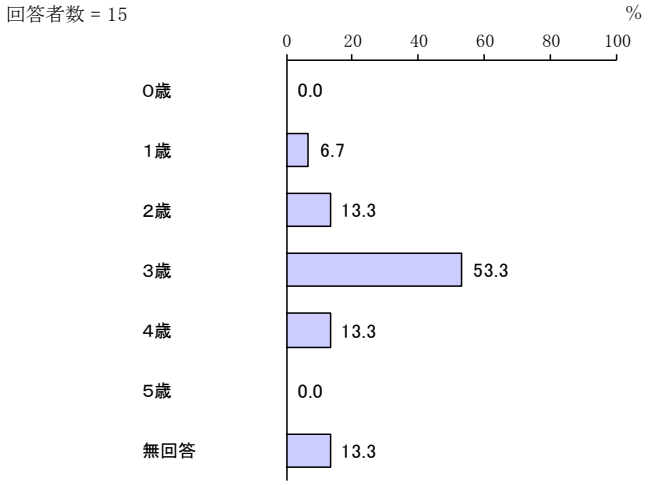


ア．認定こども園　利用したい年齢

「３歳」が３件となっています。「１歳」が２件、「４歳」が１件となっています。

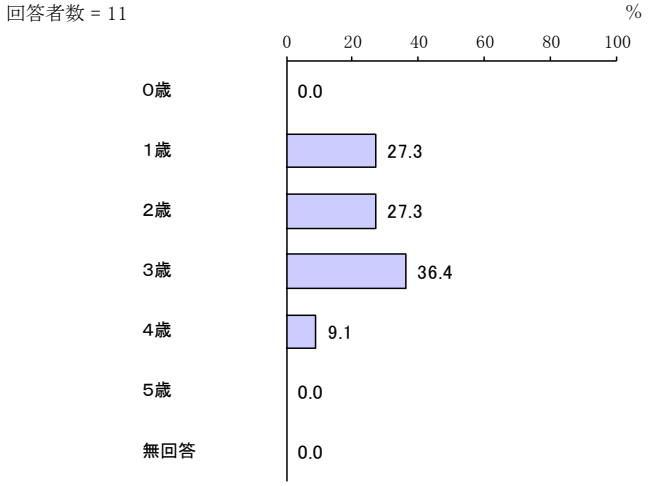
イ．幼稚園　利用したい年齢

「３歳」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「２歳」、「４歳」の割合が 13.3%となっています。



ウ．保育園　利用したい年齢

「３歳」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「１歳」、「２歳」の割合が 27.3%となっています。



エ．家庭的保育　利用したい年齢

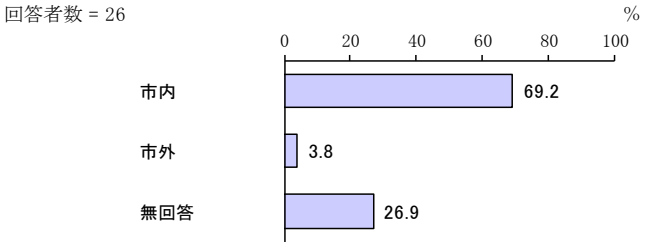
有効回答がありませんでした。

オ．その他の施設・サービス　利用したい年齢

有効回答がありませんでした。

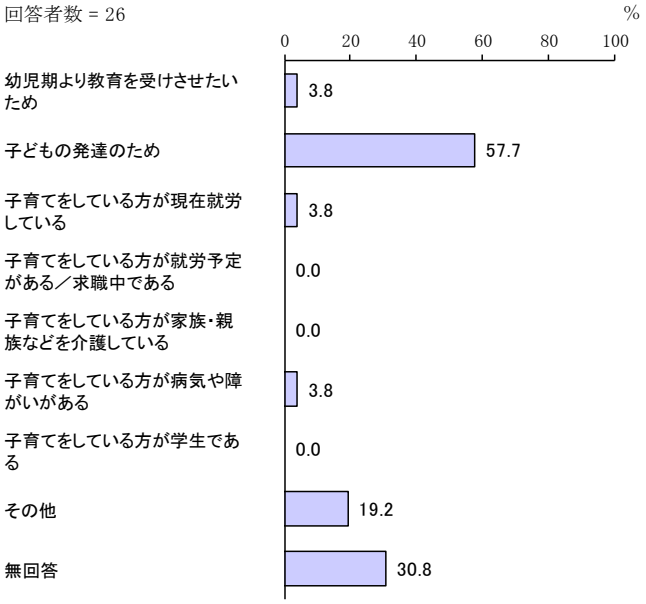
問 12－５　現在利用されている施設・サービスの場所はどちらですか。《あてはまる１つに○》

「市内」の割合が 69.2%、「市外」の割合が 3.8%となっています。



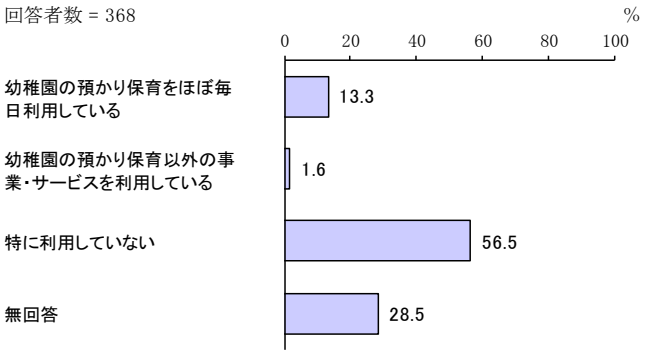
問 12－６　現在、施設・サービスを利用されている理由は何ですか。《あてはまるすべてに○》

「子どもの発達のため」の割合が 57.7%と最も高くなっています。



問 12－７　現在、預かり保育を利用していますか。《あてはまる１つに○》

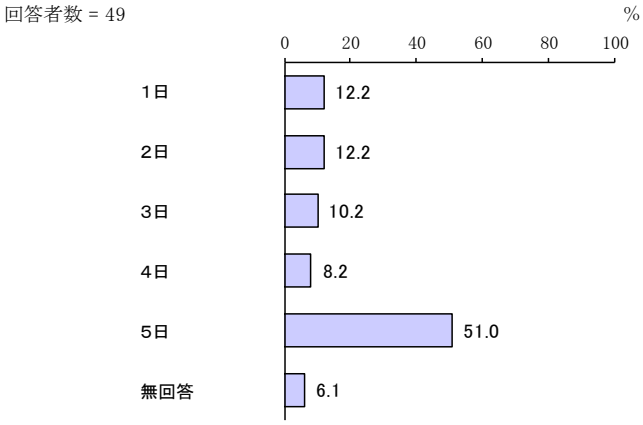
「特に利用していない」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育をほぼ毎日利用している」の割合が 13.3%となっています。



問 12－８　最も多い利用パターンをお書きください。

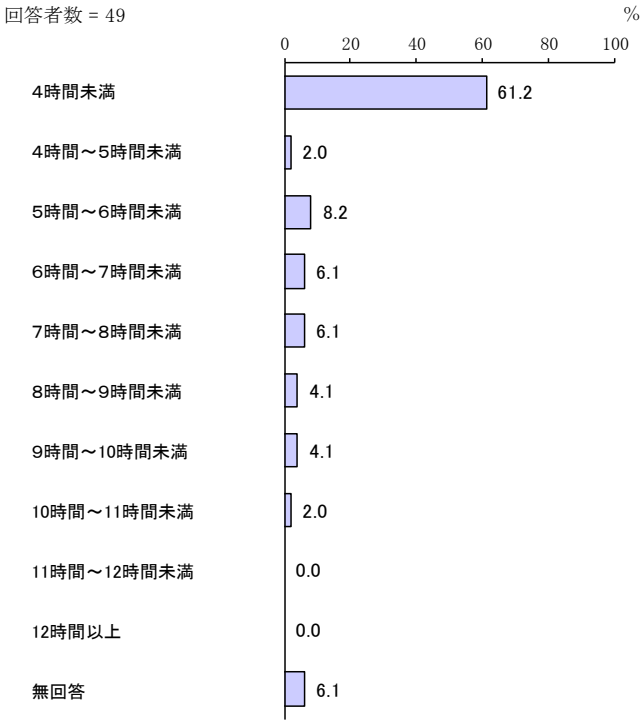
ア．１週当たり利用日数

「５日」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「１日」、「２日」の割合が 12.2%となっています。



イ．一日当たり利用時間

「４時間未満」の割合が 61.2%と最も高くなっています。



問 12－９　利用している保育事業・サービスは何ですか。《あてはまる１つに○》
また、併せての日数・時間をお書きください。

「保育園の一時預かり」が２件となっています。「ベビーシッター」が１件となっています。

ア．１週当たり利用日数

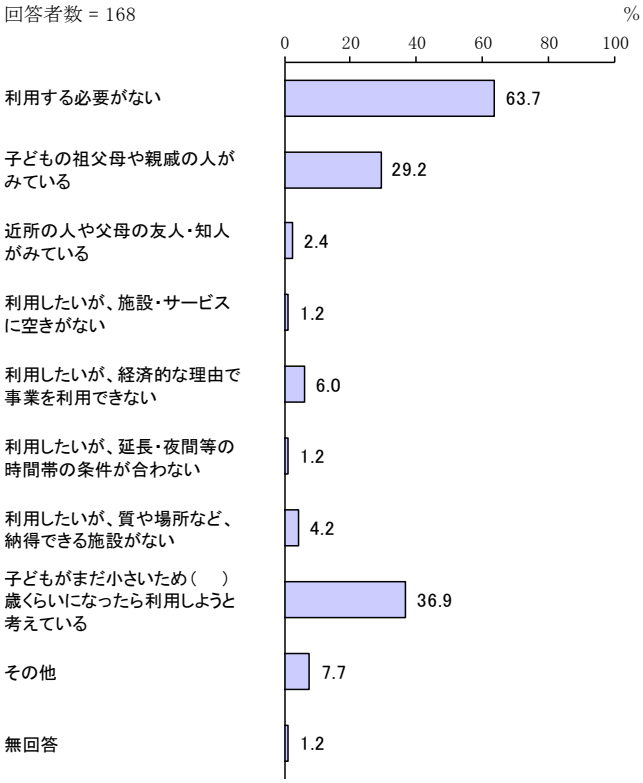
「１日」が２件となっています。「２日」が１件となっています。

イ．一日当たり利用時間

「４時間未満」が 2 件となっています。「４時間～５時間未満」、「７時間～８時間未満」が 1 件となっています。

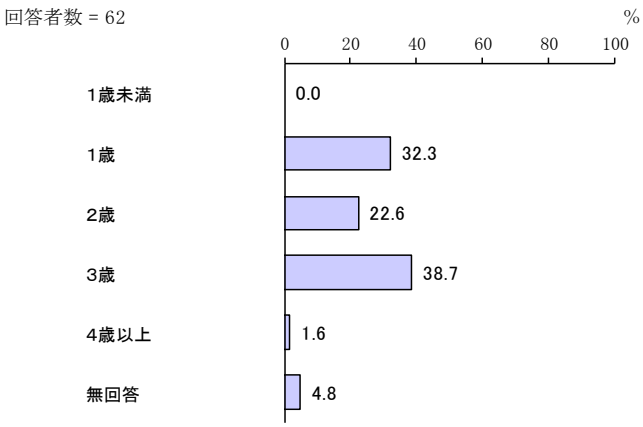
問 12－10　現在、利用していない理由は何ですか。《あてはまるすべてに○》

「利用する必要がない」の割合が 63.7%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため（　　）歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が 36.9%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」の割合が 29.2%となっています。



子どもの年齢が何歳になったら利用したいか

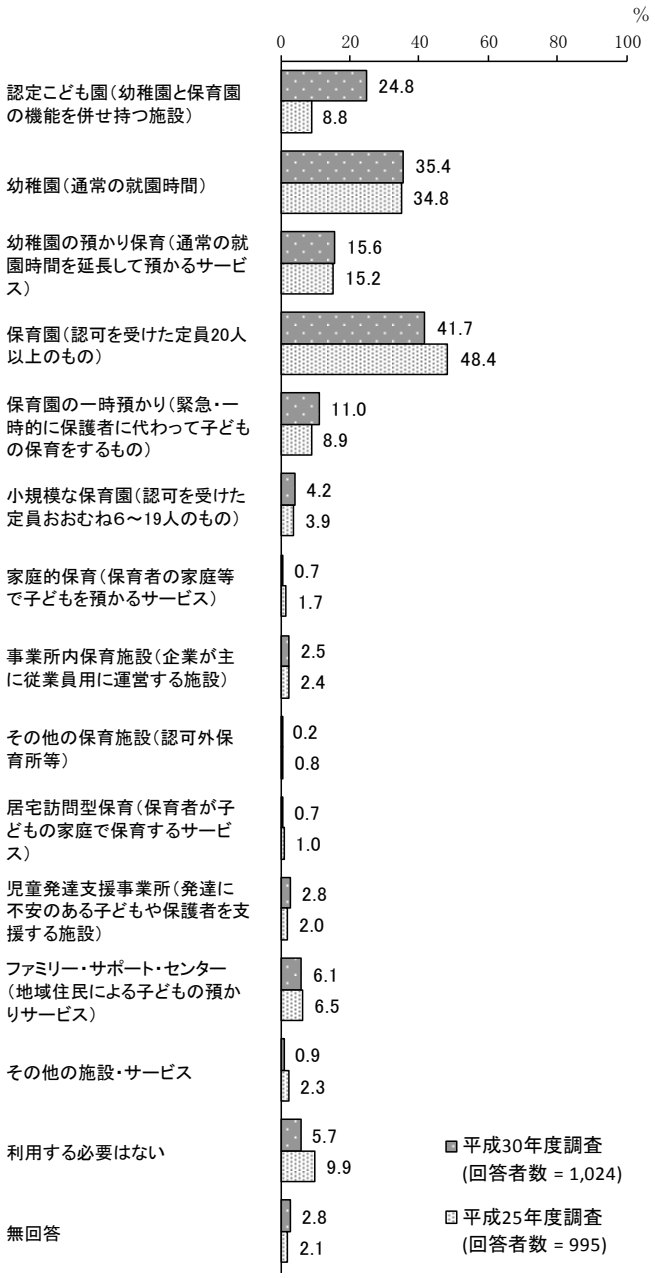
「３歳」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「１歳」の割合が 32.3%、「２歳」の割合が 22.6%となっています。



問 13　宛名のお子さんが平日に定期利用するものとして、今後も利用を続けたい、もしくは、新たに利用したいものはどれですか。　《定期利用したいものすべてに○》

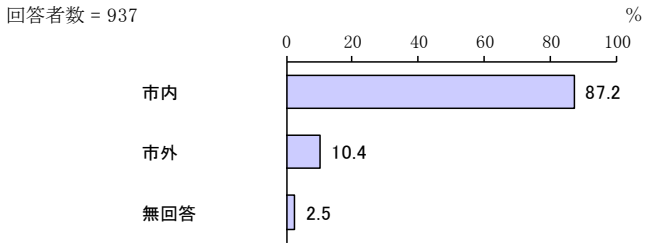
「保育園（認可を受けた定員 20 人以上のもの）」の割合が 41.7％と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間）」の割合が 35.4％、「認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）」の割合が 24.8％となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）」の割合が増加しています。一方、「保育園（認可を受けた定員 20 人以上のもの）」の割合が減少しています。



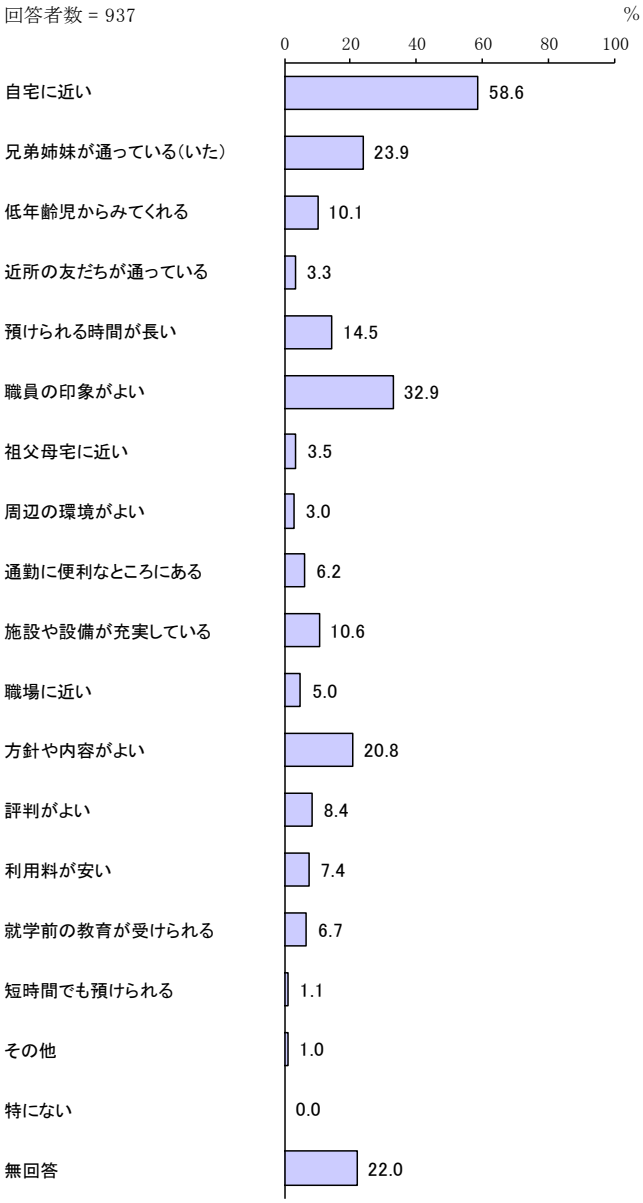
問 13－１　利用したい施設・サービスの場所はどちらですか。　《あてはまる１つに○》

「市内」の割合が 87.2％、「市外」の割合が 10.4％となっています。



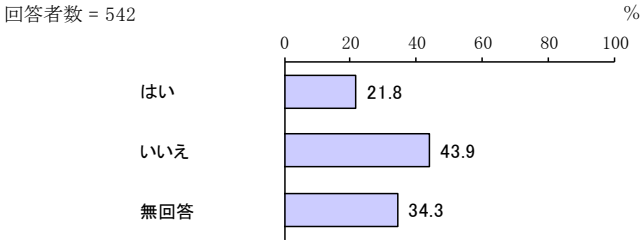
問 13－２　施設・サービスを選ぶとき、特にどのような点を重視しますか。《主な３つまでに○》

「自宅に近い」の割合が 58.6%と最も高く、次いで「職員の印象がよい」の割合が 32.9%、「兄弟姉妹が通っている（いた）」の割合が 23.9%となっています。



問 13－３　あなたは、特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。《あてはまる１つに○》

「はい」の割合が 21.8%、「いいえ」の割合が 43.9%となっています。

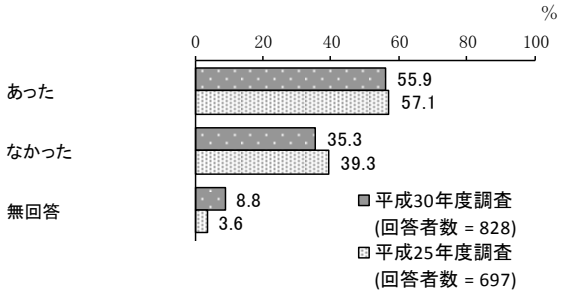


（５）病児・病後児保育について

問 14　この１年間に、宛名のお子さんが病気やケガで利用されている施設・サービスを利用できなかったことはありますか。《あてはまるすべてに○》

「あった」の割合が 55.9%、「なかった」の割合が 35.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別でみると、０歳以外の各年齢において、「あった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	あった	なかった	無回答
0歳	71	33.8	50.7	15.5
1歳	99	59.6	31.3	9.1
2歳	128	58.6	33.6	7.8
3歳	205	60.5	30.7	8.8
4歳	204	58.8	34.3	6.9
5歳	106	51.9	38.7	9.4

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム（週５日程度・１日８時間程度就労）で「あった」の割合が、これまでに就労したことがないで「なかった」の割合が高くなっています。

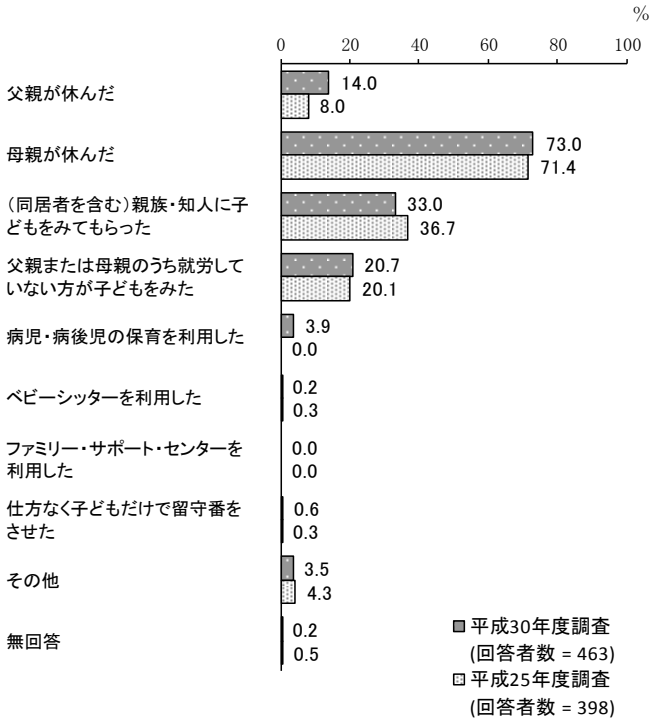
単位：％

区分	有効回答数（件）	あった	なかった	無回答
フルタイム（週5日程度・1日8時間程度就労）	227	68.7	27.8	3.5
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	29	48.3	41.4	10.3
パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）	331	57.4	31.4	11.2
パートタイム、アルバイト等で、現在産休・育休・介護休暇中	14	71.4	21.4	7.1
以前は就労していたが、現在は就労していない	182	43.4	47.3	9.3
これまでに就労したことがない	21	23.8	61.9	14.3

問 14－１　どのように対処しましたか。《あてはまるすべてに○》

「母親が休んだ」の割合が 73.0％と最も高く、次いで「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が 33.0％、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が 20.7％となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「父親が休んだ」の割合が増加しており、「病児・病後児」の利用も増加しております。



対処方法

対処日数をみると、他に比べ、父親が休んだで「１日」「２日」の割合が、母親が休んだで「６日～10 日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	１日	２日	３日	４日	５日	６日～10日	11日～20日	21日以上	無回答
父親が休んだ	65	32.3	29.2	10.8	3.1	7.7	6.2	3.1	1.5	6.2
母親が休んだ	338	4.7	12.1	13.0	5.6	10.9	28.1	8.6	5.3	11.5
（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	153	9.2	18.3	19.0	3.9	13.7	19.0	5.2	3.3	8.5
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	96	6.3	3.1	16.7	6.3	12.5	25.0	8.3	10.4	11.5
病児・病後児の保育を利用した	18	22.2	16.7	16.7	11.1	22.2	5.6	－	－	5.6
ベビーシッターを利用した	1	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－
ファミリー・サポート・センターを利用した	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	33.3	－	－	－	－	33.3	－	－	33.3
その他	16	12.5	12.5	25.0	6.3	12.5	12.5	6.3	－	12.5

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、１歳で「母親が休んだ」「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が高くなっています。また、３歳で「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	父親が休んだ	母親が休んだ	（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
0歳	24	12.5	79.2	41.7	16.7	－	－	－	－	4.2	－
1歳	59	16.9	86.4	49.2	6.8	11.9	－	－	－	3.4	－
2歳	75	14.7	74.7	30.7	18.7	4.0	－	－	1.3	1.3	1.3
3歳	124	15.3	68.5	28.2	27.4	1.6	－	－	－	4.8	－
4歳	120	12.5	68.3	29.2	23.3	3.3	0.8	－	0.8	2.5	－
5歳	55	10.9	70.9	32.7	21.8	3.6	－	－	1.8	5.5	－

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、パートタイム、アルバイト等で、現在産休・育休・介護休暇中で「父親が休んだ」の割合が、パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。また、以前は就労していたが、現在は就労していないで「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

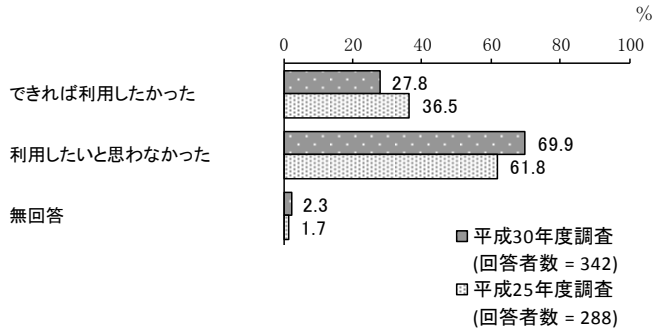
単位：％

区分	有効回答数（件）	父親が休んだ	母親が休んだ	（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイム（週5日程度・1日8時間程度就労）	156	22.4	83.3	49.4	1.9	4.5	－	－	－	4.5	0.6
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	14	14.3	78.6	28.6	21.4	－	－	－	－	－	－
パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）	190	12.6	92.1	34.7	5.3	5.3	0.5	－	1.6	3.7	－
パートタイム、アルバイト等で、現在産休・育休・介護休暇中	10	30.0	90.0	20.0	20.0	10.0	－	－	－	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	79	－	8.9	3.8	89.9	－	－	－	－	1.3	－
これまでに就労したことがない	5	－	20.0	－	80.0	－	－	－	－	－	－

問 14－２　病児・病後児保育を利用したいと思いましたか。《あてはまる１つに○》

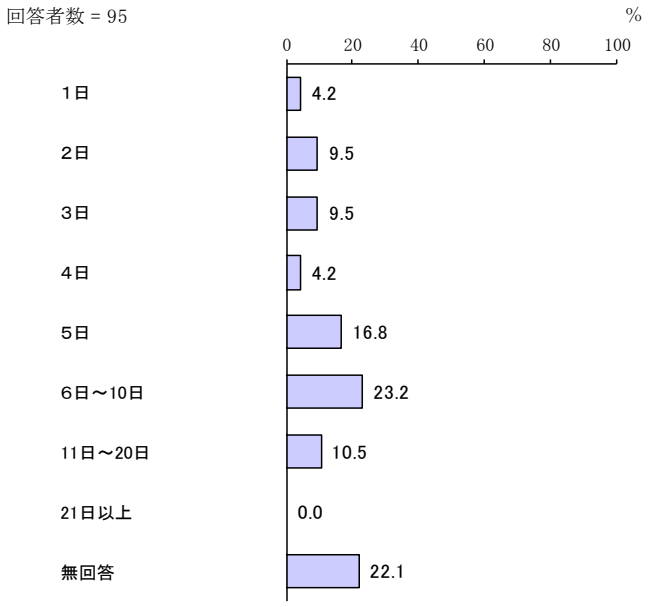
「できれば利用したかった」の割合が 27.8%、「利用したいと思わなかった」の割合が 69.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「利用したいと思わなかった」の割合が増加しています。一方、「できれば利用したかった」の割合が減少しています。



病児・病後児保育施設等を利用したい日数

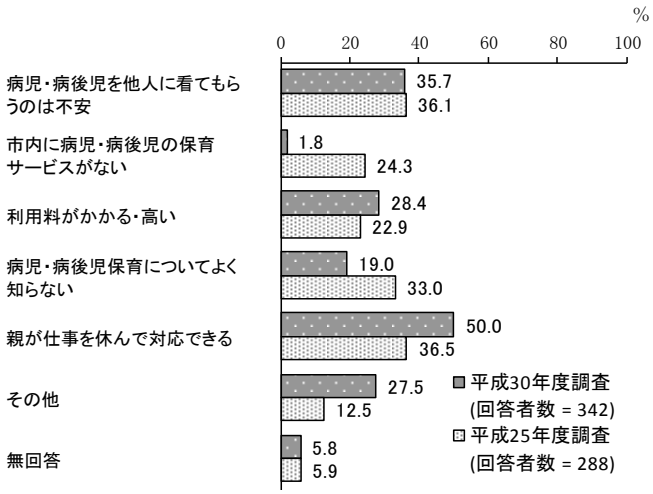
「6 日～10 日」の割合が 23.2%と最も高く、次いで「5 日」の割合が 16.8%、「11 日～20 日」の割合が 10.5%となっています。



問 14－3　病児・病後児保育を利用したくても利用できなかった、あるいは利用したいと思わなかったという理由は何ですか。《あてはまるすべてに○》

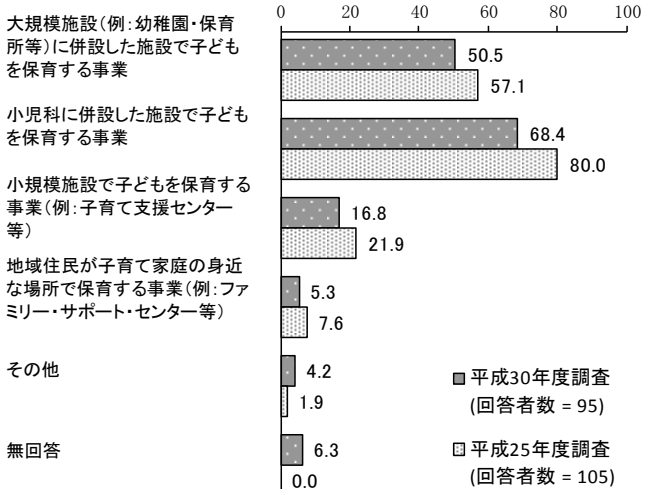
「親が仕事を休んで対応できる」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が 35.7%、「利用料がかかる・高い」の割合が 28.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「利用料がかかる・高い」「親が仕事を休んで対応できる」の割合が増加しています。一方、「市内に病児・病後児の保育サービスがない」「病児・病後児保育についてよく知らない」の割合が減少しています。



問 14－4　病児・病後児保育の望ましい形態はどれですか。《あてはまるすべてに○》

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 68.4%と最も高く、次いで「大規模施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 50.5%、「小規模施設で子どもを保育する事業（例：子育て支援センター等）」の割合が 16.8%となっています。

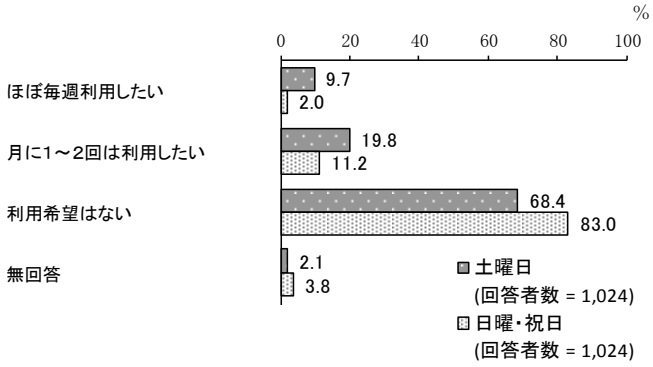


（６）土曜・休日の保育園・幼稚園・認定こども園などの利用について

問 15　宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育園や幼稚園等の利用希望（一時的な利用は除く。）がありますか。《あてはまる１つに○》時間帯は、24時間制（例：9：00～18：00）でお書きください。

土曜日では、「利用希望はない」の割合が 68.4%と最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」の割合が 19.8%となっています。

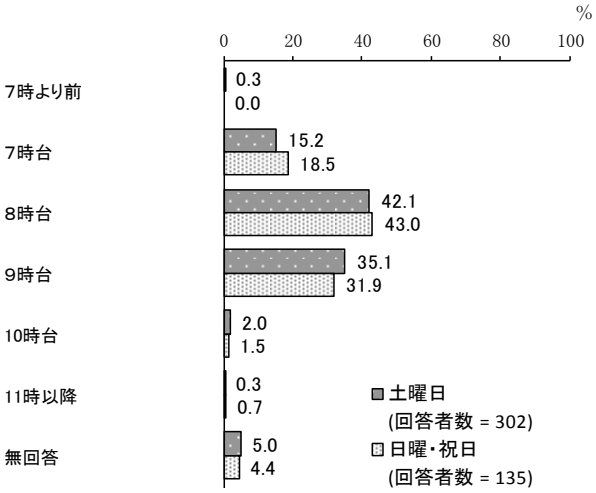
日曜日・祝日では、「利用希望はない」の割合が 83.0%と最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」の割合が 11.2%となっています。



（ア）利用開始時間

土曜日では、「８時台」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 35.1%、「７時台」の割合が 15.2%となっています。

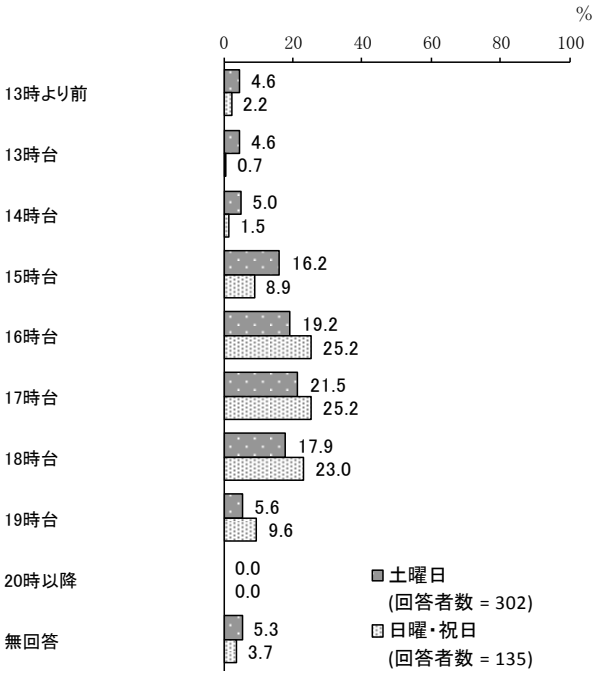
日曜日・祝日では、「８時台」の割合が 43.0%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 31.9%、「７時台」の割合が 18.5%となっています。



（イ）利用終了時間

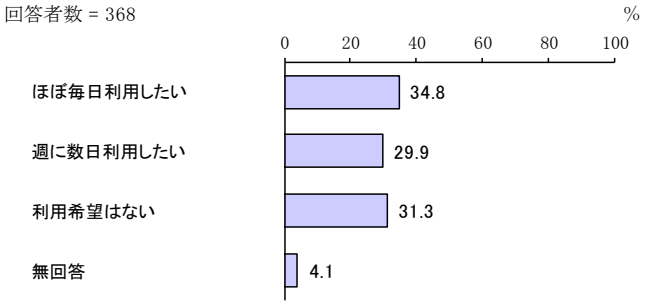
土曜日では、「17 時台」の割合が 21.5%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 19.2%、「18 時台」の割合が 17.9%となっています。

日曜日・祝日では、「16 時台」、「17 時台」の割合が 25.2%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 23.0%となっています。



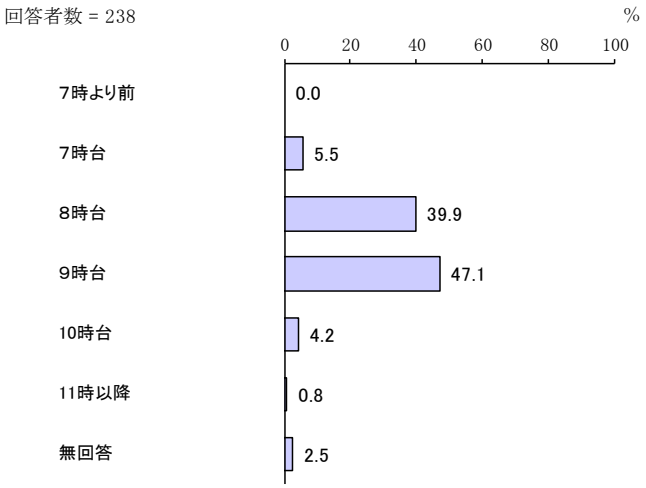
問 16　夏休み・冬休みなどの長期休暇中に利用したいですか。《あてはまる１つに○》

「ほぼ毎日利用したい」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「利用希望はない」の割合が 31.3%、「週に数日利用したい」の割合が 29.9%となっています。



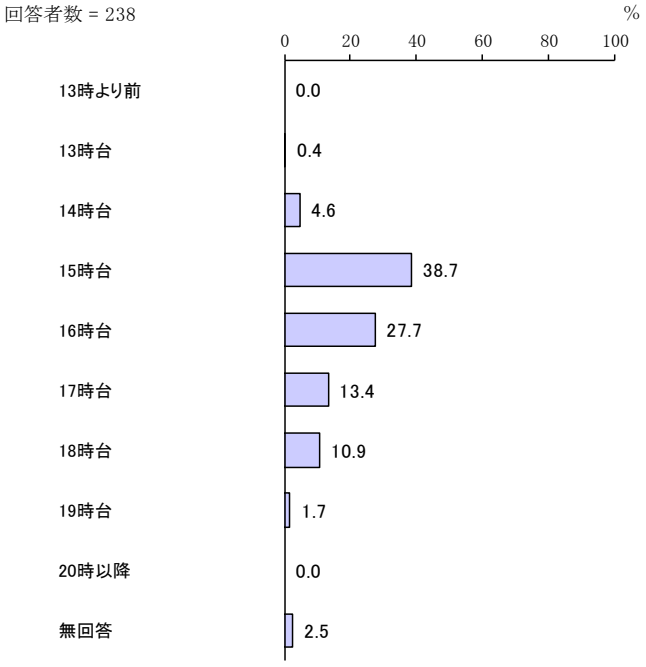
（ア）利用開始時間

「９時台」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「８時台」の割合が 39.9%となっています。



（イ）利用終了時間

「15 時台」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 27.7%、「17 時台」の割合が 13.4%となっています。

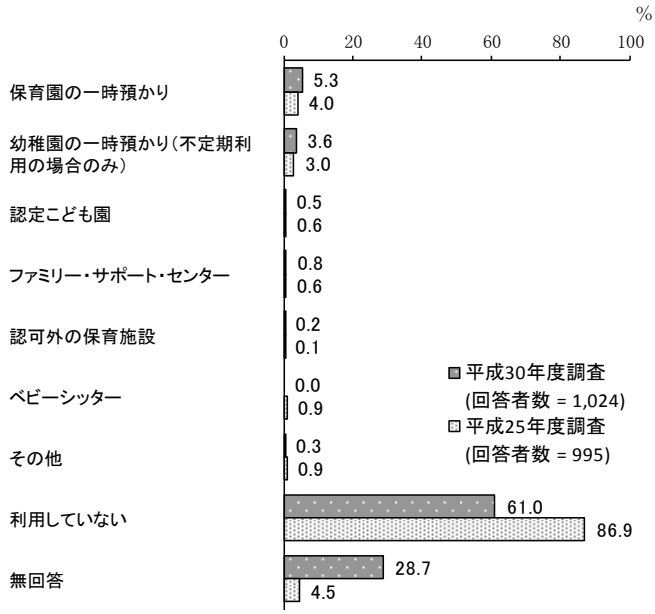


（７）宛名のお子さんの一時預かりについて

問 17　この１年間で、私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や親の病気、あるいは就労のため、宛名のお子さんについて不定期に利用しているものがありますか。
《あてはまるすべてに○》

「利用していない」の割合が 61.0％と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が減少しています。



利用している事業

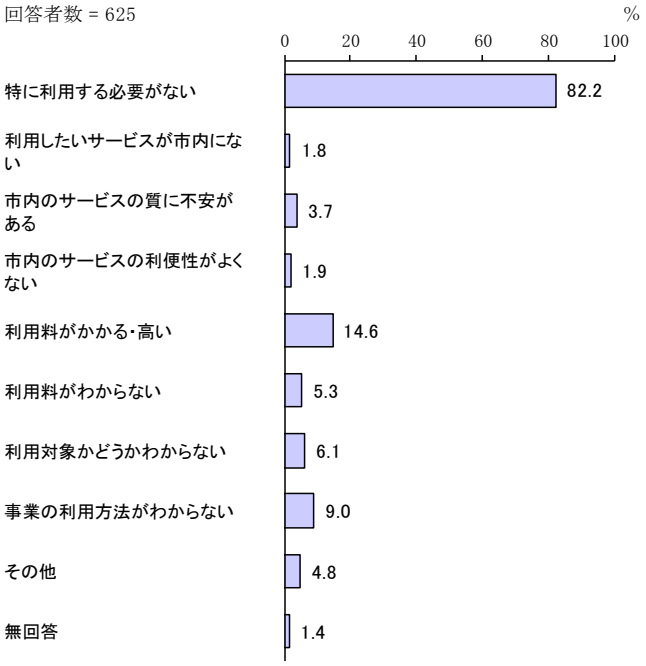
利用している事業をみると、他に比べ、幼稚園の一時預かり（不定期利用の場合のみ）で「６日～10 日」の割合が、保育園の一時預かりで「21 日以上」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	1日	2日	3日	4日	5日	6日～10日	11日～20日	21日以上	無回答
保育園の一時預かり	54	5.6	11.1	5.6	5.6	7.4	9.3	14.8	27.8	13.0
幼稚園の一時預かり（不定期利用の場合のみ）	37	2.7	8.1	8.1	5.4	8.1	27.0	16.2	21.6	2.7
認定こども園	5	－	－	－	－	－	40.0	20.0	40.0	－
ファミリー・サポート・センター	8	25.0	－	－	25.0	－	25.0	－	25.0	－
認可外の保育施設	2	－	－	－	－	－	－	50.0	50.0	－
ベビーシッター	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	3	－	－	－	－	－	33.3	33.3	33.3	－

問 17－１　利用していない理由は何ですか。《あてはまるすべてに○》

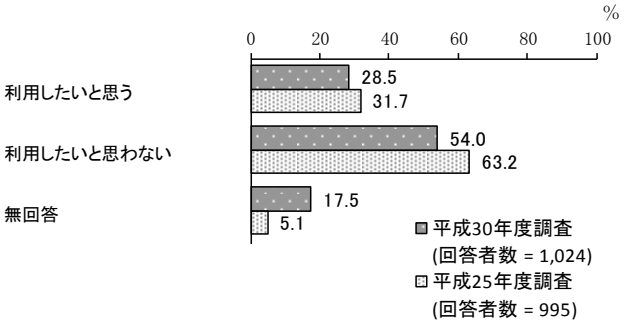
「特に利用する必要がない」の割合が 82.2%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が 14.6%となっています。



問 18　私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や親の病気、あるいは就労のため、宛名のお子さんについて、一時預かりを利用したいと思いますか。《あてはまる１つに○》

「利用したいと思う」の割合が 28.5%、「利用したいと思わない」の割合が 54.0%となっています。

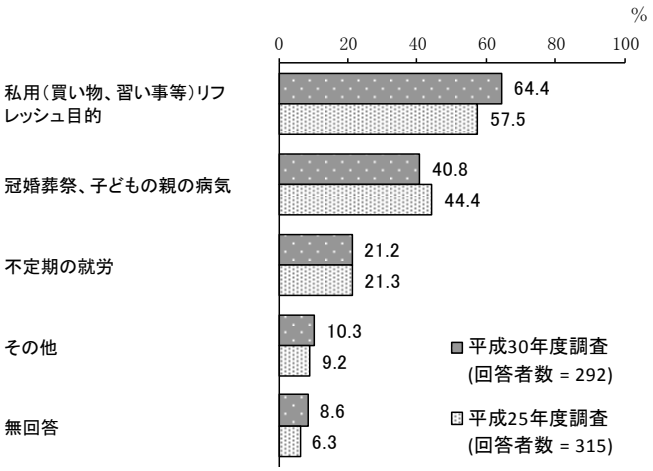
平成 25 年度調査と比較すると、「利用したいと思わない」の割合が減少しています。



ア．利用したいと思う

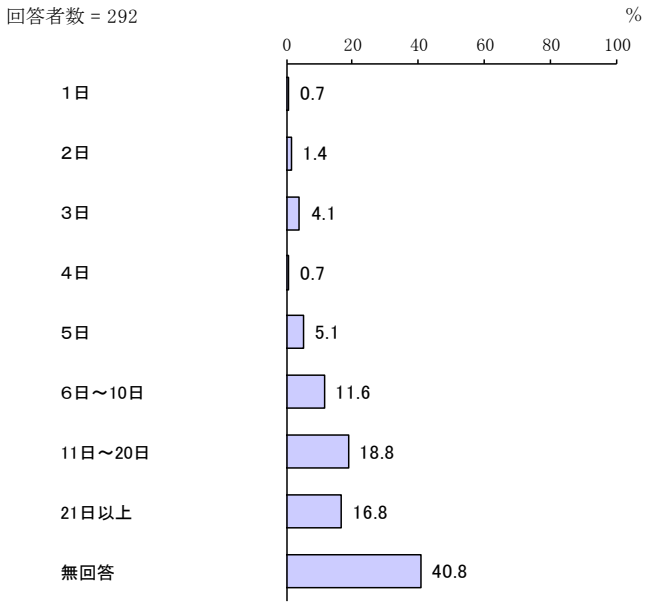
「私用（買い物、習い事等）リフレッシュ目的」の割合が 64.4%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、子どもの親の病気」の割合が 40.8%、「不定期の就労」の割合が 21.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「私用（買い物、習い事等）リフレッシュ目的」の割合が増加しています。



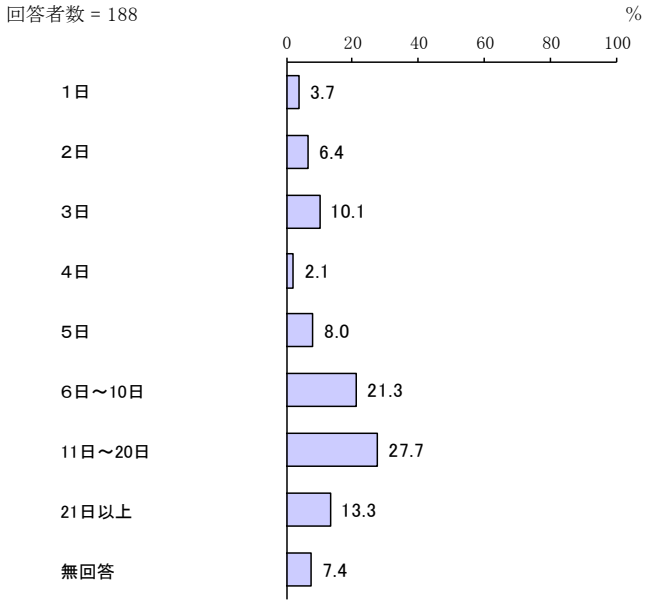
合計日数

「11 日～20 日」の割合が 18.8%と最も高く、次いで「21 日以上」の割合が 16.8%、「６日～10 日」の割合が 11.6%となっています。



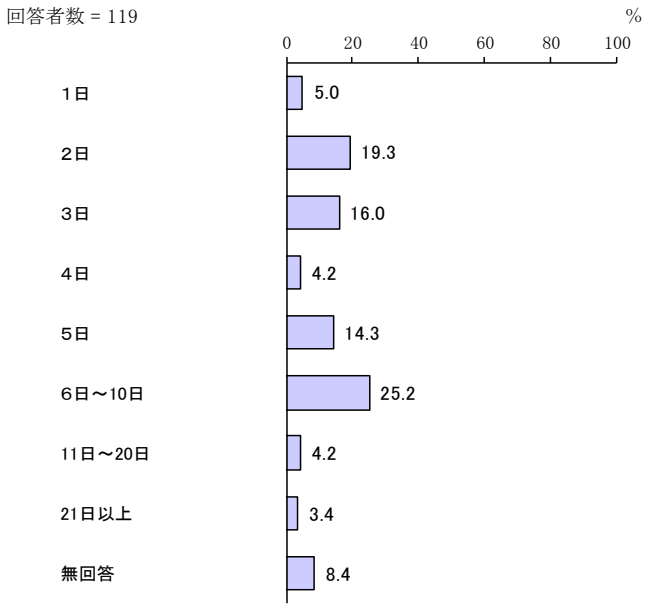
（ア）私用（買い物、習い事等）リフレッシュ目的　年間日数

「11 日～20 日」の割合が 27.7%と最も高く、次いで「６日～10 日」の割合が 21.3%、「21 日以上」の割合が 13.3%となっています。



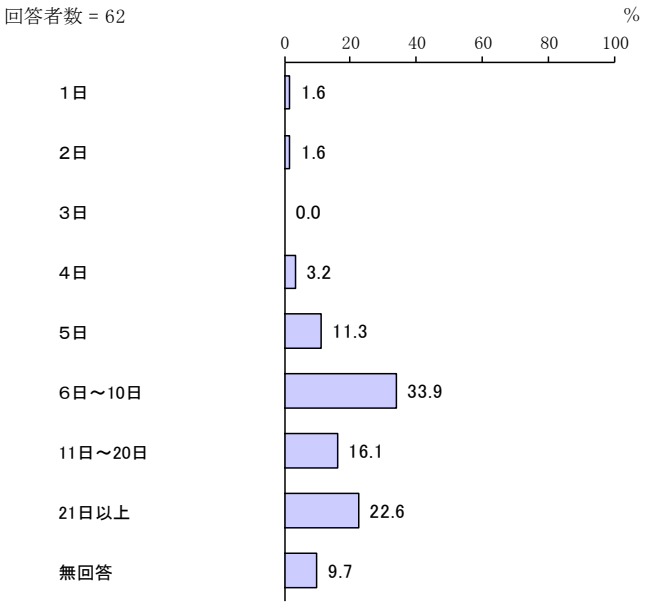
（イ）冠婚葬祭、子どもの親の病気　年間日数

「６日～10 日」の割合が 25.2%と最も高く、次いで「２日」の割合が 19.3%、「３日」の割合が 16.0%となっています。



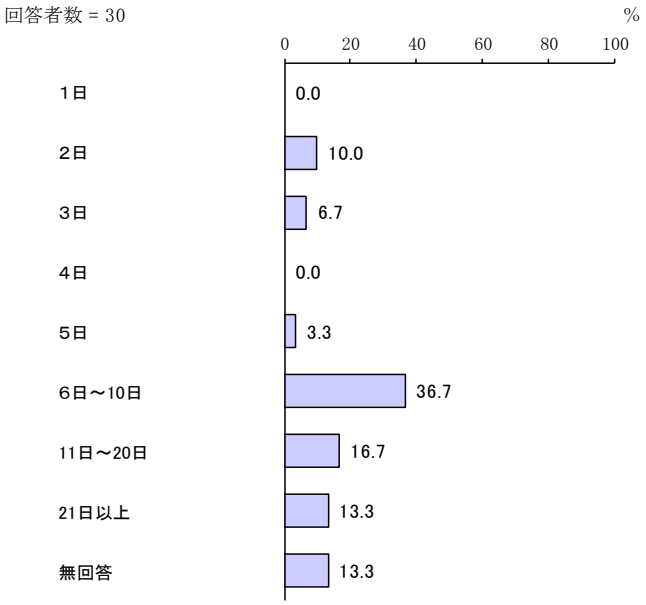
（ウ）不定期の就労　年間日数

「6 日～10 日」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「21 日以上」の割合が 22.6%、「11 日～20 日」の割合が 16.1%となっています。



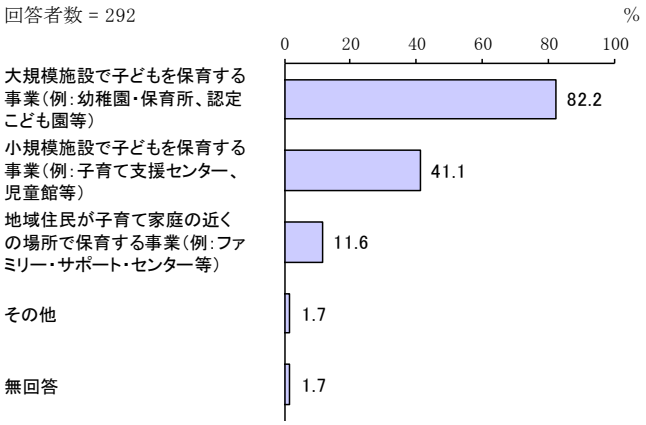
（エ）その他　年間日数

「6 日～10 日」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「11 日～20 日」の割合が 16.7%、「21 日以上」の割合が 13.3%となっています。



問 18－１　不定期の一時預かりの望ましい形態はどれですか。《あてはまるすべてに○》

「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所、認定こども園等）」の割合が 82.2%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（例：子育て支援センター、児童館等）」の割合が 41.1%、「地域住民が子育て家庭の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が 11.6%となっています。

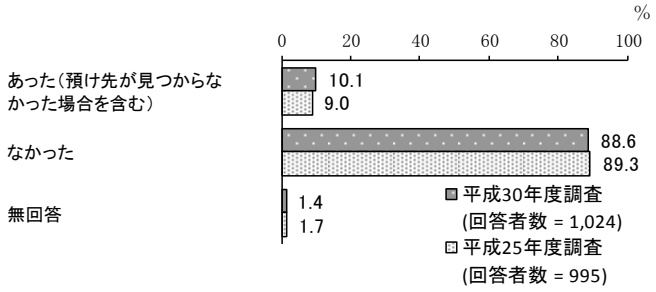


（８）宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりについて

問 19　この１年間に保護者の用事などにより、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。《あてはまる１つに○》

「あった（預け先が見つからなかった場合を含む）」の割合が 10.1%、「なかった」の割合が 88.6%となっています。

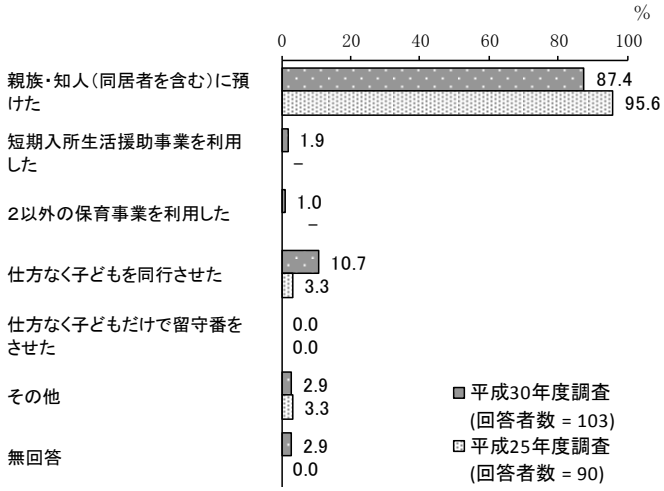
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 19－１　そのときの対処方法はどれですか。《あてはまるすべてに○》また、対処の日数を記入してください。

「親族・知人（同居者を含む）に預けた」の割合が 87.4%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が 10.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「仕方なく子どもを同行させた」の割合が増加しています。一方、「親族・知人（同居者を含む）に預けた」の割合が減少しています。



対処方法

対処方法をみると、他に比べ、親族・知人（同居者を含む）に預けたで「２泊」「６泊～10 泊」の割合が、仕方なく子どもを同行させたで「３泊」の割合が高くなっています。

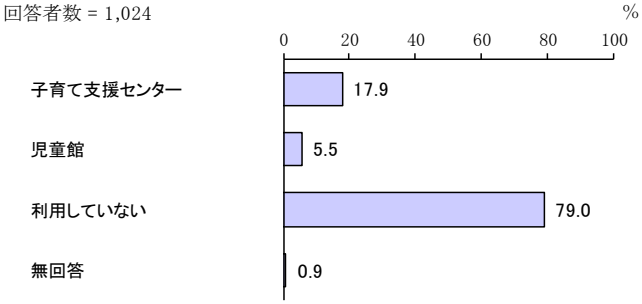
単位：%

区分	回答者数（件）	１泊	２泊	３泊	４泊	５泊	６泊～10泊	11泊～20泊	21泊以上	無回答
親族・知人（同居者を含む）に預けた	90	12.2	13.3	13.3	6.7	7.8	13.3	6.7	6.7	20.0
短期入所生活援助事業を利用した	2	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
2以外の保育事業を利用した	1	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－
仕方なく子どもを同行させた	11	9.1	9.1	27.3	－	－	9.1	－	－	45.5
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	3	33.3	－	－	－	－	－	－	－	66.7

（９）子育て支援サービス全般について

問 20　宛名のお子さんは、現在、子育て支援センターや児童館を利用されていますか。《あてはまるすべてに○》

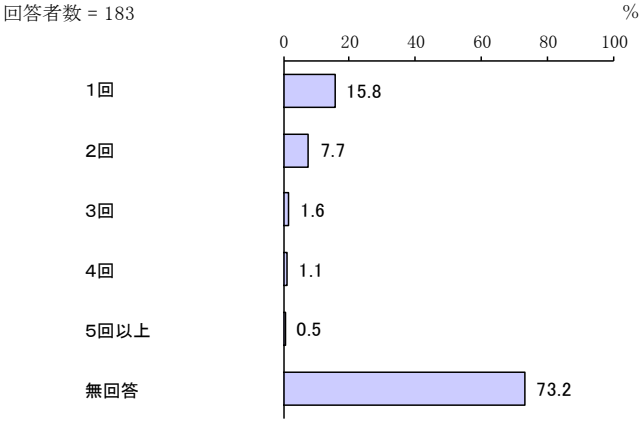
「利用していない」の割合が 79.0%と最も高く、次いで「子育て支援センター」の割合が 17.9%となっています。



ア．子育て支援センター

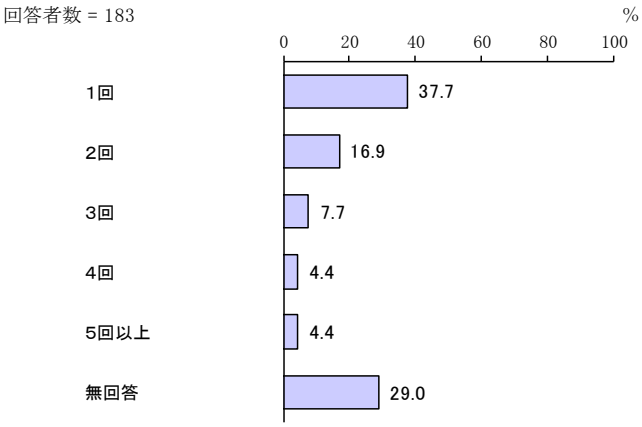
（ア）１週当たり利用回数

「１回」の割合が 15.8%と最も高くなっています。



（イ）１月当たり利用回数

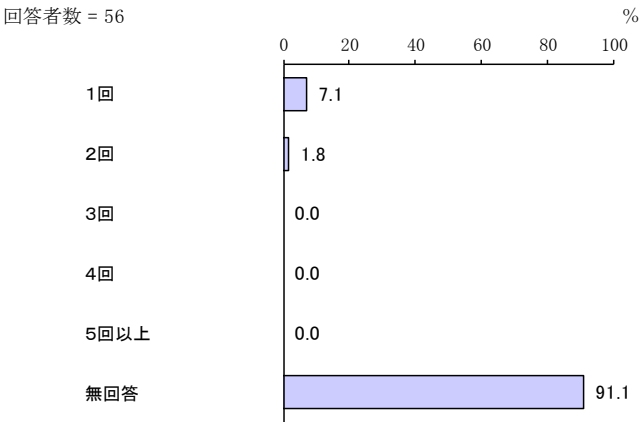
「１回」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「２回」の割合が 16.9%となっています。



イ．児童館

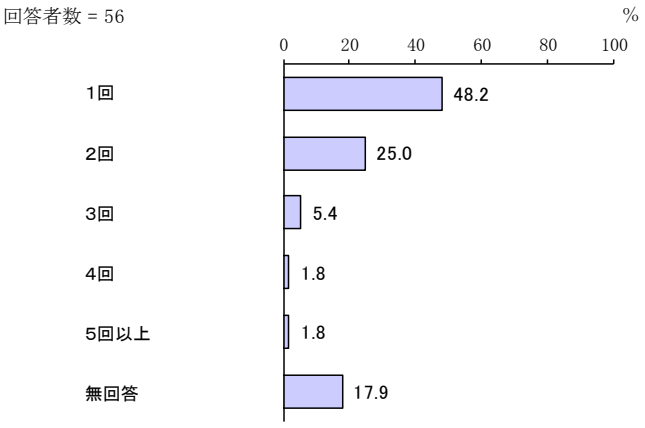
（ア）１週当たり利用回数

「１回」の割合が 7.1%と最も高くなっています。



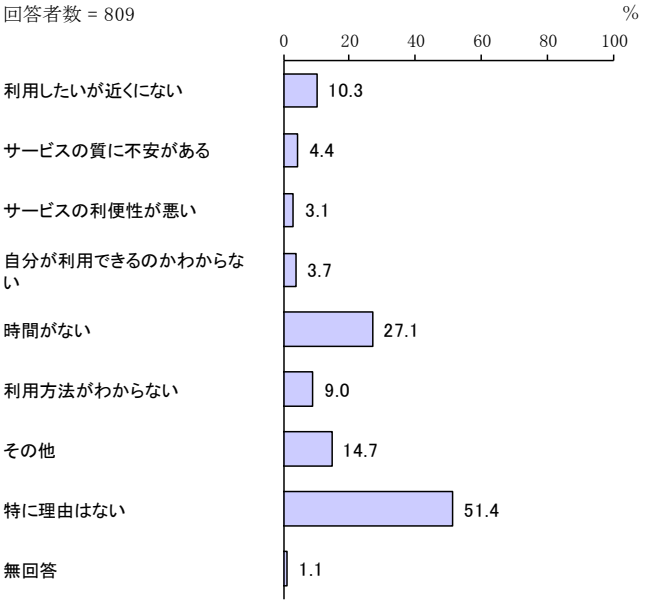
（イ） １月当たり利用回数

「１回」の割合が 48.2%と最も高く、次いで「２回」の割合が 25.0%となっています。



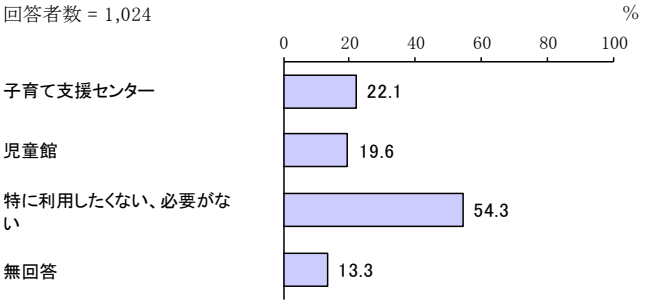
問 20－１　現在、利用していない理由は何ですか。《あてはまるすべてに○》

「特に理由はない」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「時間がない」の割合が 27.1%、「利用したいが近くにない」の割合が 10.3%となっています。



問 21　子育て支援センターや児童館について、今は利用していないが、できれば利用したい。あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。《あてはまるすべてに○》

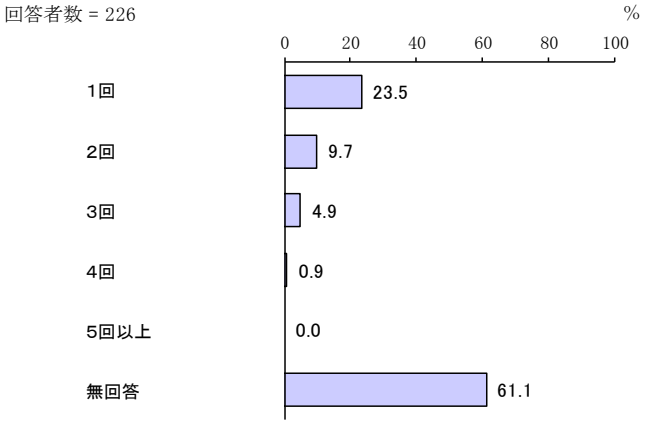
「特に利用したくない、必要がない」の割合が 54.3%と最も高く、次いで「子育て支援センター」の割合が 22.1%、「児童館」の割合が 19.6%となっています。



ア．子育て支援センター

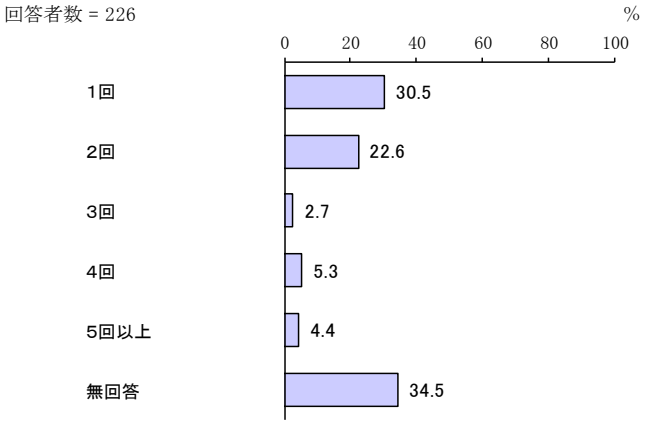
（ア）１週当たり利用回数

「１回」の割合が 23.5%と最も高くなっています。



（イ）１月当たり利用回数

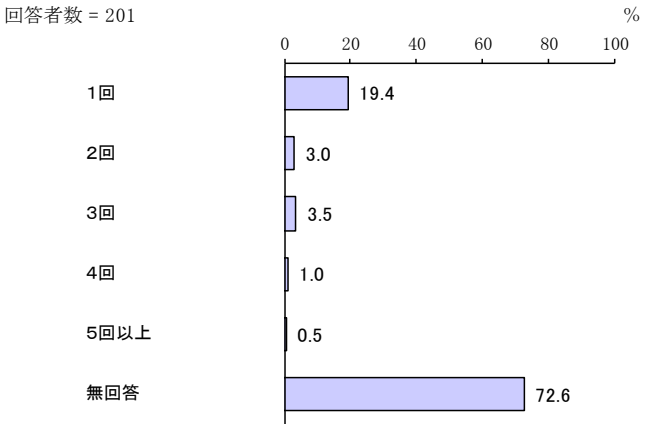
「１回」の割合が 30.5%と最も高く、次いで「２回」の割合が 22.6%となっています。



イ．児童館

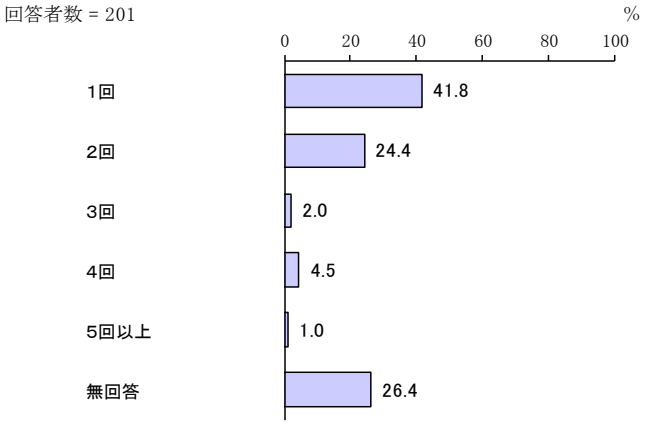
（ア）１週当たり利用回数

「１回」の割合が 19.4%と最も高くなっています。



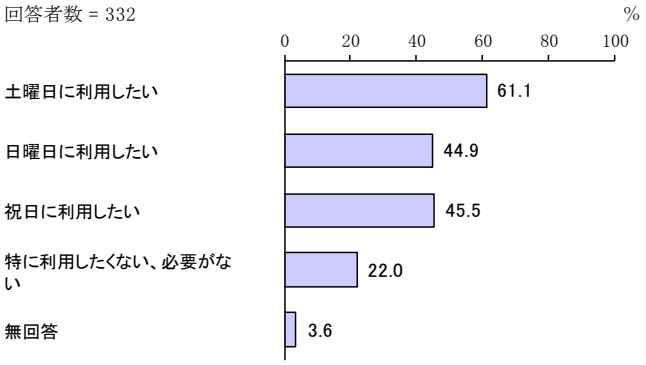
（イ）１月当たり利用回数

「１回」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「２回」の割合が 24.4%となっています。



問 21－１　土曜日や日曜日・祝日の利用希望はありますか。《あてはまるすべてに○》

「土曜日に利用したい」の割合が 61.1%と最も高く、次いで「祝日に利用したい」の割合が 45.5%、「日曜日に利用したい」の割合が 44.9%となっています。



問 22　次の市の事業やサービスごとに、Ａ～Ｃそれぞれ「１　はい」、「２　いいえ」のいずれかに○をつけてください。

知っているでは、⑥子育て支援センターの割合が 92.7%と最も高く、次いで、④保育園や幼稚園の園庭等の開放の割合で 89.6%、⑦児童館の割合で 87.9%となっています。

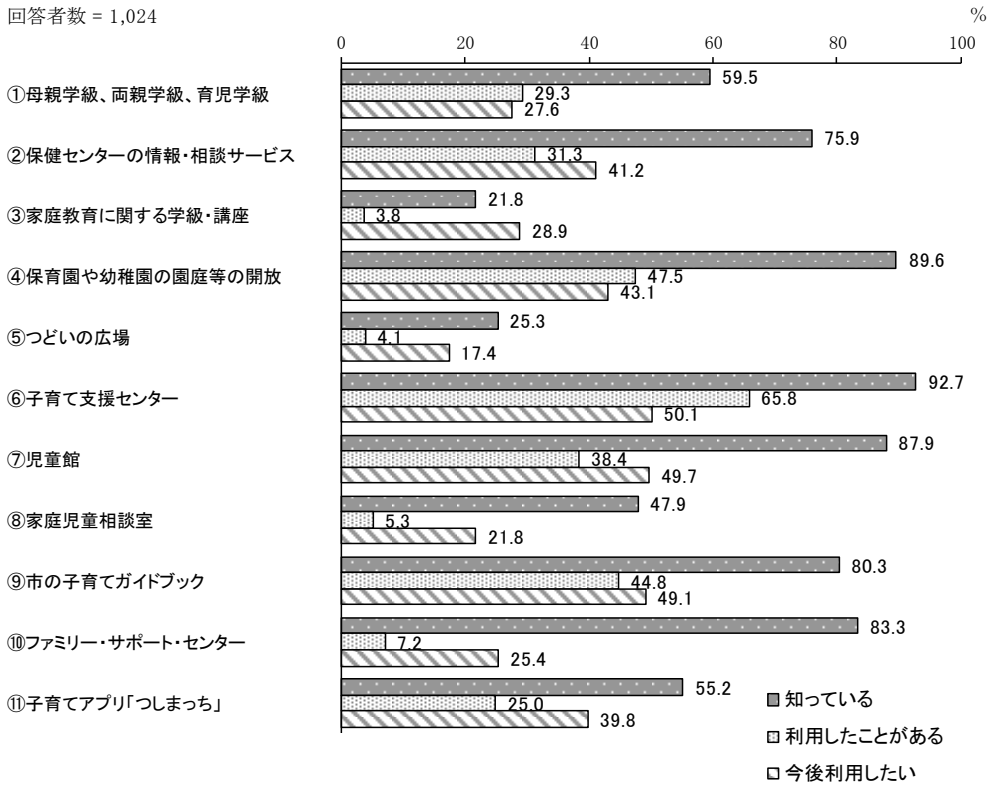
平成 25 年度調査と比較すると、①母親学級、両親学級、育児学級、⑤つどいの広場の割合が増加しています。一方、④保育園や幼稚園の園庭等の開放、⑨市の子育てガイドブックの割合が減少しています。

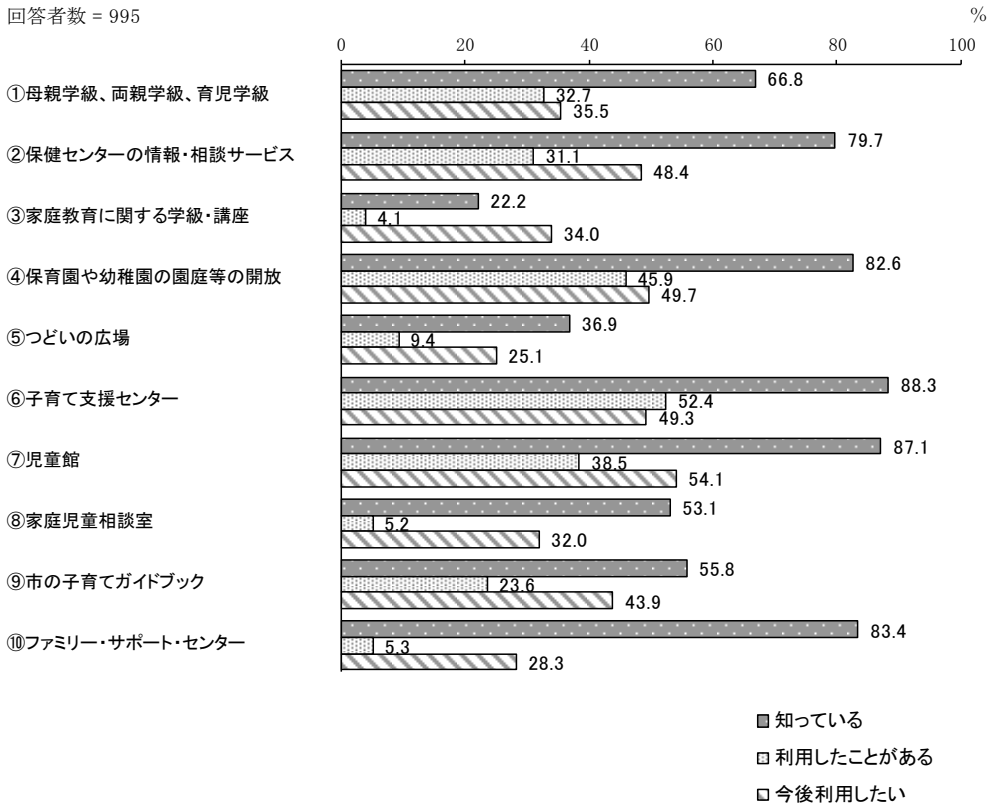
利用したことがあるでは、⑥子育て支援センターの割合が 65.8%と最も高く、次いで④保育園や幼稚園の園庭等の開放で 47.5%、⑨市の子育てガイドブックで 44.8%となっています。

平成 25 年度と比較すると、⑤つどいの広場の割合が増加しています。一方、⑥子育て支援センター、⑨市の子育てガイドブックが減少しています。

今後利用したいでは、⑥子育て支援センターの割合が 50.1%と最も高く、次いで、⑦児童館で 49.7%、⑨市の子育てガイドブックで 49.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、⑨市の子育てガイドブックの割合が増加しています。一方、①母親学級、両親学級、育児学級、②保健センターの情報・相談サービス、③家庭教育に関する学級・講座、④保育園や幼稚園の園庭等の開放、⑤つどいの広場の割合が減少しています。

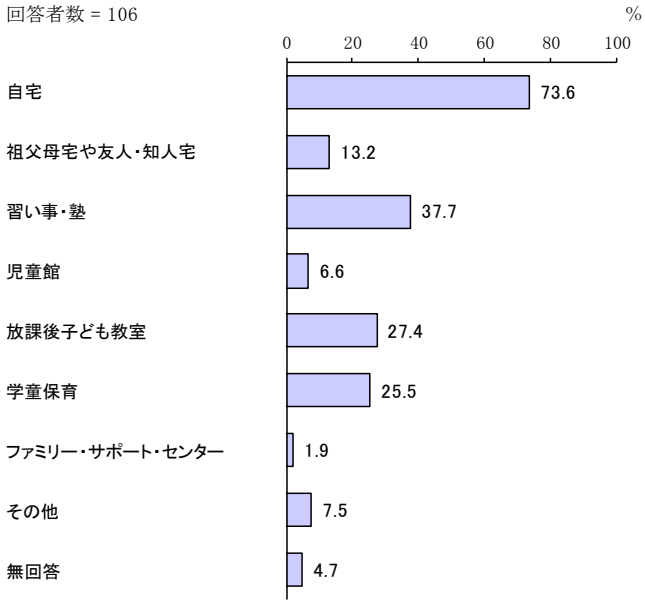



回答者数 = 995
%
0
20
40
60
80
100
①母親学級、両親学級、育児学級
66.8
32.7
35.5
②保健センターの情報・相談サービス
79.7
31.1
48.4
③家庭教育に関する学級・講座
22.2
4.1
34.0
④保育園や幼稚園の園庭等の開放
82.6
45.9
49.7
⑤つどいの広場
36.9
9.4
25.1
⑥子育て支援センター
88.3
52.4
49.3
⑦児童館
87.1
38.5
54.1
⑧家庭児童相談室
53.1
5.2
32.0
⑨市の子育てガイドブック
55.8
23.6
43.9
⑩ファミリー・サポート・センター
83.4
5.3
28.3
知っている
利用したことがある
今後利用したい

（10）小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 23　宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。《あてはまるすべてに○》また、希望日数を記入してください。「学童保育」の場合は、希望する時間も〔　　〕内にお書きください。時間帯は、24 時間制（例：18：00）でお書きください。

「自宅」の割合が 73.6%と最も高く、次いで「習い事・塾」の割合が 37.7%、「放課後子ども教室」の割合が 27.4%となっています。



ア．利用希望

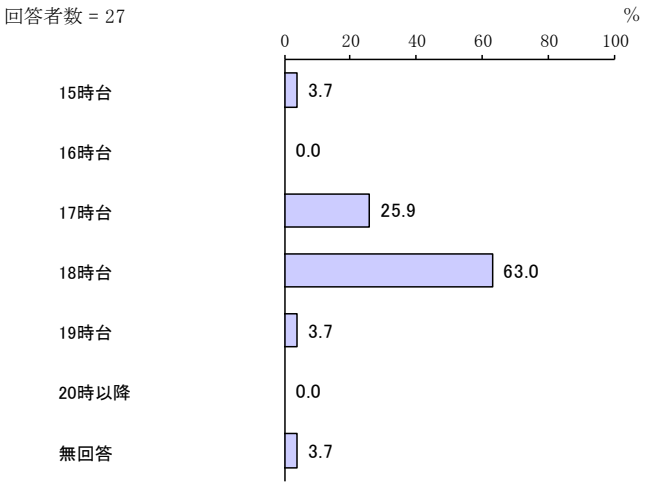
利用希望をみると、他に比べ、祖父母宅や友人・知人宅で「１日」の割合が、習い事・塾で「２日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	１日	２日	３日	４日	５日	無回答
自宅	78	12.8	7.7	9.0	2.6	52.6	15.4
祖父母宅や友人・知人宅	14	35.7	14.3	－	－	21.4	28.6
習い事・塾	40	30.0	32.5	17.5	2.5	5.0	12.5
児童館	7	28.6	14.3	－	－	14.3	42.9
放課後子ども教室	29	6.9	24.1	10.3	20.7	34.5	3.4
学童保育	27	7.4	7.4	3.7	11.1	55.6	14.8
ファミリー・サポート・センター	2	50.0	－	－	－	－	50.0
その他	8	12.5	25.0	25.0	－	12.5	25.0

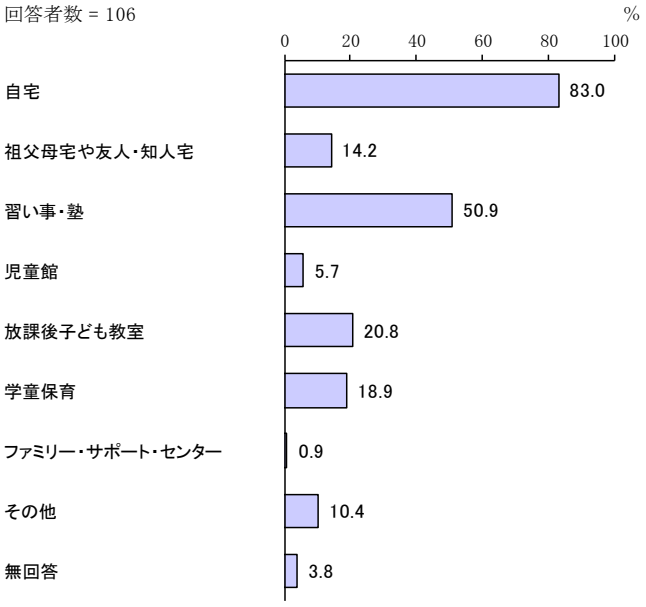
イ．学童保育　利用終了時刻

「18 時台」の割合が 63.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 25.9%となっています。



問 24　宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。《あてはまるすべてに○》

「自宅」の割合が 83.0%と最も高く、次いで「習い事・塾」の割合が 50.9%、「放課後子ども教室」の割合が 20.8%となっています。



ア．利用希望

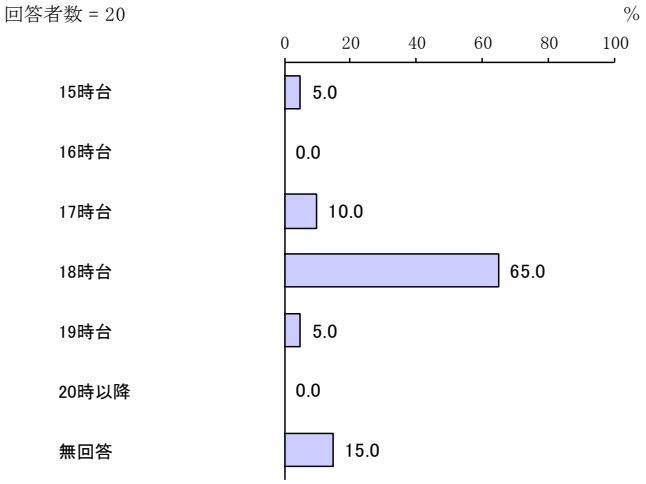
利用希望をみると、他に比べ、祖父母宅や友人・知人宅で「１日」の割合が、習い事・塾で「２日」の割合が高くなっています。また、自宅で「５日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	１日	２日	３日	４日	５日	無回答
自宅	88	5.7	10.2	11.4	2.3	51.1	19.3
祖父母宅や友人・知人宅	15	26.7	20.0	13.3	－	26.7	13.3
習い事・塾	54	29.6	33.3	20.4	1.9	3.7	11.1
児童館	6	33.3	16.7	－	－	16.7	33.3
放課後子ども教室	22	13.6	13.6	13.6	18.2	27.3	13.6
学童保育	20	5.0	－	5.0	20.0	35.0	35.0
ファミリー・サポート・センター	1	－	－	－	－	－	100.0
その他	11	18.2	18.2	18.2	－	9.1	36.4

イ．学童保育　利用終了時刻

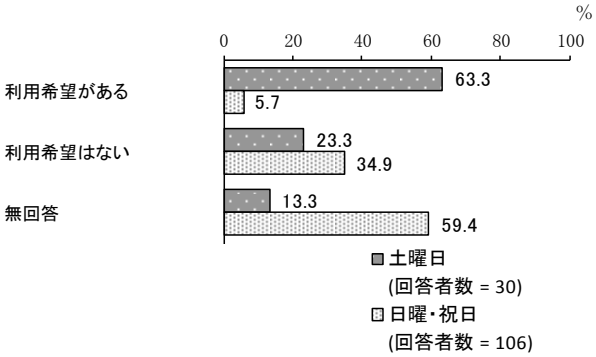
「18 時台」の割合が 65.0％と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 10.0％となっています。



問 24－１　宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、学童保育の利用希望がありますか。　《あてはまる１つに○》
利用希望がある場合は、希望する学年や時間帯を〔　　〕内にお書きください。
時間帯は、24 時間制（例：9：00～18：00）でお書きください。

土曜日では、「利用希望がある」の割合が 63.3％、「利用希望はない」の割合が 23.3％となっています。

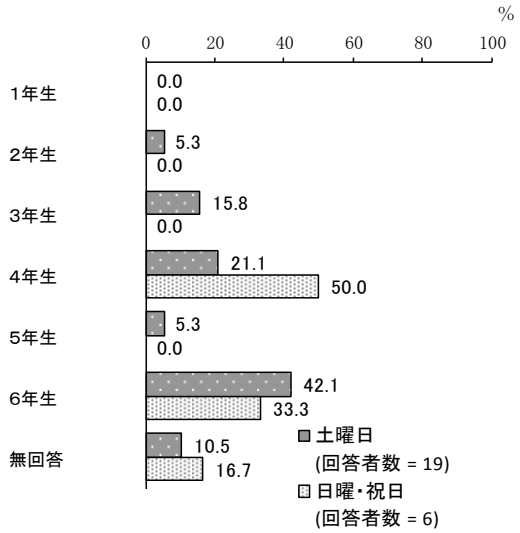
日曜日・祝日では、「利用希望がある」の割合が 5.7％、「利用希望はない」の割合が 34.9％となっています。



（ア）何年生まで利用したいか

土曜日では、「６年生」の割合が 42.1％と最も高く、次いで「４年生」の割合が 21.1％、「３年生」の割合が 15.8％となっています。

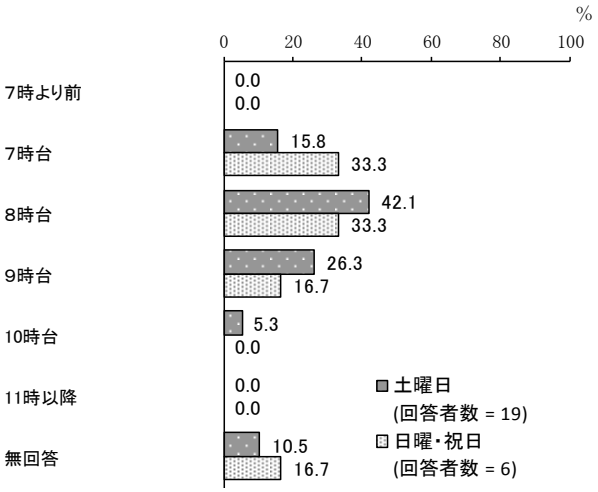
日曜日・祝日では、「４年生」が 3 件となっています。「６年生」が 2 件となっています。



（イ）利用開始時間

土曜日では、「８時台」の割合が 42.1％と最も高く、次いで「９時台」の割合が 26.3％、「７時台」の割合が 15.8％となっています。

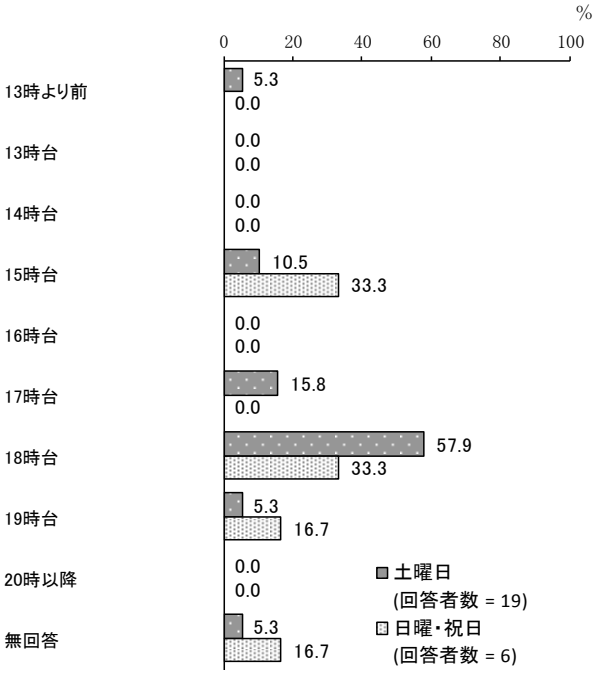
日曜日・祝日では、「７時台」、「８時台」が 2 件となっています。「９時台」が 1 件となっています。



（ウ）利用終了時間

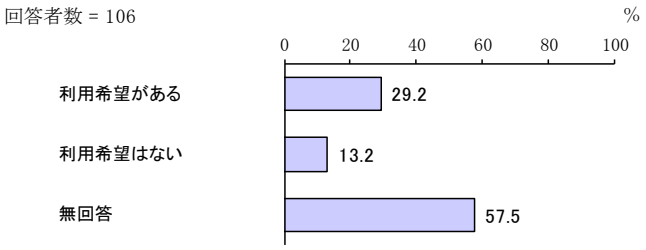
土曜日では、「18 時台」の割合が 57.9％と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 15.8％、「15 時台」の割合が 10.5％となっています。

日曜日・祝日では、「15 時台」、「18 時台」が 2 件となっています。「19 時台」が 1 件となっています。



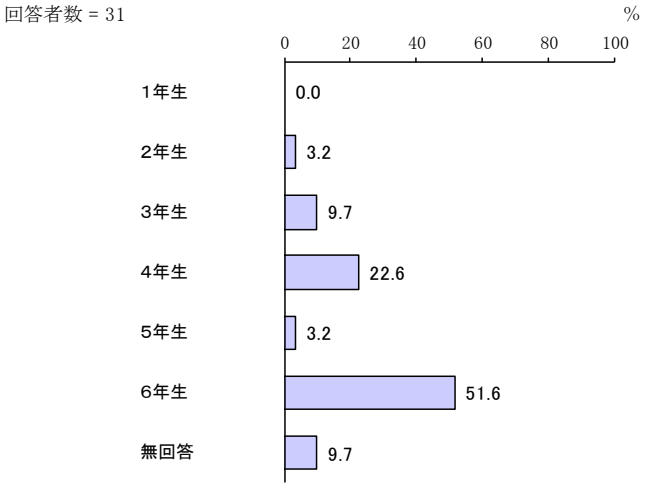
夏休み・冬休みなどの長期休暇中

「利用希望がある」の割合が 29.2%、「利用希望はない」の割合が 13.2%となっています。



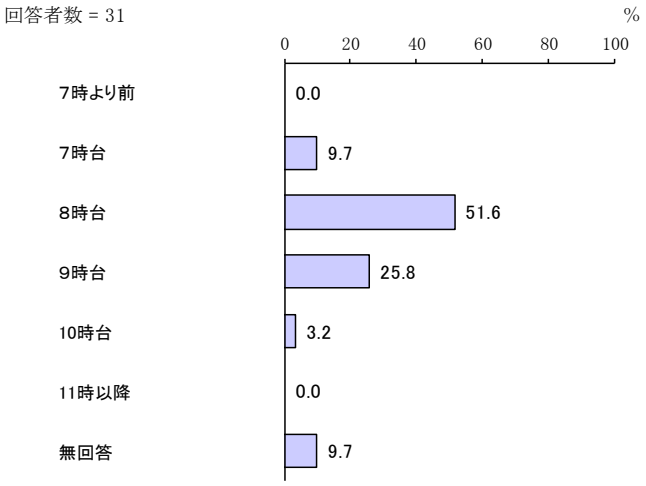
（ア）何年生まで利用したいか

「６年生」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「４年生」の割合が 22.6%となっています。



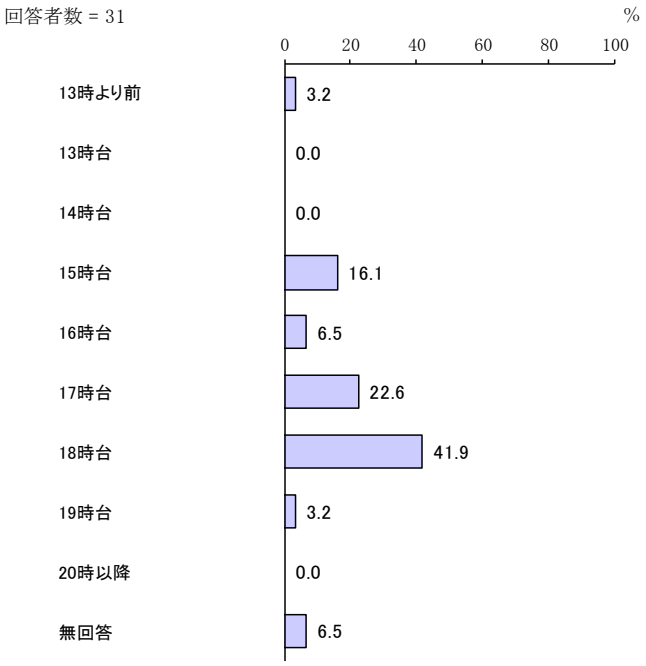
（イ）利用開始時間

「８時台」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 25.8%となっています。



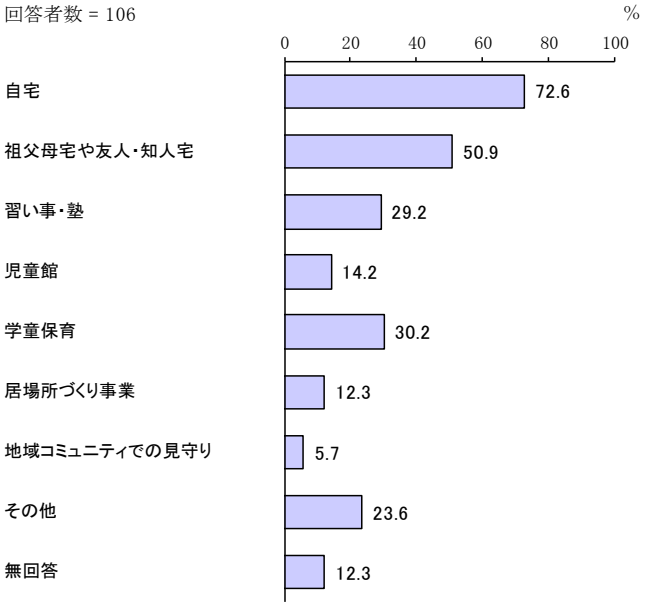
（ウ）利用終了時間

「18 時台」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 22.6%、「15 時台」の割合が 16.1%となっています。



問 25　宛名のお子さんについて、長期休暇中（夏休み等）の日中、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。《あてはまるすべてに○》

「自宅」の割合が 72.6%と最も高く、次いで「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が 50.9%、「学童保育」の割合が 30.2%となっています。

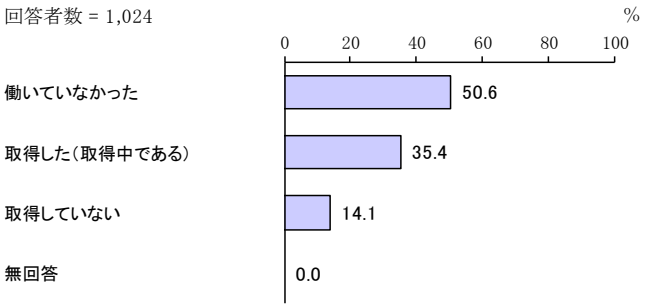


（11）育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 26　宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけ、該当する（　　）内には数字でご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

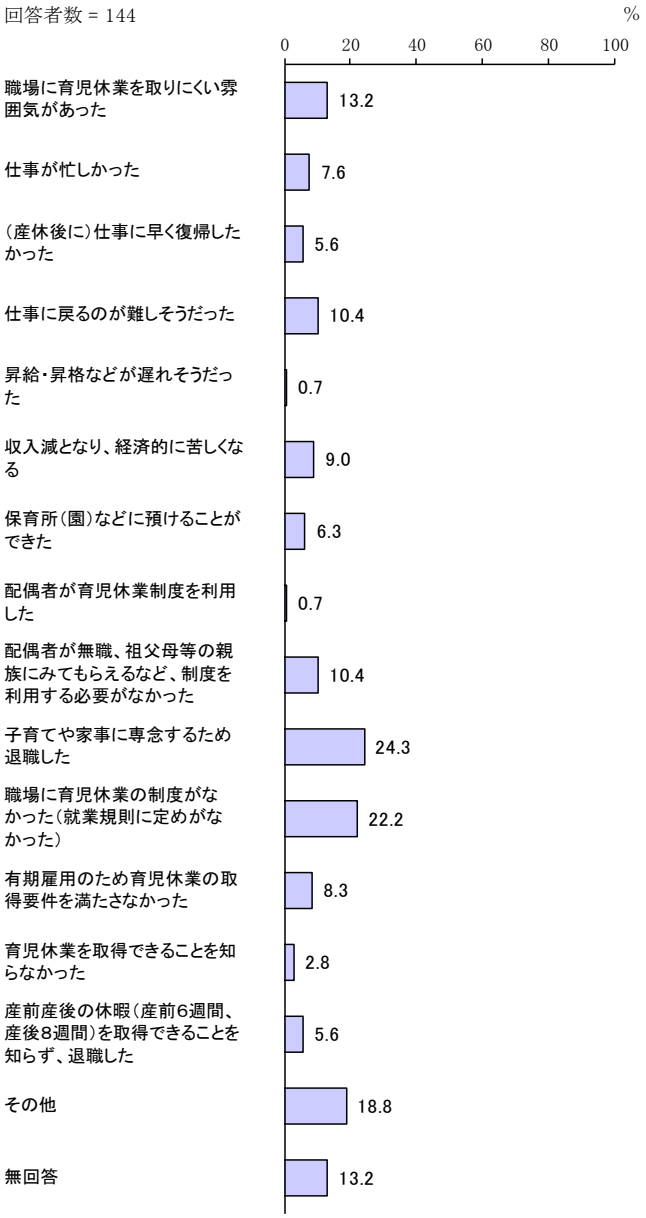
ア．母親

「働いていなかった」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が 35.4%、「取得していない」の割合が 14.1%となっています。



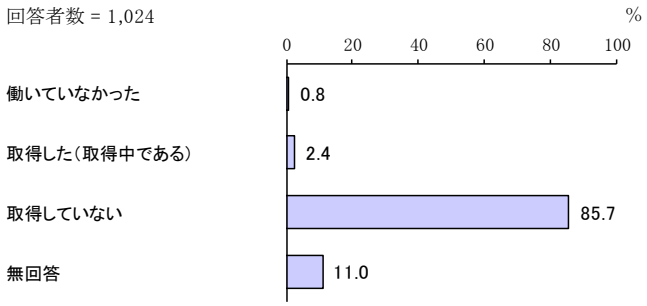
取得していない理由

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 24.3%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が 22.2%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が 13.2%となっています。



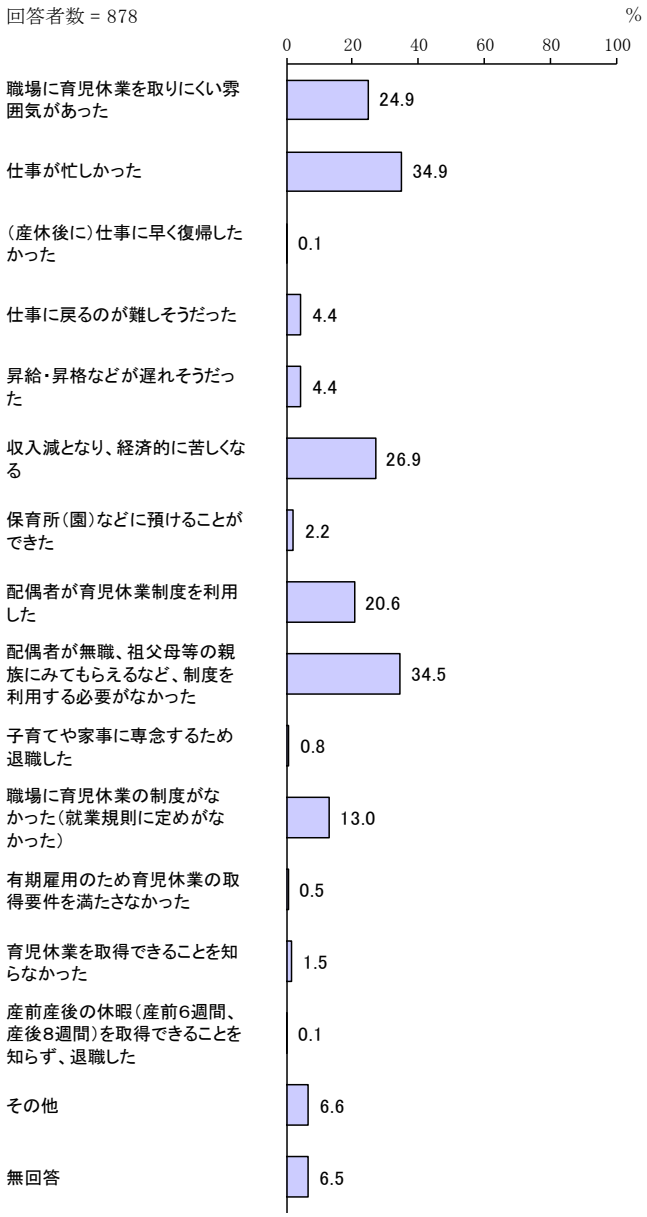
イ．父親

「取得していない」の割合が 85.7%と最も高くなっています。



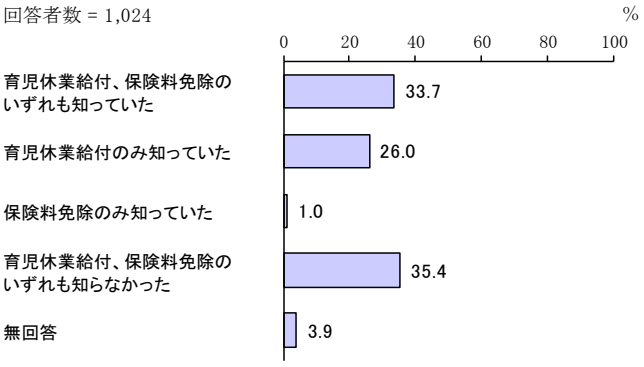
取得していない理由

「仕事が忙しかった」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が 34.5%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が 26.9%となっています。



問 26－１　子どもが原則１歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は２歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満３歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

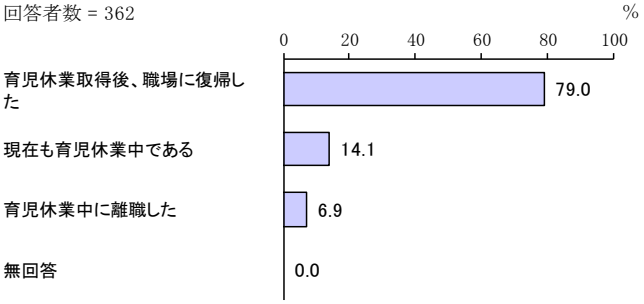
「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が 33.7%、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が 26.0%となっています。



問 26－２　育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

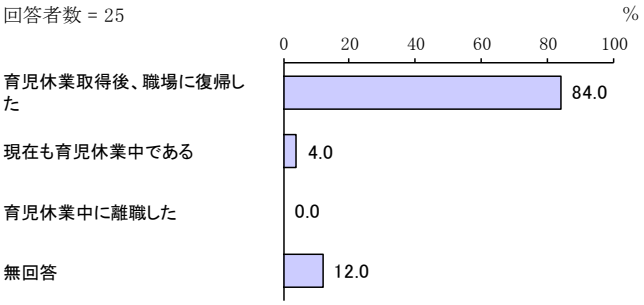
ア．母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 79.0%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が 14.1%となっています。



イ．父親

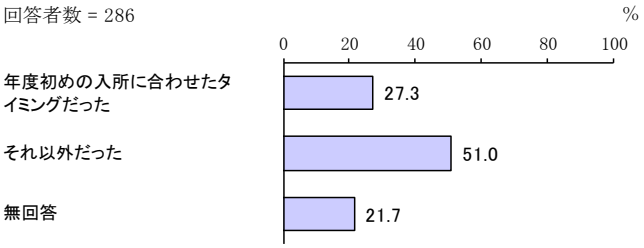
「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 84.0%と最も高くなっています。



問 26－３　育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか１つに○をつけてください。

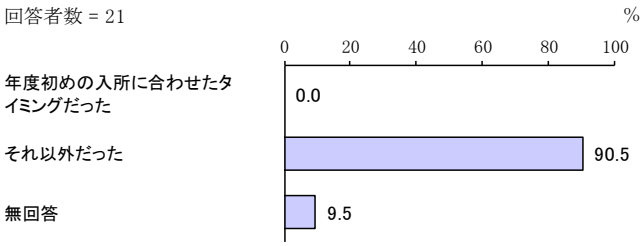
ア．母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が 27.3%、「それ以外だった」の割合が 51.0%となっています。



イ．父親

「それ以外だった」の割合が 90.5%となっています。

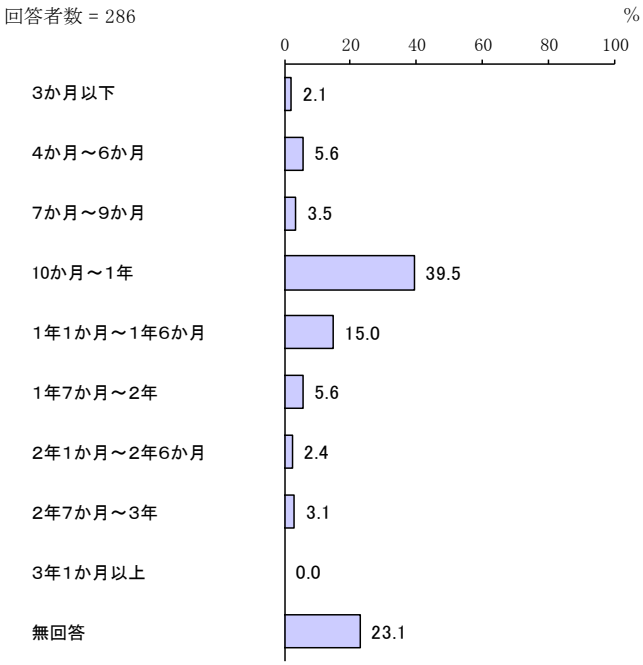


問 26－４　育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。（　　）内に数字でご記入ください。

ア．母親

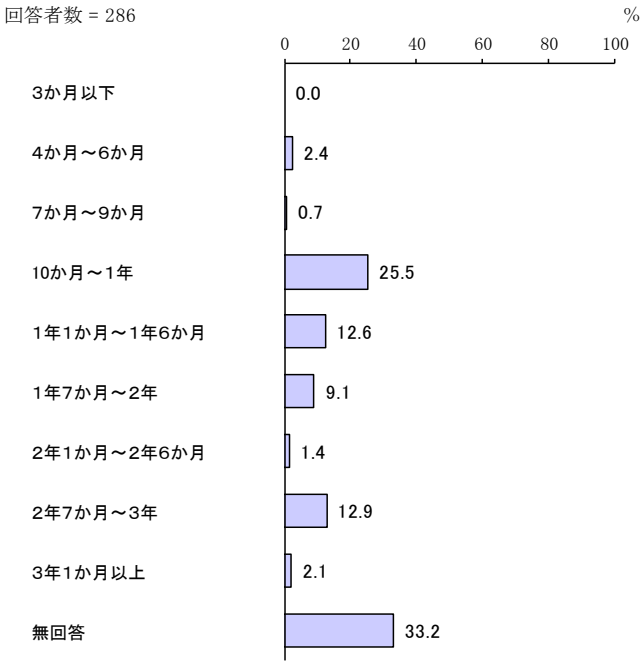
（ア）実際の取得期間

「10 か月～１年」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「１年１か月～１年６か月」の割合が 15.0%となっています。



（イ）希望の取得期間

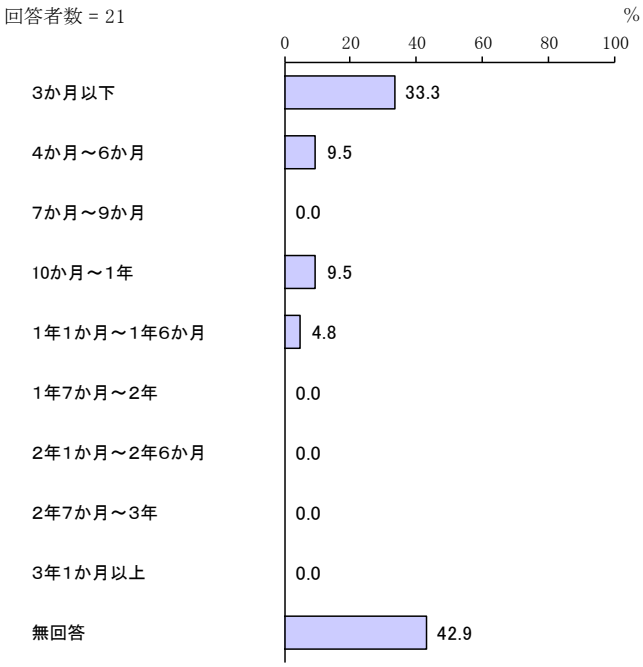
「10 か月～１年」の割合が 25.5%と最も高く、次いで「２年７か月～３年」の割合が 12.9%、「１年１か月～１年６か月」の割合が 12.6%となっています。



イ．父親

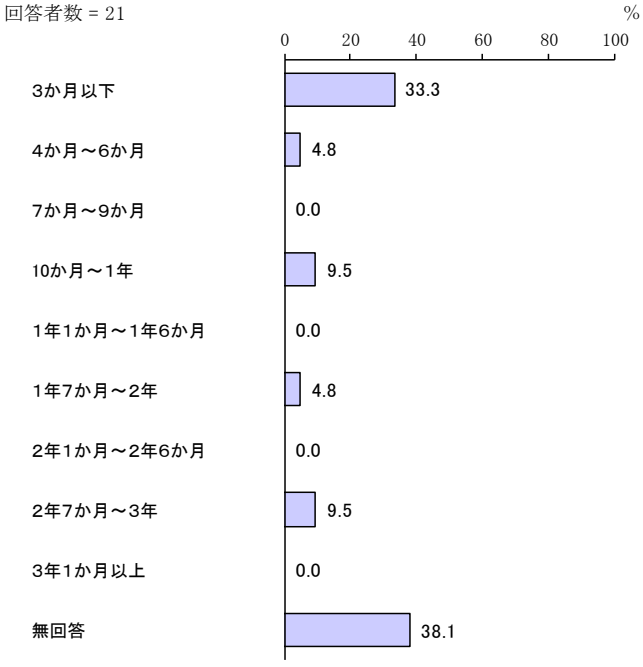
（ア）実際の取得期間

「３か月以下」の割合が 33.3％と最も高くなっています。



（イ）希望の取得期間

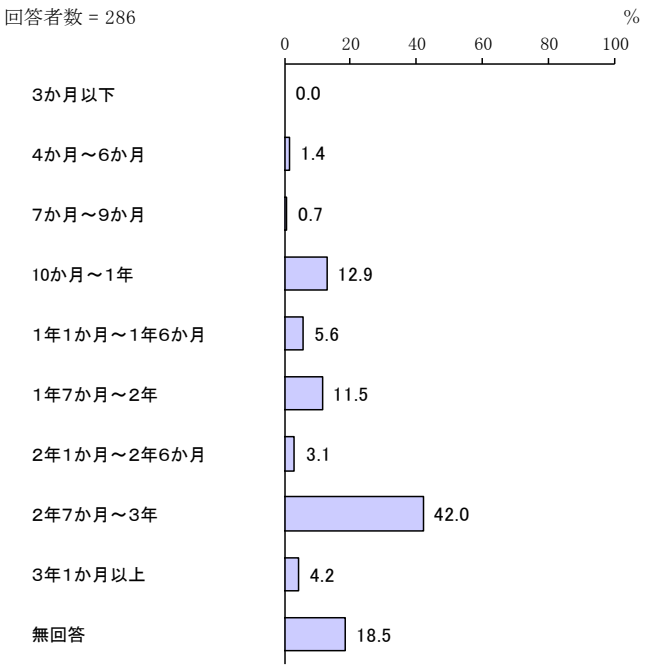
「３か月以下」の割合が 33.3％と最も高くなっています。



問 26－５　お勤め先に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。（　　）内に数字でご記入ください。

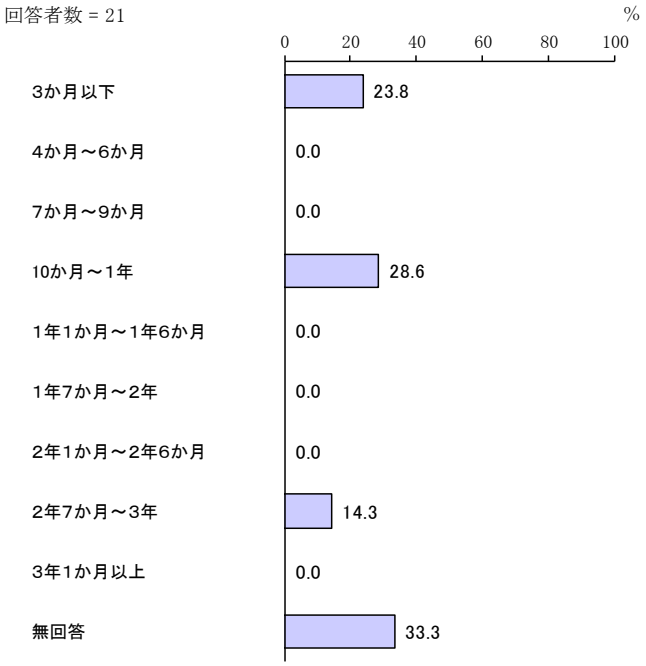
ア．母親

「２年７か月～３年」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「10 か月～１年」の割合が 12.9%、「１年７か月～２年」の割合が 11.5%となっています。



イ．父親

「10 か月～１年」の割合が 28.6%と最も高く、次いで「３か月以下」の割合が 23.8%、「２年７か月～３年」の割合が 14.3%となっています。

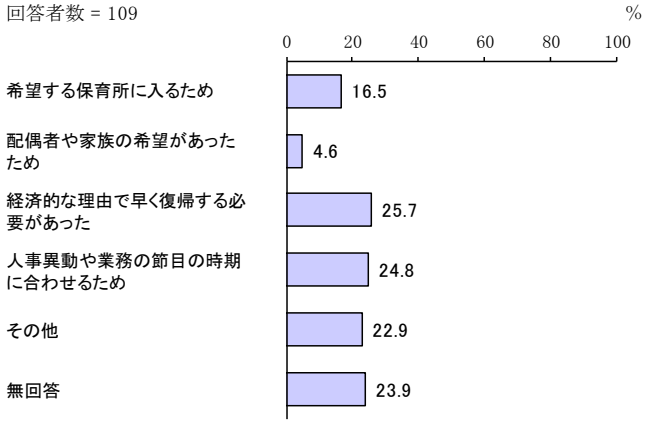


問 26－６　希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

ア.「希望」より早く復帰した方

（ア）母親

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 25.7%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 24.8%、「希望する保育所に入るため」の割合が 16.5%となっています。



（イ）父親

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 3 件となっています。「希望する保育所に入るため」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 1 件となっています。

イ.「希望」より遅く復帰した方

（ア）母親

「希望する保育所に入れなかったため」が 2 件となっています。「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」が 1 件となっています。

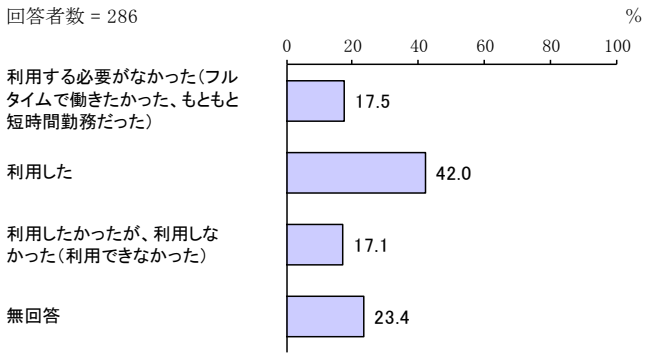
（イ）父親

「子どもをみてくれる人がいなかったため」が 1 件となっています。

問 26－７　育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

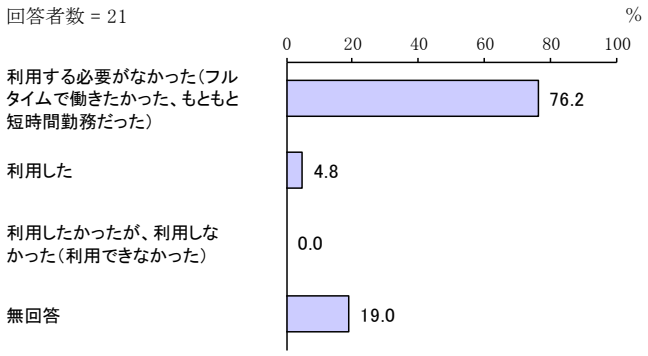
ア. 母親

「利用した」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 17.5%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 17.1%となっています。



イ．父親

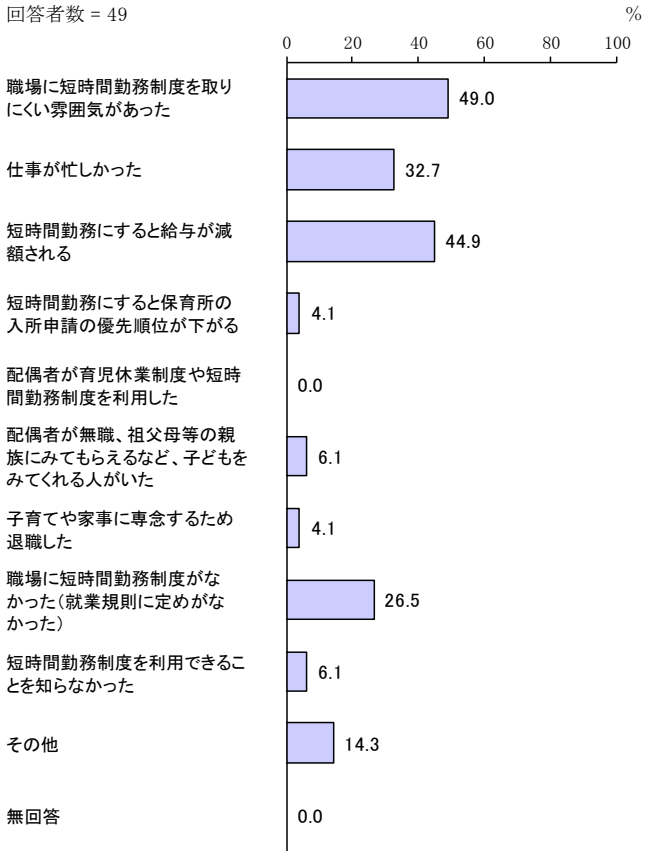
「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 76.2%と最も高くなっています。



問 26－８　短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

ア．母親

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 44.9%、「仕事が忙しかった」の割合が 32.7%となっています。



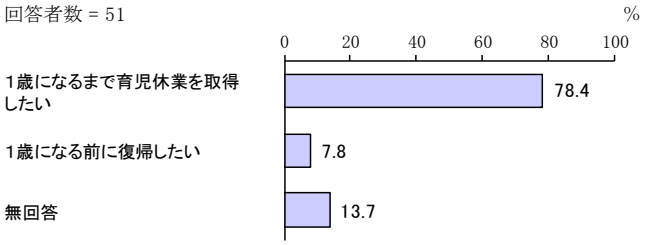
イ．父親

有効回答がありませんでした。

問 26－９　宛名のお子さんが１歳になったときに必ず利用できる事業があれば、１歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても１歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

ア．母親

「１歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が 78.4%、「１歳になる前に復帰したい」の割合が 7.8%となっています。



イ．父親

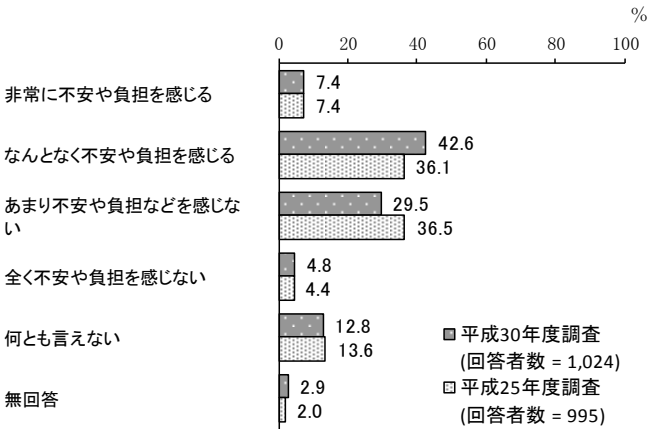
「１歳になる前に復帰したい」の件数が１件となっています。

（12）子育て全般について

問 27　あなたは、子育てをどのように感じることが多いですか。
《あてはまる１つに○》

「なんとなく不安や負担を感じる」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「あまり不安や負担などを感じない」の割合が 29.5%、「何とも言えない」の割合が 12.8%となっています。

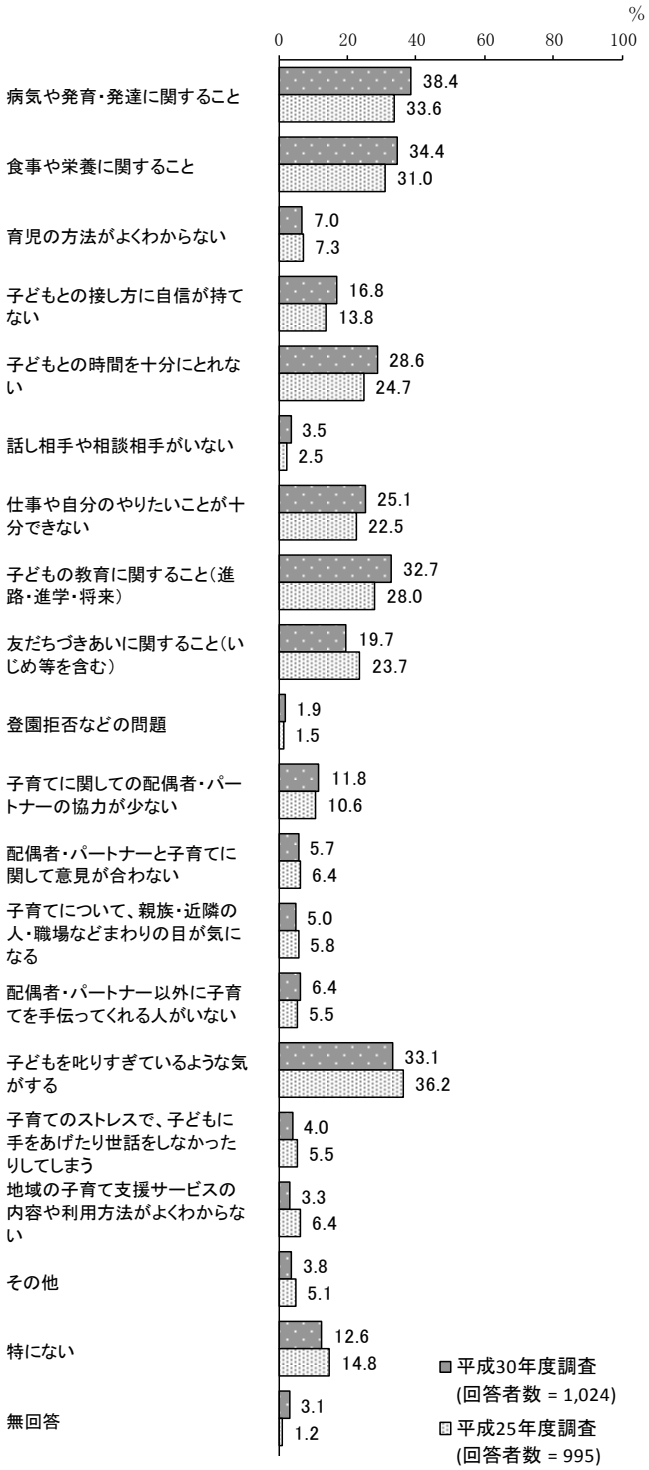
平成 25 年度調査と比較すると、「なんとなく不安や負担を感じる」の割合が増加しています。一方、「あまり不安や負担などを感じない」の割合が減少しています。



問 28　あなたが子育てに関して日常的に悩んでいること、気になることは何ですか。《あてはまるすべてに○》

「病気や発育・発達に関すること」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「食事や栄養に関すること」の割合が 34.4%、「子どもを叱りすぎているような気がする」の割合が 33.1%となっています。

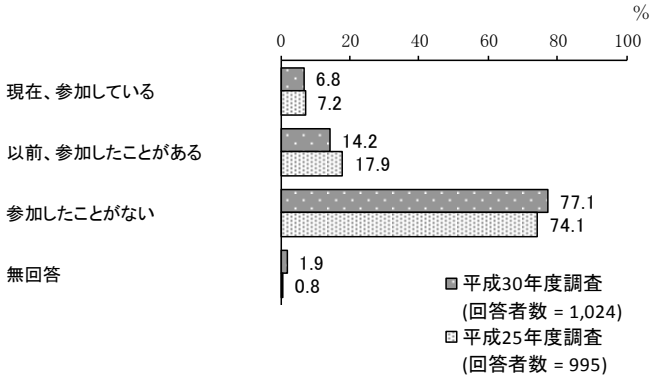
平成 25 年度調査と比較すると、「病気や発育・発達に関すること」の割合が増加しています。



問 29　あなたは、宛名のお子さんについて、子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加していますか。《あてはまる１つに○》

「参加したことがない」の割合が 77.1%と最も高く、次いで「以前、参加したことがある」の割合が 14.2%となっています。

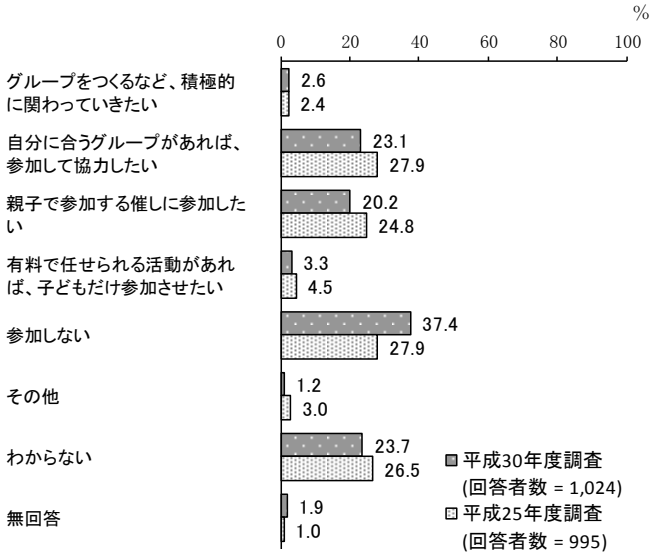
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 30　あなたは、今後、宛名のお子さんについて、子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加するつもりはありますか。《あてはまるすべてに○》

「参加しない」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 23.7%、「自分に合うグループがあれば、参加して協力したい」の割合が 23.1%となっています。

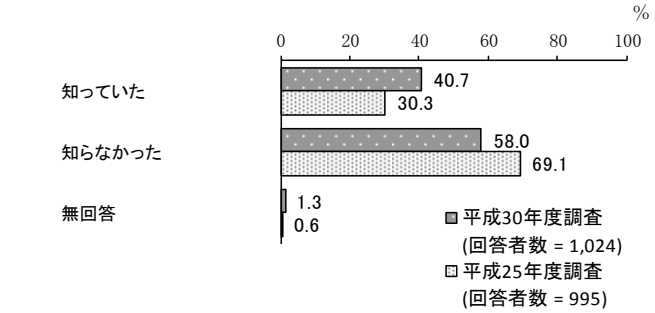
平成 25 年度調査と比較すると、「参加しない」の割合が増加しています。



問 31　あなたは、児童虐待相談の窓口として児童相談所（海部児童・障害者相談センター）の他に、市が窓口になっていることを知っていますか。《あてはまる１つに○》

「知っていた」の割合が 40.7%、「知らなかった」の割合が 58.0%となっています。

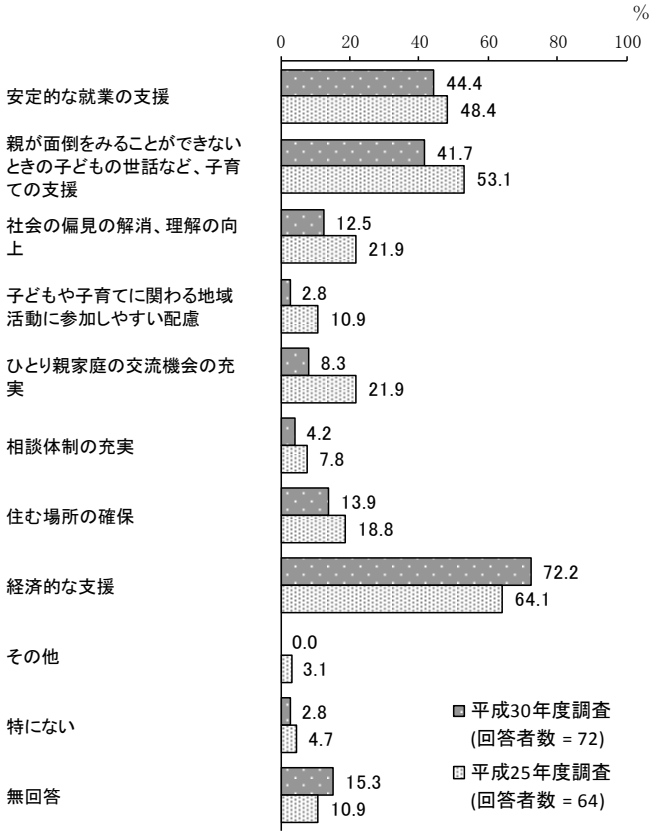
平成 25 年度調査と比較すると、「知っていた」の割合が増加しています。一方、「知らなかった」の割合が減少しています。



問 32　宛名のお子さんを育てるために必要な支援は、次のうちどれでしょうか。《主な３つまでに○》

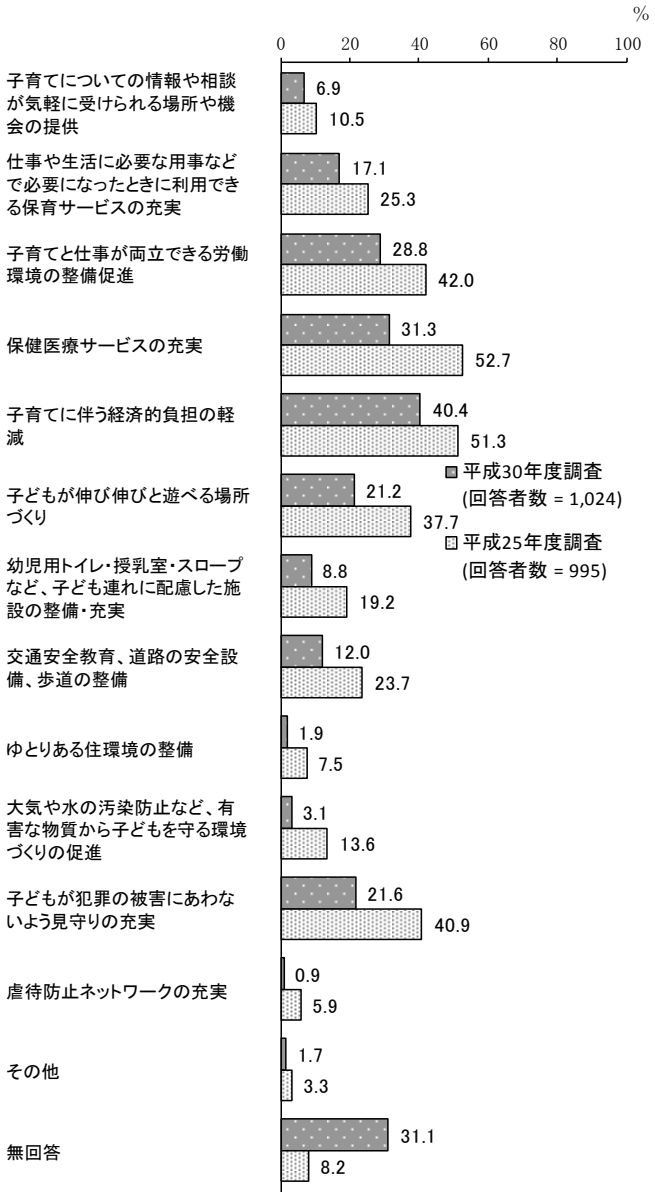
「経済的な支援」の割合が 72.2%と最も高く、次いで「安定的な就業の支援」の割合が 44.4%、「親が面倒をみることができないときの子どもの世話など、子育ての支援」の割合が 41.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「経済的な支援」の割合が増加しています。一方、「親が面倒をみることができないときの子どもの世話など、子育ての支援」「社会の偏見の解消、理解の向上」「子どもや子育てに関わる地域活動に参加しやすい配慮」「ひとり親家庭の交流機会の充実」の割合が減少しています。



問 33　あなたは、宛名のお子さんを健やかに育てるために、今後、市・県・国にどのようなことを期待しますか。《主な３つまでに○》

「子育てに伴う経済的負担の軽減」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「保健医療サービスの充実」の割合が 31.3%、「子育てと仕事が両立できる労働環境の整備促進」の割合が 28.8%となっています。

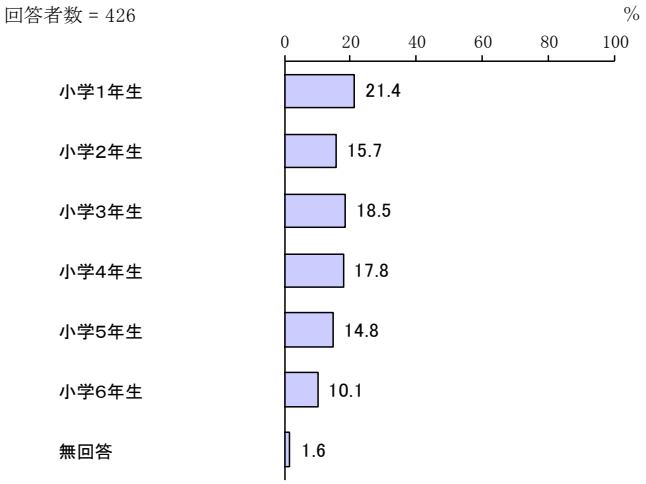


２　就学児童

（１）宛名のお子さんとご家族の状況について

問１　封筒の宛名のお子さんの生年月をお聞きします

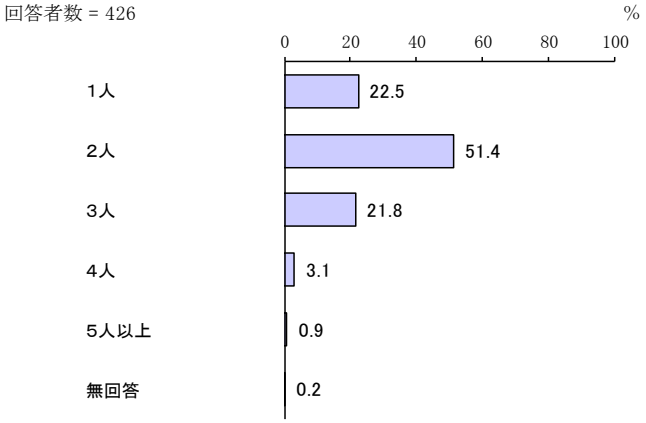
「小学１年生」の割合が 21.4％と最も高く、次いで「小学３年生」の割合が 18.5％、「小学４年生」の割合が 17.8％となっています。



問２　宛名のお子さんを含め、お子さんは何人ですか。２人以上の場合、末のお子さんの年齢（平成 30 年 10 月１日現在の年齢）をお書きください。

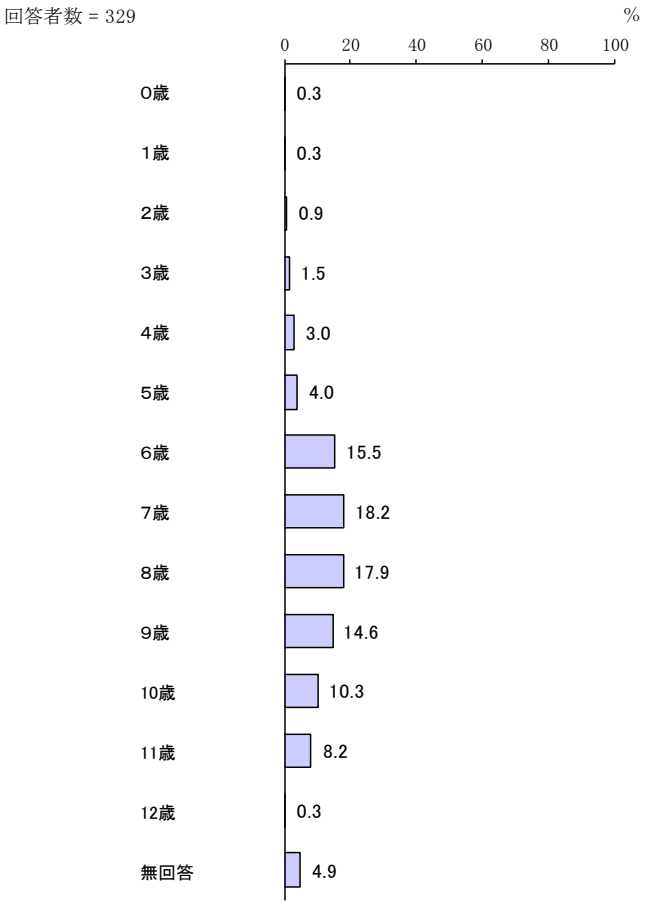
ア．お子さんの数

「２人」の割合が 51.4％と最も高く、次いで「１人」の割合が 22.5％、「３人」の割合が 21.8％となっています。



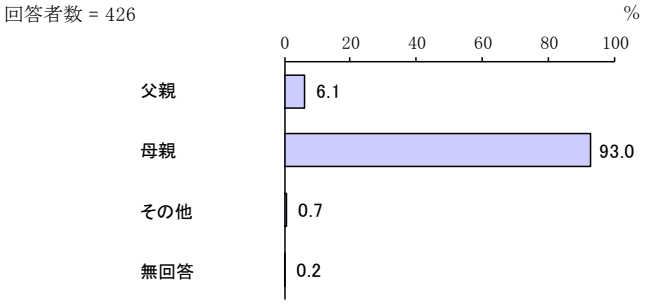
イ．末子の年齢

「７歳」の割合が 18.2%と最も高く、次いで「８歳」の割合が 17.9%、「６歳」の割合が 15.5%となっています。



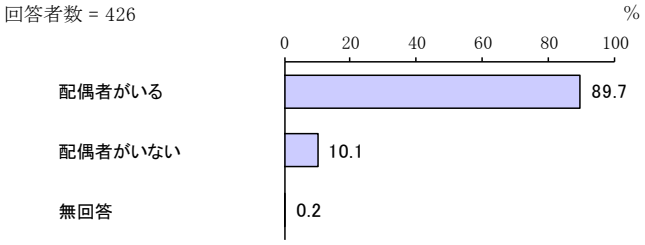
問３　このアンケートの記入者（以後、「あなた」といいます。）は、どなたですか。《あてはまる１つに○》

「父親」の割合が 6.1%、「母親」の割合が 93.0%となっています。



問４　あなたには配偶者（夫または妻）がいますか。《あてはまる１つに○》

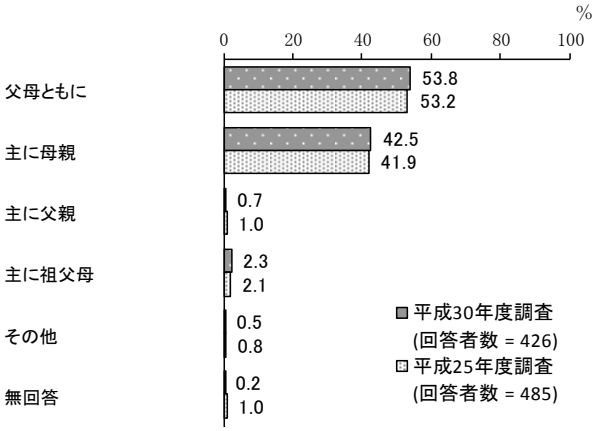
「配偶者がいる」の割合が 89.7%、「配偶者がいない」の割合が 10.1%となっています。



問５　宛名のお子さんの子育てを主にしている方はどなたですか。続柄は、宛名のお子さんから見た関係です。《あてはまる１つに○》

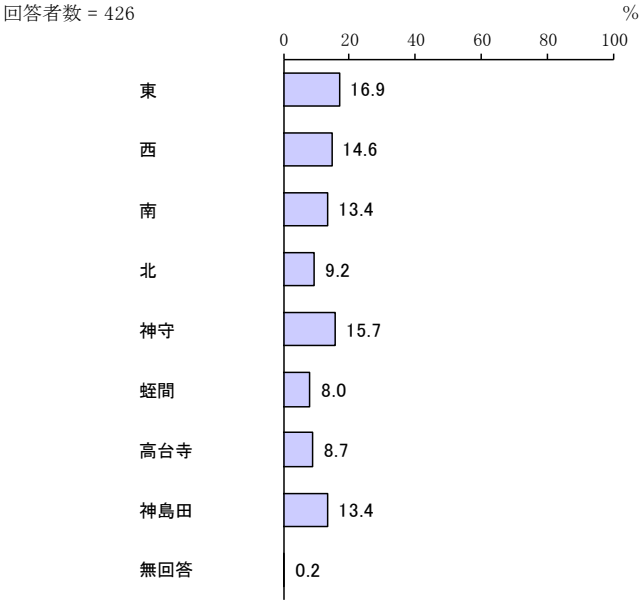
「父母ともに」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 42.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問６　お住まいの小学校区は、どちらですか。《あてはまる１つに○》

「東」の割合が 16.9%と最も高く、次いで「神守」の割合が 15.7%、「西」の割合が 14.6%となっています。

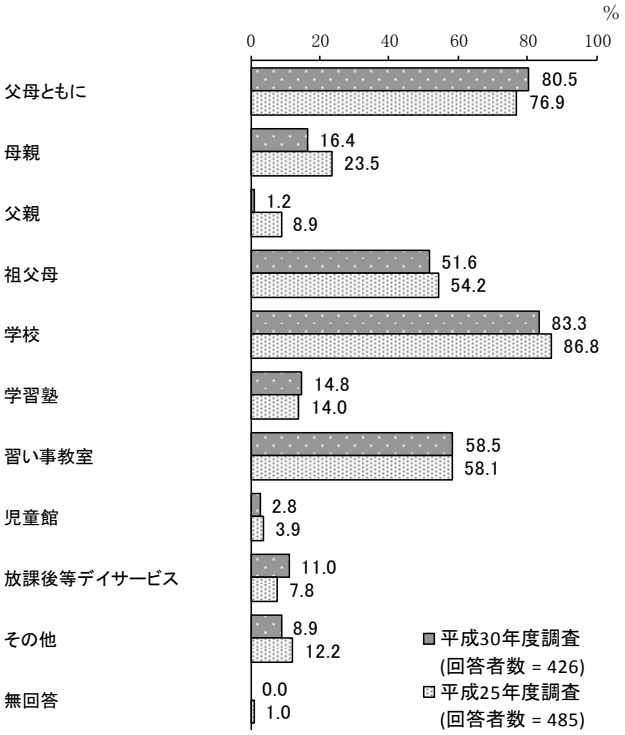


（２）宛名のお子さんの育ちをめぐる環境について

問７　宛名のお子さんの子育てに、日常的に関わっている方（施設）すべてに○をつけてください。《あてはまるすべてに○》

「学校」の割合が 83.3%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が 80.5%、「習い事教室」の割合が 58.5%となっています。

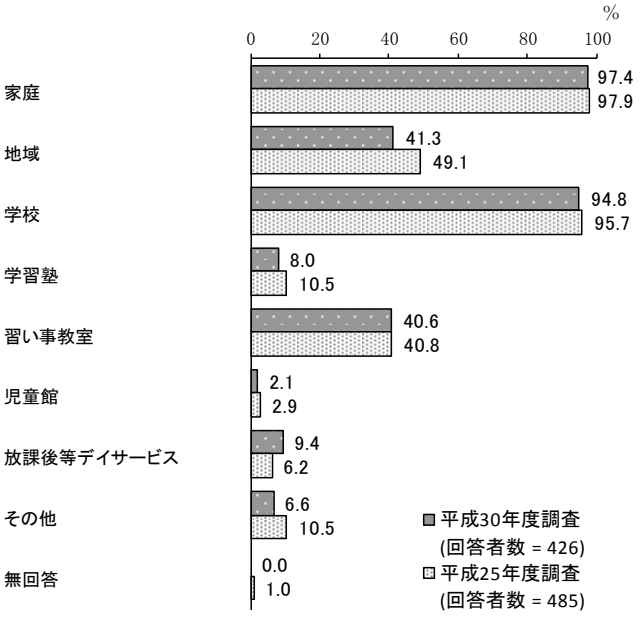
平成 25 年度調査と比較すると、「母親」「父親」の割合が減少しています。



問８　宛名のお子さんの子育てに、主に影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。《あてはまるすべてに○》

「家庭」の割合が 97.4%と最も高く、次いで「学校」の割合が 94.8%、「地域」の割合が 41.3%となっています。

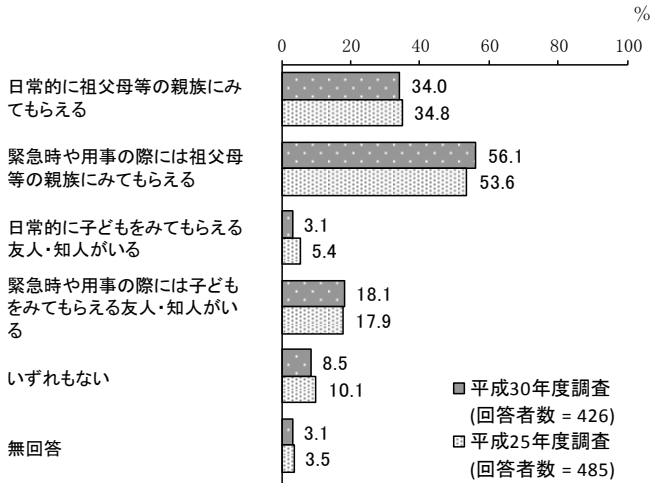
平成 25 年度調査と比較すると、「地域」の割合が減少しています。



問９　お子さんをみてもらえる人はいますか。《あてはまるすべてに〇》

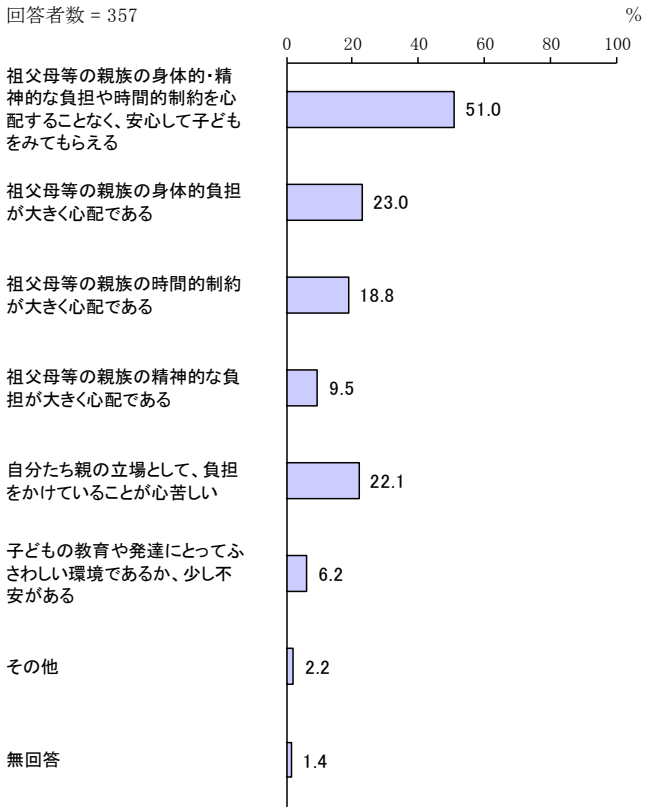
「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 56.1%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 34.0%、「緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が 18.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問９－１　祖父母等の親族にみてもらえる状況についてお聞きします。《あてはまるすべてに〇》

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が 23.0%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 22.1%となっています。



【学年別】

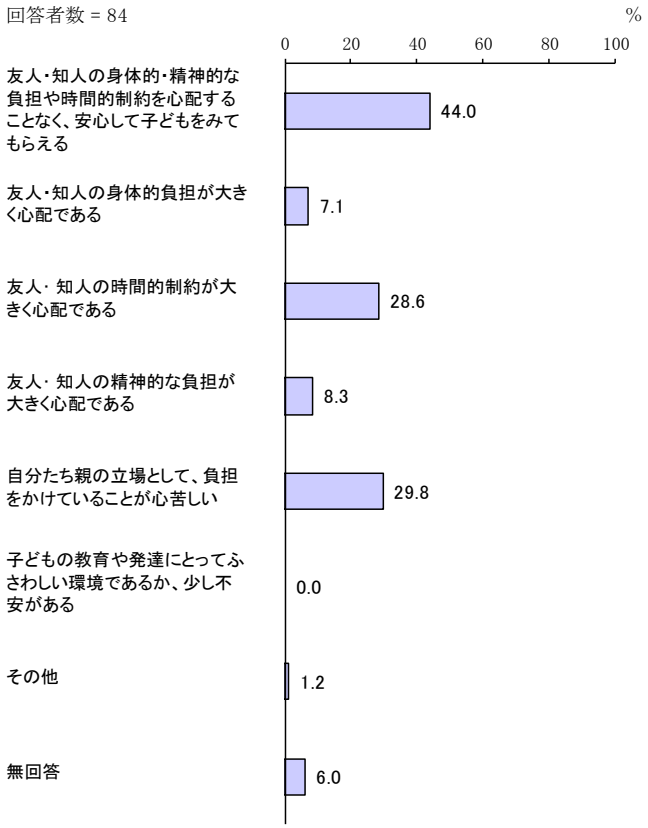
学年別でみると、他に比べ、小学２年生で「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	祖父母等の親族の時間的制約が大きく心配である	祖父母等の親族の精神的な負担が大きく心配である	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答
小学1年生	82	53.7	22.0	20.7	7.3	23.2	8.5	1.2	－
小学2年生	58	50.0	29.3	22.4	10.3	22.4	5.2	1.7	1.7
小学3年生	69	52.2	20.3	14.5	13.0	18.8	8.7	2.9	－
小学4年生	66	47.0	21.2	15.2	7.6	24.2	3.0	3.0	4.5
小学5年生	49	55.1	24.5	24.5	6.1	22.4	2.0	－	2.0
小学6年生	28	42.9	25.0	17.9	14.3	21.4	10.7	7.1	－

問９－２　友人や知人にみてもらえる状況についてお聞きします。《あてはまるすべてに○》

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 44.0％と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 29.8％、「友人・ 知人の時間的制約が大きく心配である」の割合が 28.6％となっています。



【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学２年生で「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が、小学５年生で「友人・知人の時間的制約が大きく心配である」の割合が高くなっています。

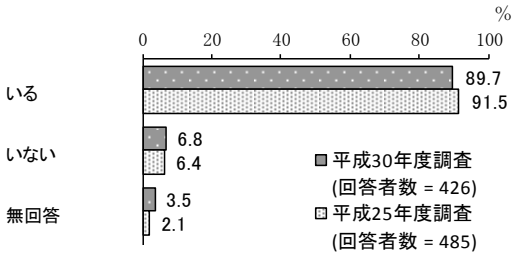
単位：％

区分	有効回答数（件）	友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	友人・知人の身体的負担が大きく心配である	友人・知人の時間的制約が大きく心配である	友人・知人の精神的な負担が大きく心配である	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答
小学1年生	17	52.9	5.9	17.6	5.9	29.4	－	－	5.9
小学2年生	15	33.3	6.7	33.3	13.3	40.0	－	－	－
小学3年生	14	57.1	－	28.6	7.1	21.4	－	－	－
小学4年生	12	25.0	－	25.0	－	33.3	－	8.3	16.7
小学5年生	13	46.2	15.4	38.5	7.7	23.1	－	－	7.7
小学6年生	12	50.0	16.7	25.0	16.7	33.3	－	－	8.3

問 10　あなたは、子育てや教育について気軽に相談できる人がいますか。
《あてはまる１つに○》

「いる」の割合が 89.7%、「いない」の割合が 6.8%となっています。

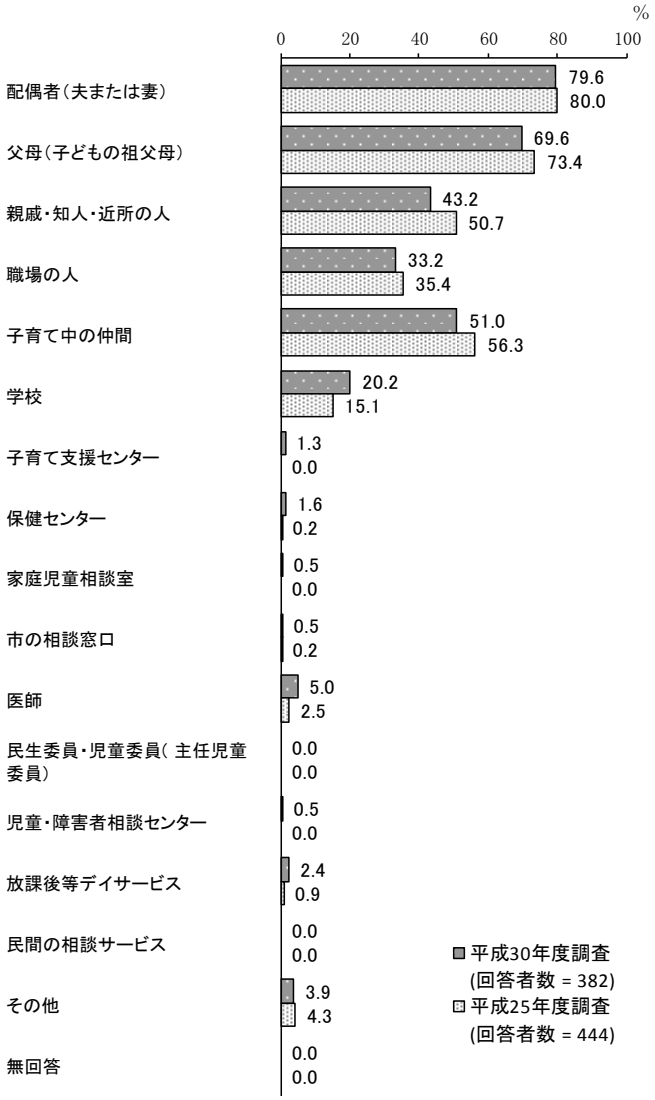
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 10－１　相談先は、次のどなたですか。《あてはまるすべてに○》

「配偶者（夫または妻)」の割合が 79.6%と最も高く、次いで「父母（子どもの祖父母)」の割合が 69.6%、「子育て中の仲間」の割合が 51.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「学校」の割合が増加しています。一方、「親戚・知人・近所の人」「子育て中の仲間」の割合が減少しています。

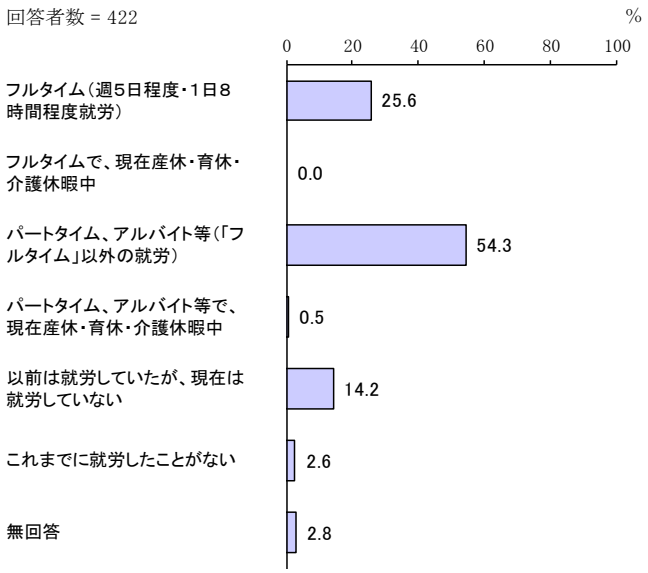


（３）宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 11　現在の就労状況を（自営、家業従事含む）お聞きします。《あてはまる１つに○》
また、併せて日数等をお書きください。

ア．母親

「パートタイム、アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)」の割合が 54.3%と最も高く、次いで「フルタイム（週５日程度・１日８時間程度就労)」の割合が 25.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 14.2%となっています。



【学年別】

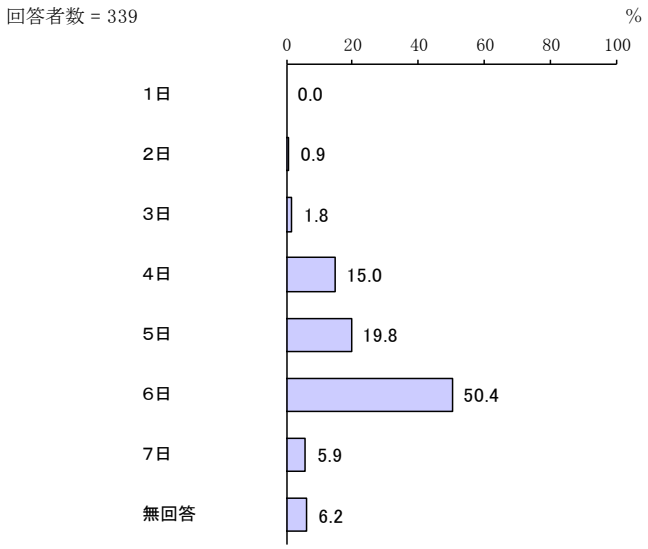
学年別でみると、他に比べ、小学５年生で「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労)」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	フルタイム（週５日程度・１日８時間程度就労）	フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）	パートタイム、アルバイト等で、現在産休・育休・介護休暇中	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまでに就労したことがない	無回答
小学1年生	90	30.0	－	54.4	1.1	14.4	－	－
小学2年生	67	26.9	－	50.7	－	17.9	4.5	－
小学3年生	79	22.8	－	50.6	1.3	13.9	6.3	5.1
小学4年生	73	21.9	－	56.2	－	19.2	－	2.7
小学5年生	63	23.8	－	61.9	－	7.9	1.6	4.8
小学6年生	43	30.2	－	51.2	－	7.0	4.7	7.0

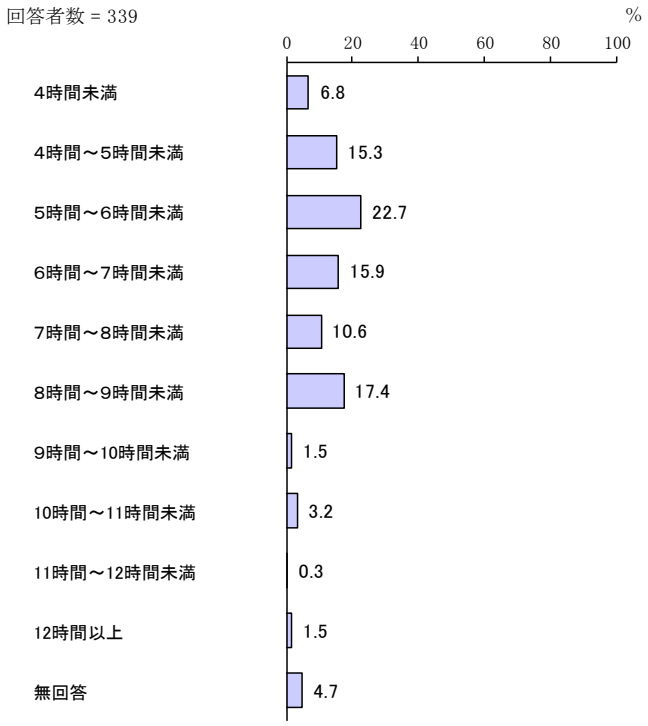
（ア） １週あたり就労日数

「６日」の割合が 50.4%と最も高く、次いで「５日」の割合が 19.8%、「４日」の割合が 15.0%となっています。



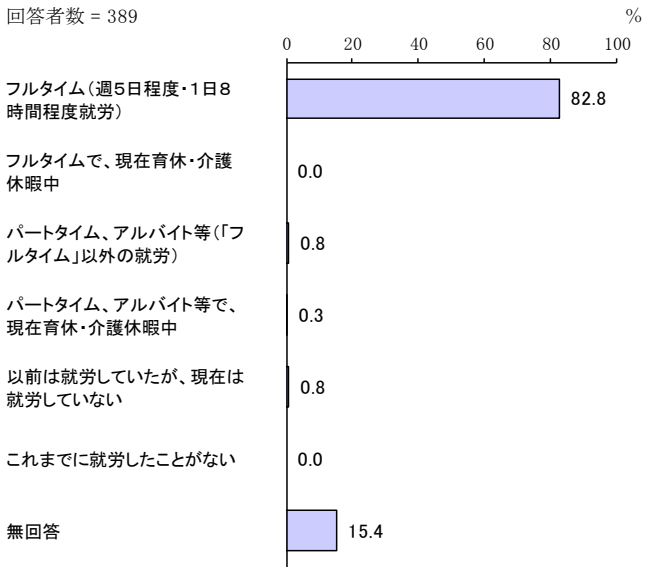
（イ） １日あたり就労時間

「５時間～６時間未満」の割合が 22.7％と最も高く、次いで「８時間～９時間未満」の割合が 17.4％、「６時間～７時間未満」の割合が 15.9％となっています。



イ．父親

「フルタイム（週５日程度・１日８時間程度就労）」の割合が 82.8％と最も高くなっています。



【学年別】

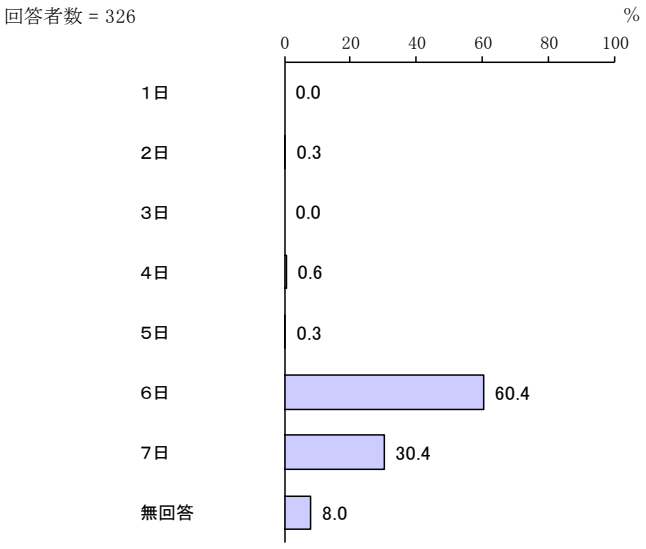
学年別でみると、他に比べ、小学２年生で「フルタイム（週５日程度・１日８時間程度就労）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	フルタイム（週５日程度・１日８時間程度就労）	フルタイムで、現在育休・介護休暇中	パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）	パートタイム、アルバイト等で、現在育休・介護休暇中	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまでに就労したことがない	無回答
小学1年生	85	85.9	－	1.2	－	－	－	12.9
小学2年生	65	90.8	－	1.5	－	－	－	7.7
小学3年生	72	81.9	－	－	－	2.8	－	15.3
小学4年生	69	81.2	－	－	1.4	－	－	17.4
小学5年生	53	77.4	－	1.9	－	1.9	－	18.9
小学6年生	38	76.3	－	－	－	－	－	23.7

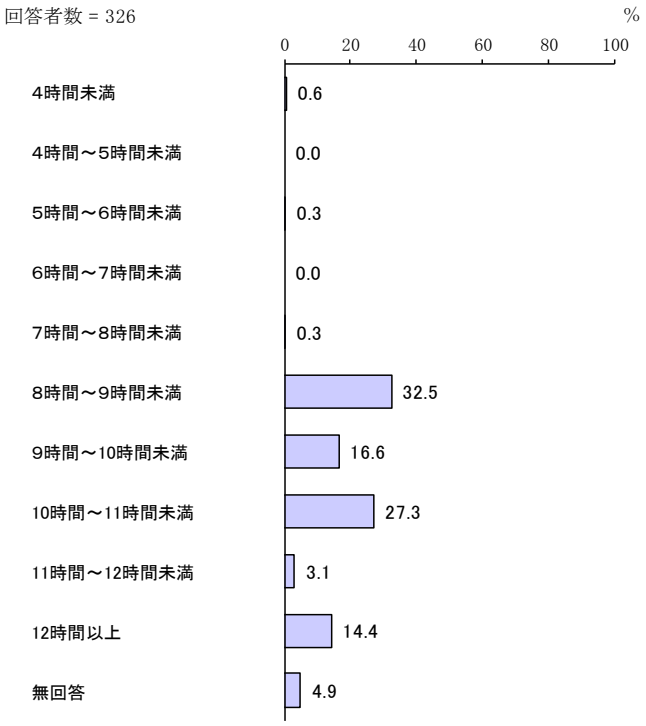
（ア）１週あたり就労日数

「６日」の割合が 60.4％と最も高く、次いで「７日」の割合が 30.4％となっています。



（イ） １日あたり就労時間

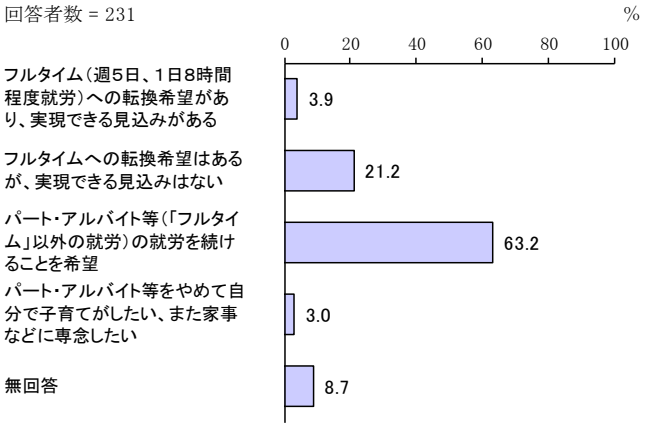
「８時間～９時間未満」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「10 時間～11 時間未満」の割合が 27.3%、「９時間～10 時間未満」の割合が 16.6%となっています。



問 11－１　フルタイムへの転換希望はありますか。《あてはまる１つに○》

ア．母親

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）の就労を続けることを希望」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 21.2%となっています。



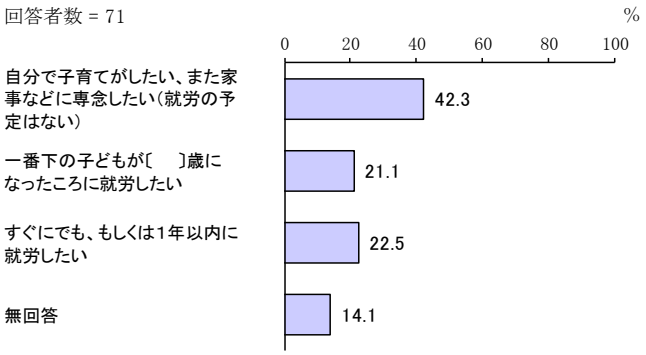
イ．父親

「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が１件となっています。

問 11－２　就労希望はありますか。《あてはまる１つに○》また、〔　　〕内に数字をご記入いただき、併せて次の質問にもお答えください。

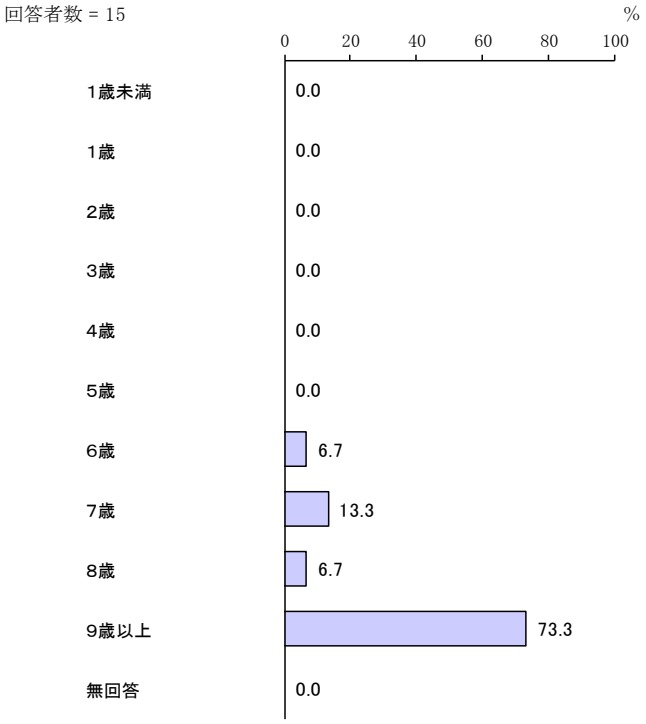
ア．母親

「自分で子育てがしたい、また家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が 42.3％と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」の割合が 22.5％、「一番下の子どもが〔　　〕歳になったころに就労したい」の割合が 21.1％となっています。



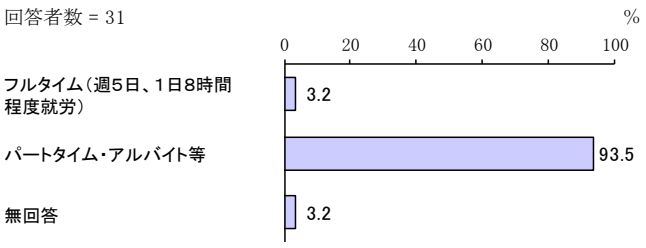
ア．一番下の子どもが（　　）歳になったころ

「９歳以上」の割合が 73.3％と最も高く、次いで「７歳」の割合が 13.3％となっています。



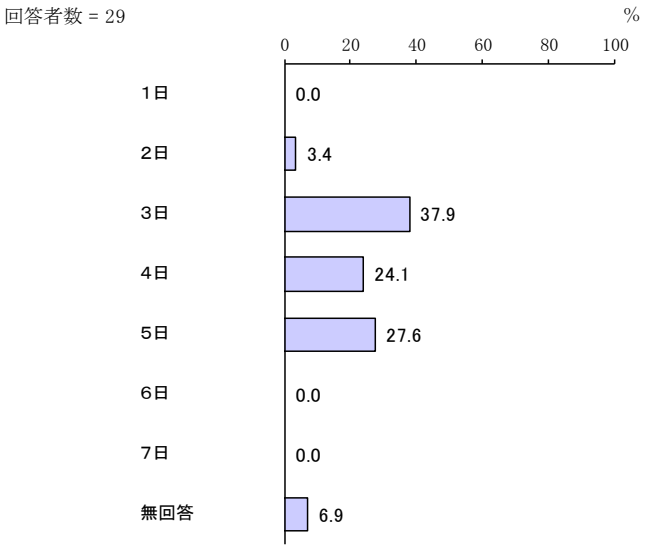
イ．希望する就労形態

「フルタイム（週５日、１日８時間程度就労）」の割合が 3.2％、「パートタイム・アルバイト等」の割合が 93.5％となっています。



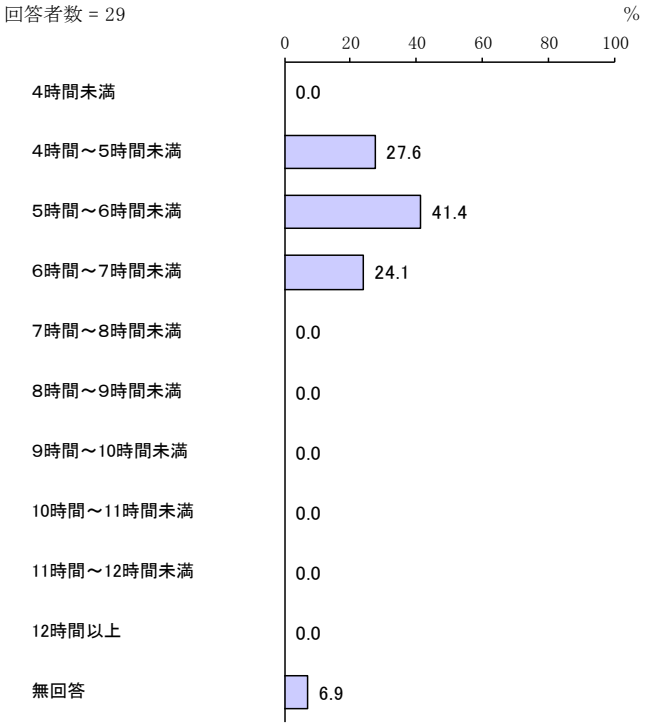
（ア）希望１週あたり就労日数

「３日」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「５日」の割合が 27.6%、「４日」の割合が 24.1%となっています。



（イ）希望１日あたり就労時間

「５時間～６時間未満」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「４時間～５時間未満」の割合が 27.6%、「６時間～７時間未満」の割合が 24.1%となっています。



イ．父親

「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が３件となっています。

ア．一番下の子どもが（　　）歳になったころ

有効回答がありませんでした。

イ．希望する就労形態

「フルタイム（週５日、１日８時間程度就労)」が３件、「パートタイム・アルバイト等」が０件となっています。

（ア）希望１週あたり就労日数

有効回答がありませんでした。

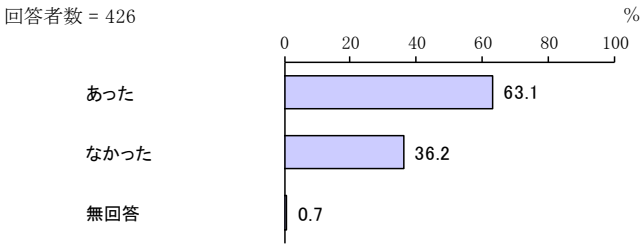
（イ）希望１日あたり就労時間

有効回答がありませんでした。

（４）病児・病後児事業等について

問 12　この１年間に、宛名のお子さんが病気やケガで小学校を休まなければならなかったことはありますか。《あてはまるすべてに○》

「あった」の割合が 63.1%、「なかった」の割合が 36.2%となっています。



【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学４年生で「あった」の割合が、小学５年生で「なかった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	あった	なかった	無回答
小学1年生	91	61.5	37.4	1.1
小学2年生	67	65.7	32.8	1.5
小学3年生	79	63.3	36.7	－
小学4年生	76	72.4	27.6	－
小学5年生	63	50.8	47.6	1.6
小学6年生	43	58.1	41.9	－

【母親の就労別】

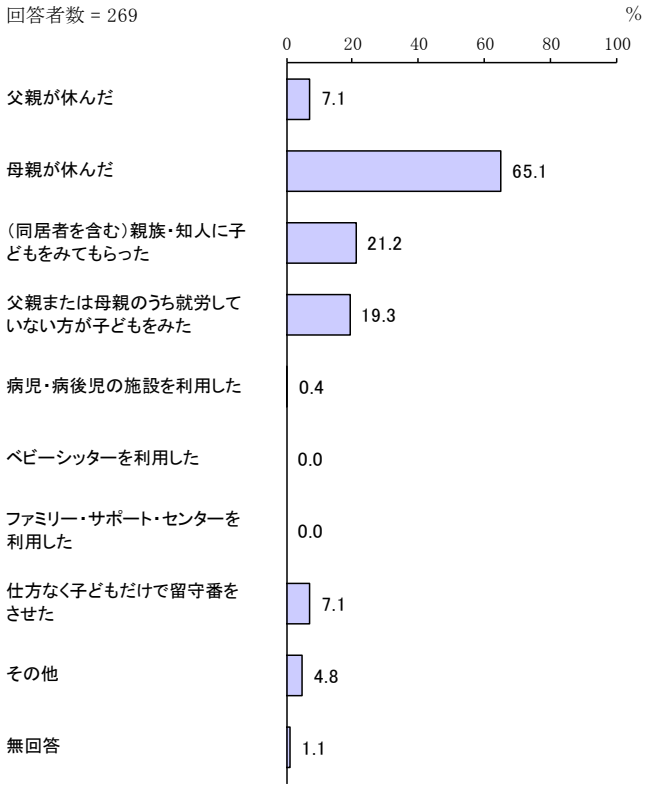
母親の就労別でみると、他に比べ、以前は就労していたが、現在は就労していないで「あった」の割合が、フルタイム（週５日程度・１日８時間程度就労）で「なかった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	あった	なかった	無回答
フルタイム（週5日程度・1日8時間程度就労）	108	58.3	40.7	0.9
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	－	－	－	－
パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）	229	62.4	37.1	0.4
パートタイム、アルバイト等で、現在産休・育休・介護休暇中	2	50.0	50.0	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	60	75.0	25.0	－
これまでに就労したことがない	11	72.7	18.2	9.1

問 12－１　どのように対処しましたか。《あてはまるすべてに○》

「母親が休んだ」の割合が 65.1％と最も高く、次いで「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が 21.2％、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が 19.3％となっています。



対処日数

対処日数をみると、他に比べ、(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらったで「１日」の割合が、父親が休んだで「２日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	1日	2日	3日	4日	5日	6日～10日	11日～20日	21日以上	無回答
父親が休んだ	19	21.1	47.4	15.8	－	5.3	10.5	－	－	－
母親が休んだ	175	13.7	19.4	15.4	5.1	13.1	13.7	2.3	1.1	16.0
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	57	28.1	24.6	17.5	3.5	10.5	8.8	－	－	7.0
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	52	13.5	17.3	21.2	－	13.5	17.3	3.8	3.8	9.6
病児・病後児の保育を利用した	1	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－
ベビーシッターを利用した	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ファミリー・サポート・センターを利用した	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	19	26.3	36.8	15.8	－	10.5	－	－	5.3	5.3
その他	13	23.1	15.4	7.7	－	－	15.4	－	－	38.5

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学１年生、小学６年生で「母親が休んだ」の割合が、小学２年生で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が高くなっています。また、小学３年生で「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の施設を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
小学1年生	56	12.5	69.6	25.0	19.6	1.8	－	－	3.6	3.6	－
小学2年生	44	4.5	63.6	29.5	20.5	－	－	－	4.5	4.5	2.3
小学3年生	50	2.0	64.0	10.0	28.0	－	－	－	4.0	4.0	2.0
小学4年生	55	14.5	63.6	23.6	18.2	－	－	－	10.9	5.5	－
小学5年生	32	－	59.4	25.0	12.5	－	－	－	9.4	6.3	－
小学6年生	25	4.0	68.0	16.0	12.0	－	－	－	16.0	4.0	4.0

【母親の就労状況別】

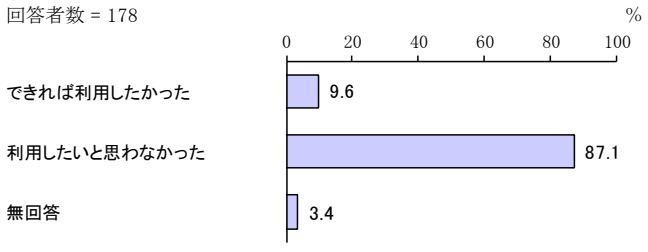
母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム（週５日程度・１日８時間程度就労）で「母親が休んだ」「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が高くなっています。また、以前は就労していたが、現在は就労していないで「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	父親が休んだ	母親が休んだ	（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の施設を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイム（週5日程度・1日8時間程度就労）	63	11.1	81.0	42.9	3.2	1.6	－	－	9.5	1.6	－
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）	143	5.6	79.7	20.3	4.2	－	－	－	7.0	7.0	－
パートタイム、アルバイト等で、現在産休・育休・介護休暇中	1	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	45	2.2	13.3	2.2	77.8	－	－	－	2.2	2.2	4.4
これまでに就労したことがない	8	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－

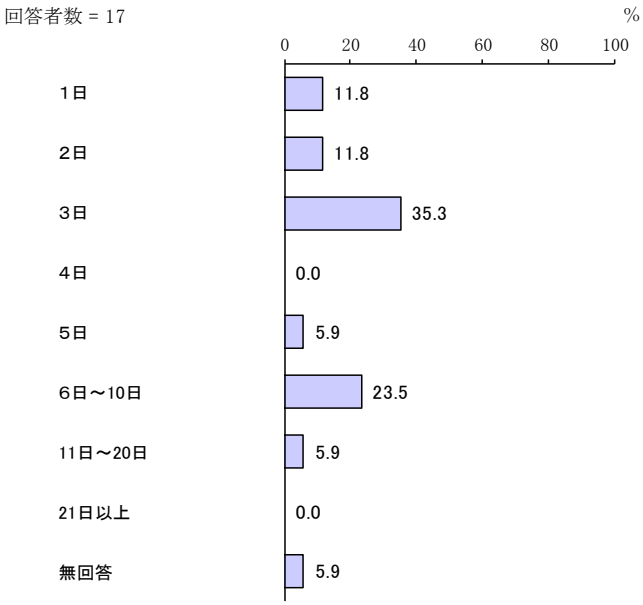
問 12－２　病児・病後児事業を利用したいと思いましたか。《あてはまる１つに○》

「できれば利用したかった」の割合が 9.6%、「利用したいと思わなかった」の割合が 87.1%となっています。



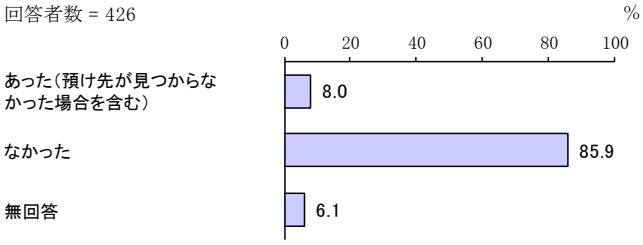
病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「３日」の割合が 35.3%と最も高く、次いで「６日～10 日」の割合が 23.5%、「１日」、「２日」の割合が 11.8%となっています。



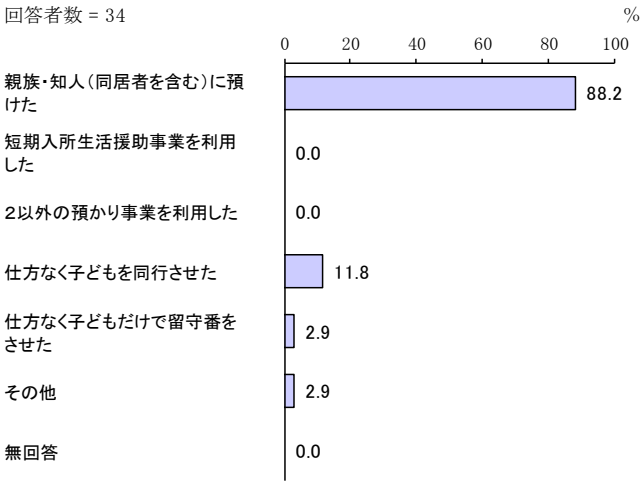
問 13　この１年間に保護者の用事などにより、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。《あてはまる１つに○》

「あった（預け先が見つからなかった場合を含む）」の割合が 8.0%、「なかった」の割合が 85.9%となっています。



問 13－１　そのときの対処方法はどれですか。《あてはまるすべてに○》また、対処の日数を記入してください。

「親族・知人（同居者を含む）に預けた」の割合が 88.2%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が 11.8%となっています。



対処方法

対処方法をみると、他に比べ、親族・知人（同居者を含む）に預けたで「１泊」の割合が高くなっています。

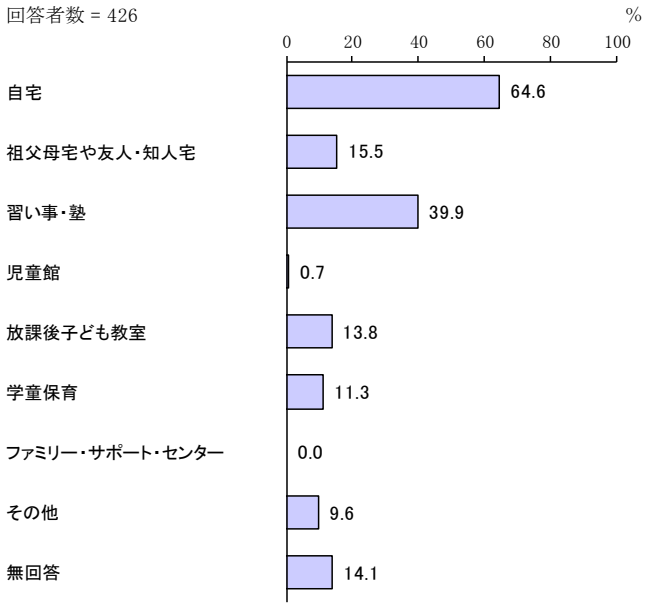
単位：％

区分	回答者数（件）	１泊	２泊	３泊	４泊	５泊	６泊～10泊	11泊～20泊	21泊以上	無回答
親族・知人（同居者を含む）に預けた	30	30.0	13.3	6.7	3.3	10.0	16.7	3.3	6.7	10.0
短期入所生活援助事業を利用した	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
２以外の保育事業を利用した	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
仕方なく子どもを同行させた	4	25.0	25.0	－	－	－	－	－	－	50.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－
その他	1	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－

（５）放課後の過ごし方について

問 14　宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。《あてはまるすべてに○》

「自宅」の割合が 64.6％と最も高く、次いで「習い事・塾」の割合が 39.9％、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が 15.5％となっています。



ア．利用希望

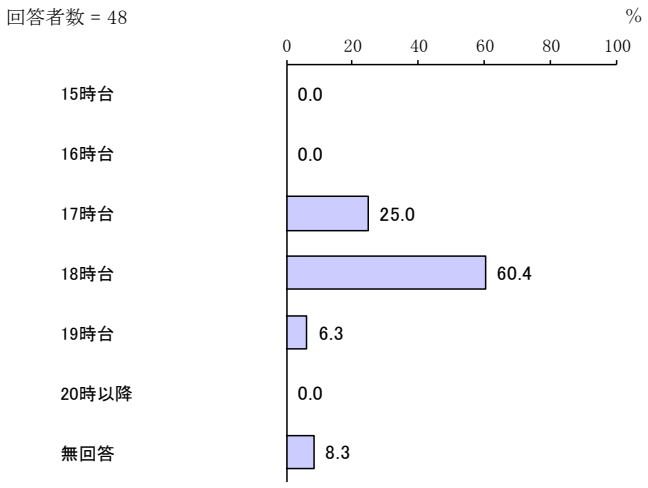
利用希望をみると、他に比べ、祖父母宅や友人・知人宅で「１日」の割合が、学童保育で「５日」の割合が高くなっています。また、放課後子ども教室で「４日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	１日	２日	３日	４日	５日	無回答
自宅	275	11.6	13.5	14.2	9.5	43.6	7.6
祖父母宅や友人・知人宅	66	27.3	30.3	9.1	4.5	18.2	10.6
習い事・塾	170	21.8	33.5	24.1	12.9	4.1	3.5
児童館	3	33.3	33.3	－	－	－	33.3
放課後子ども教室	59	1.7	5.1	22.0	61.0	6.8	3.4
学童保育	48	－	4.2	4.2	8.3	77.1	6.3
ファミリー・サポート・センター	－	－	－	－	－	－	－
その他	41	26.8	31.7	24.4	2.4	4.9	9.8

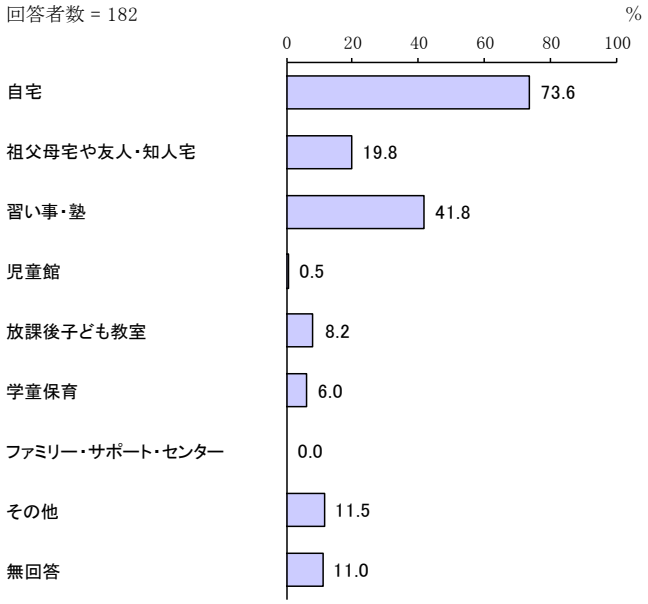
イ．学童保育　利用終了時刻

「18 時台」の割合が 60.4％と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 25.0％となっています。



問 15　宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。
《あてはまるすべてに○》

「自宅」の割合が 73.6%と最も高く、次いで「習い事・塾」の割合が 41.8%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が 19.8%となっています。



ア．利用希望

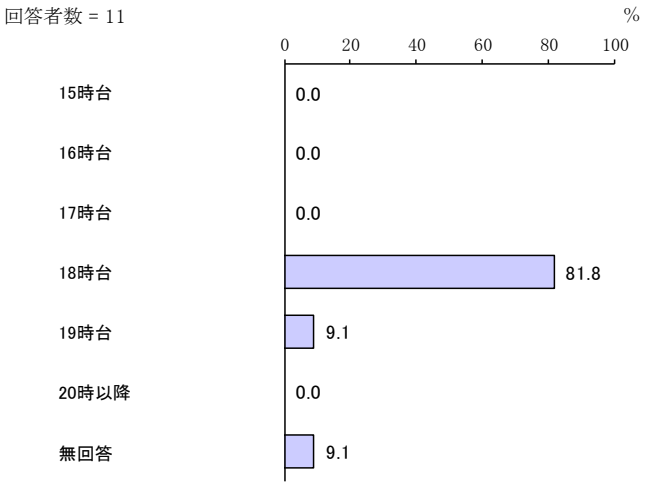
利用希望をみると、他に比べ、祖父母宅や友人・知人宅で「１日」の割合が、習い事・塾で「２日」の割合が高くなっています。また、放課後子ども教室で「４日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	１日	２日	３日	４日	５日	無回答
自宅	134	13.4	9.0	10.4	9.0	54.5	3.7
祖父母宅や友人・知人宅	36	36.1	22.2	8.3	5.6	22.2	5.6
習い事・塾	76	25.0	32.9	23.7	9.2	9.2	－
児童館	1	－	－	－	－	－	100.0
放課後子ども教室	15	－	6.7	20.0	60.0	6.7	6.7
学童保育	11	9.1	－	－	－	90.9	－
ファミリー・サポート・センター	－	－	－	－	－	－	－
その他	21	28.6	19.0	28.6	9.5	－	14.3

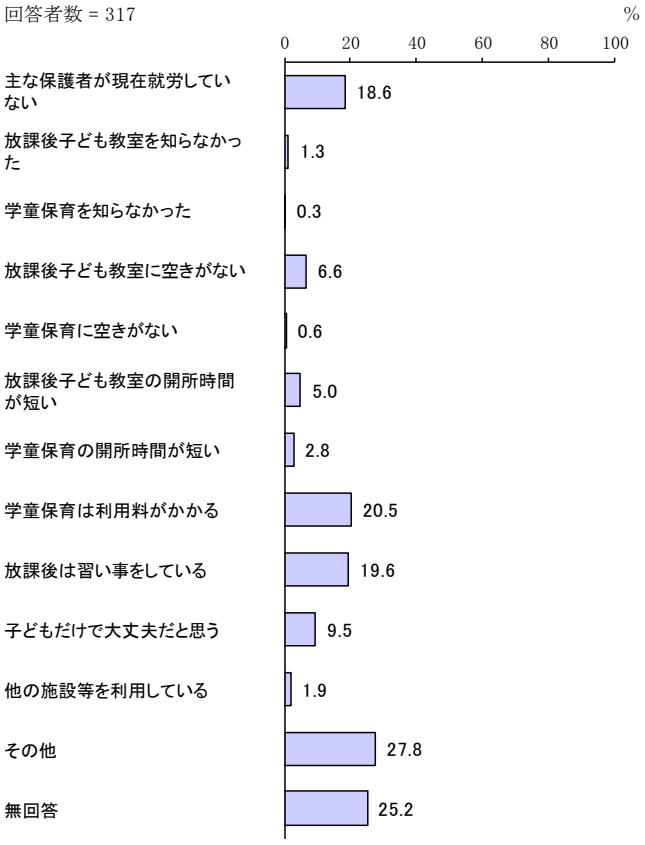
イ．学童保育　利用終了時刻

「18 時台」の割合が 81.8%と最も高くなっています。



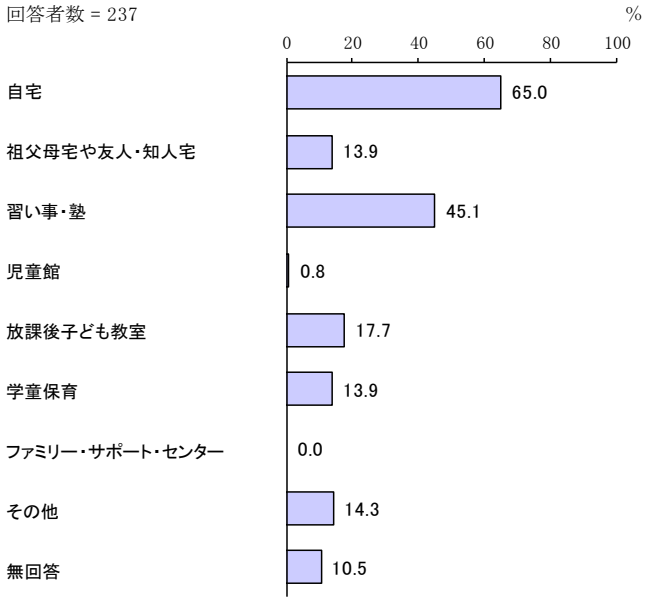
問 15－１　利用していない理由は何ですか。《あてはまるすべてに○》

「学童保育は利用料がかかる」の割合が 20.5%と最も高く、次いで「放課後は習い事をしている」の割合が 19.6%、「主な保護者が現在就労していない」の割合が 18.6%となっています。



問 16　宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。《あてはまるすべてに○》

「自宅」の割合が 65.0%と最も高く、次いで「習い事・塾」の割合が 45.1%、「放課後子ども教室」の割合が 17.7%となっています。



ア．利用希望

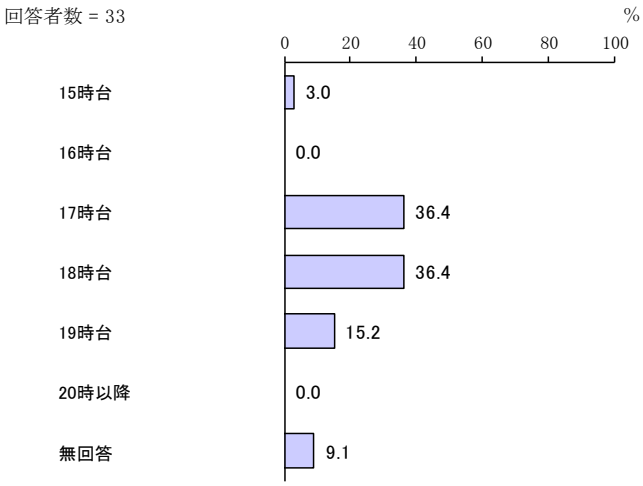
利用希望をみると、他に比べ、祖父母宅や友人・知人宅で「１日」の割合が、学童保育で「５日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	１日	２日	３日	４日	５日	無回答
自宅	154	13.0	15.6	15.6	5.8	36.4	13.6
祖父母宅や友人・知人宅	33	39.4	33.3	－	－	18.2	9.1
習い事・塾	107	20.6	33.6	18.7	12.1	5.6	9.3
児童館	2	50.0	－	50.0	－	－	－
放課後子ども教室	42	4.8	7.1	35.7	23.8	21.4	7.1
学童保育	33	－	－	3.0	3.0	66.7	27.3
ファミリー・サポート・センター	－	－	－	－	－	－	－
その他	34	23.5	41.2	17.6	－	2.9	14.7

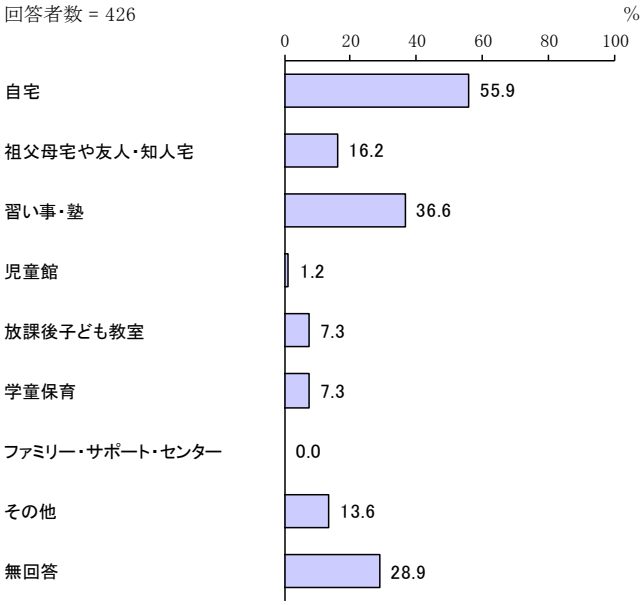
イ．学童保育　利用終了時刻

「17 時台」、「18 時台」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 15.2%となっています。



問 17　宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。《あてはまるすべてに○》

「自宅」の割合が 55.9%と最も高く、次いで「習い事・塾」の割合が 36.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が 16.2%となっています。



ア．利用希望

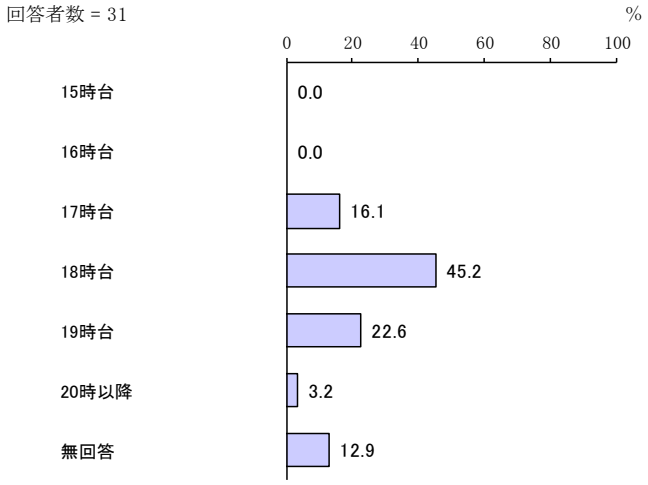
利用希望をみると、他に比べ、祖父母宅や友人・知人宅で「１日」の割合が、習い事・塾で「２日」の割合が高くなっています。また、学童保育で「５日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	１日	２日	３日	４日	５日	無回答
自宅	238	8.4	17.6	12.2	6.3	41.2	14.3
祖父母宅や友人・知人宅	69	31.9	24.6	4.3	2.9	15.9	20.3
習い事・塾	156	16.0	32.7	25.0	10.9	5.1	10.3
児童館	5	－	20.0	20.0	－	20.0	40.0
放課後子ども教室	31	9.7	9.7	19.4	12.9	35.5	12.9
学童保育	31	－	6.5	9.7	－	67.7	16.1
ファミリー・サポート・センター	－	－	－	－	－	－	－
その他	58	12.1	34.5	25.9	1.7	5.2	20.7

イ．学童保育　利用終了時刻

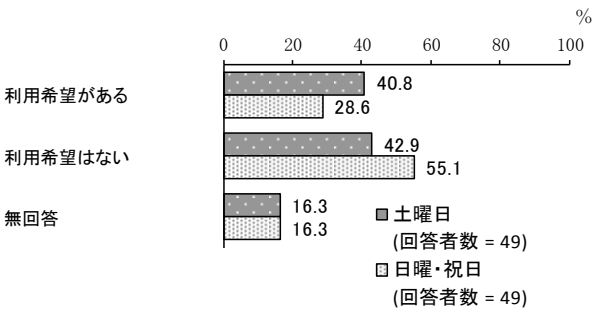
「18 時台」の割合が 45.2％と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 22.6％、「17 時台」の割合が 16.1％となっています。



問 17－１　宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、学童保育の利用希望がありますか。　《あてはまる１つに○》
利用希望がある場合は、希望する学年や時間帯を〔　　〕内にお書きください。
時間帯は、24 時間制（例：9：00～18：00）でお書きください。

土曜日では、「利用希望がある」の割合が 40.8％、「利用希望はない」の割合が 42.9％となっています。

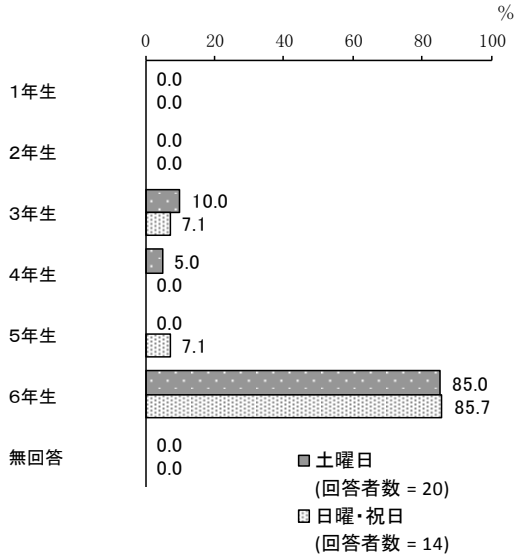
日曜日・祝日では、「利用希望がある」の割合が 28.6％、「利用希望はない」の割合が 55.1％となっています。



（ア）何年生まで利用したいか

土曜日では、「６年生」の割合が 85.0％と最も高く、次いで「３年生」の割合が 10.0％となっています。

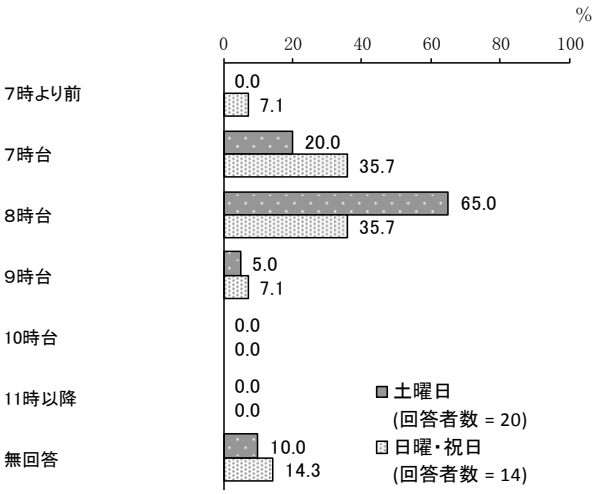
日曜日・祝日では、「６年生」の割合が 85.7％と最も高くなっています。



（イ）利用開始時間

土曜日では、「８時台」の割合が 65.0％と最も高く、次いで「７時台」の割合が 20.0％となっています。

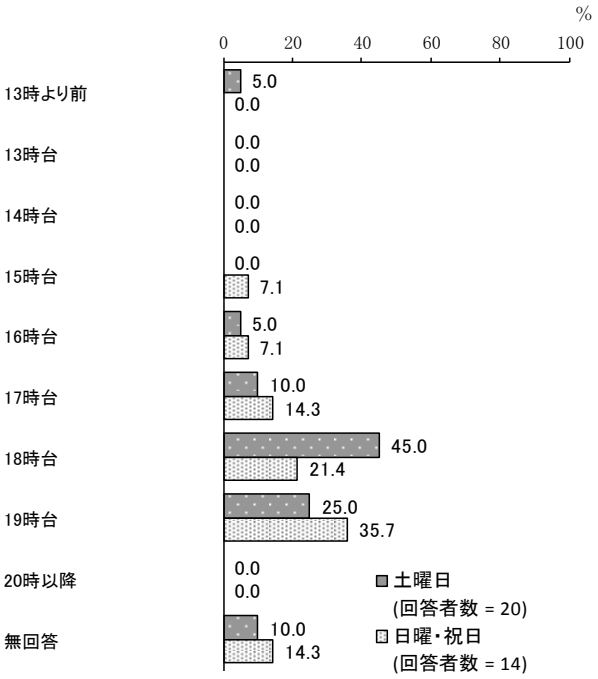
日曜日・祝日では、「７時台」、「８時台」の割合が 35.7％と最も高くなっています。



（ウ）利用終了時間

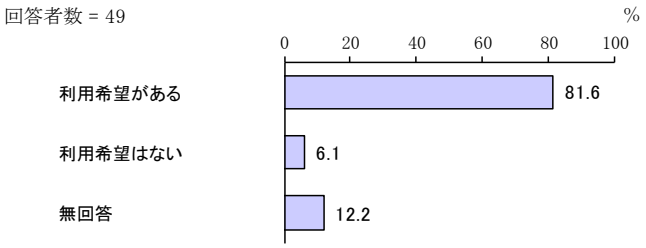
土曜日では、「18 時台」の割合が 45.0％と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 25.0％、「17 時台」の割合が 10.0％となっています。

日曜日・祝日では、「19 時台」の割合が 35.7％と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 21.4％、「17 時台」の割合が 14.3％となっています。



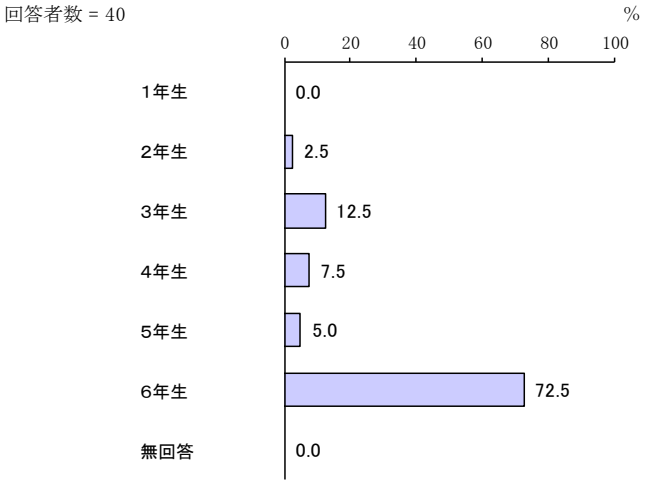
夏休み・冬休みなどの長期休暇中

「利用希望がある」の割合が 81.6%、「利用希望はない」の割合が 6.1%となっています。



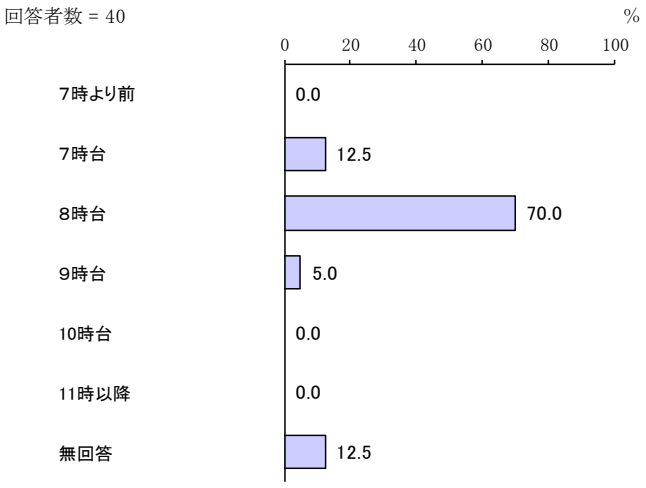
（ア）何年生まで利用したいか

「６年生」の割合が 72.5%と最も高く、次いで「３年生」の割合が 12.5%となっています。



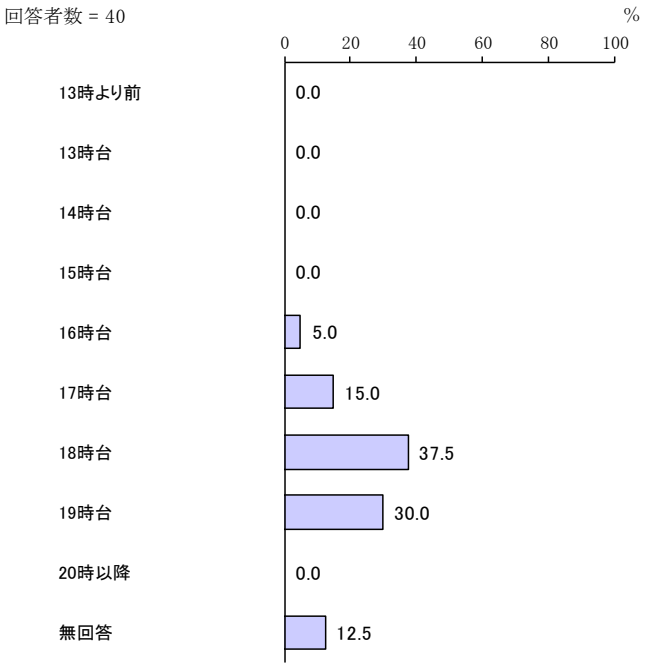
（イ）利用開始時間

「８時台」の割合が 70.0%と最も高く、次いで「７時台」の割合が 12.5%となっています。



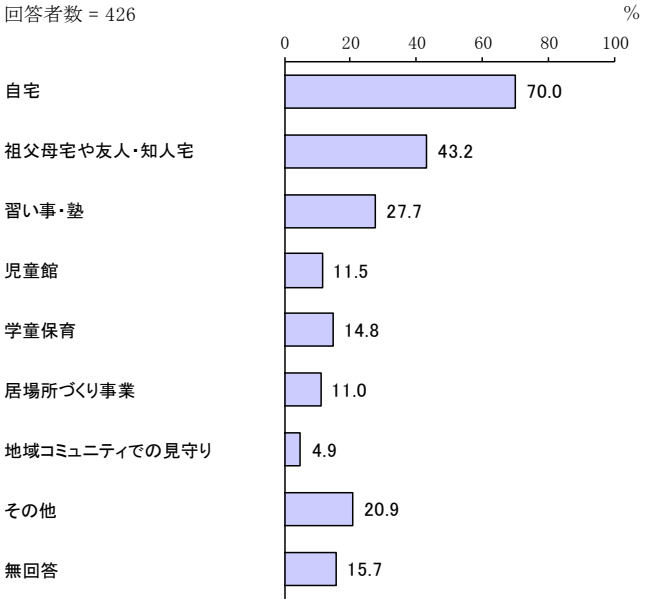
（ウ）利用終了時間

「18 時台」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 30.0%、「17 時台」の割合が 15.0%となっています。



問 18　宛名のお子さんについて、長期休暇中（夏休み等）の日中、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。《あてはまるすべてに○》

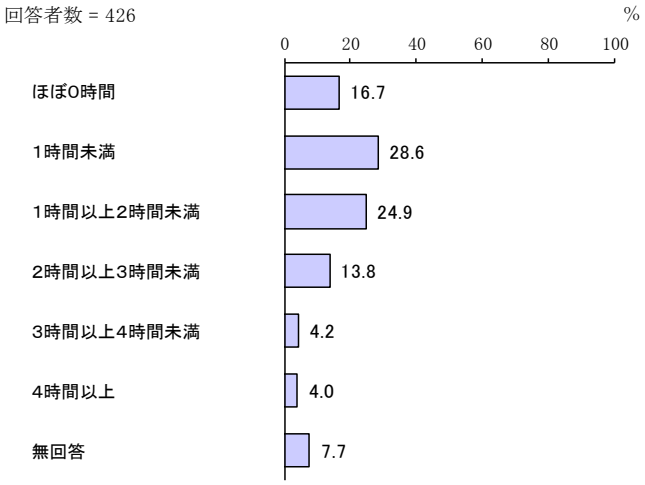
「自宅」の割合が 70.0%と最も高く、次いで「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が 43.2%、「習い事・塾」の割合が 27.7%となっています。



（６）生活状況について

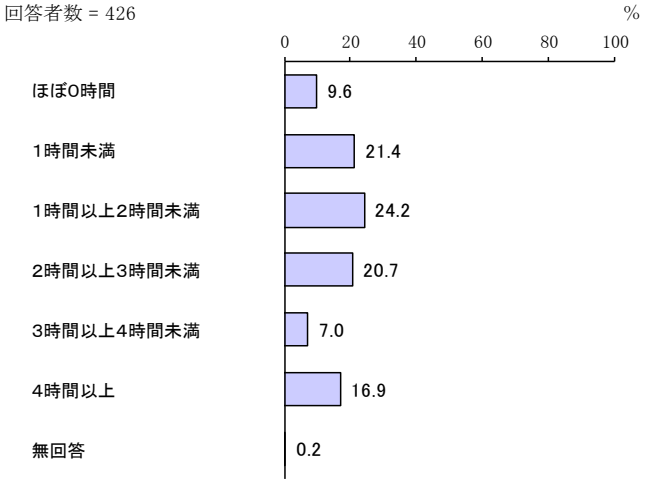
問 19　宛名のお子さんは、平日にスマートフォンやゲーム機等を利用している時間は１日平均どのくらいでしょうか。《あてはまる１つに○》

「１時間未満」の割合が 28.6％と最も高く、次いで「１時間以上２時間未満」の割合が 24.9％、「ほぼ０時間」の割合が 16.7％となっています。



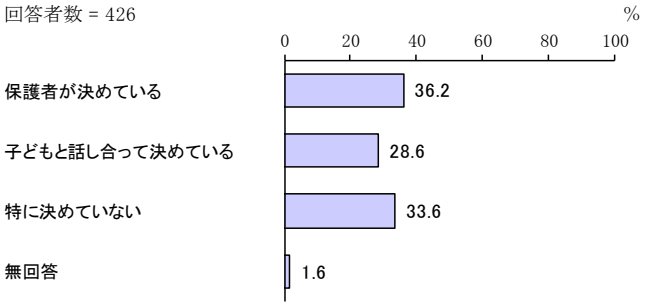
問 20　宛名のお子さんは、休日にスマートフォンやゲーム機等を利用している時間は１日平均どのくらいでしょうか。《あてはまる１つに○》

「１時間以上２時間未満」の割合が 24.2％と最も高く、次いで「１時間未満」の割合が 21.4％、「２時間以上３時間未満」の割合が 20.7％となっています。



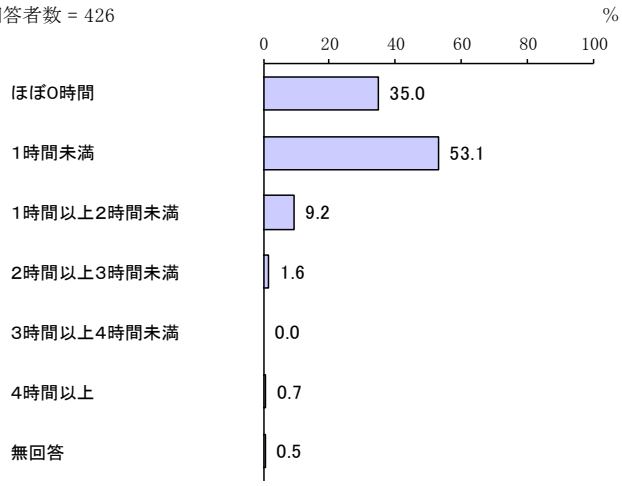
問 21　宛名のお子さんのスマートフォンやゲーム機等を利用する時間は決めていますか。《あてはまる１つに○》

「保護者が決めている」の割合が 36.2％と最も高く、次いで「特に決めていない」の割合が 33.6％、「子どもと話し合って決めている」の割合が 28.6％となっています。



問 22　宛名のお子さんは、ご家庭での読書時間は１日平均どのくらいでしょうか。（本・漫画・雑誌等、種類は問いません）《あてはまる１つに○》

「１時間未満」の割合が 53.1％と最も高く、次いで「ほぼ０時間」の割合が 35.0％となっています。



（７）子育て支援サービス全般について

問 23　次の市の事業やサービスごとに、Ａ～Ｃそれぞれ「１　はい」、「２　いいえ」のいずれかに○をつけてください。

知っているでは、⑬学童保育の割合が 96.5%と最も高く、次いで、⑦児童館の割合で 93.4%、⑫放課後子ども教室で 92.5%となっています。

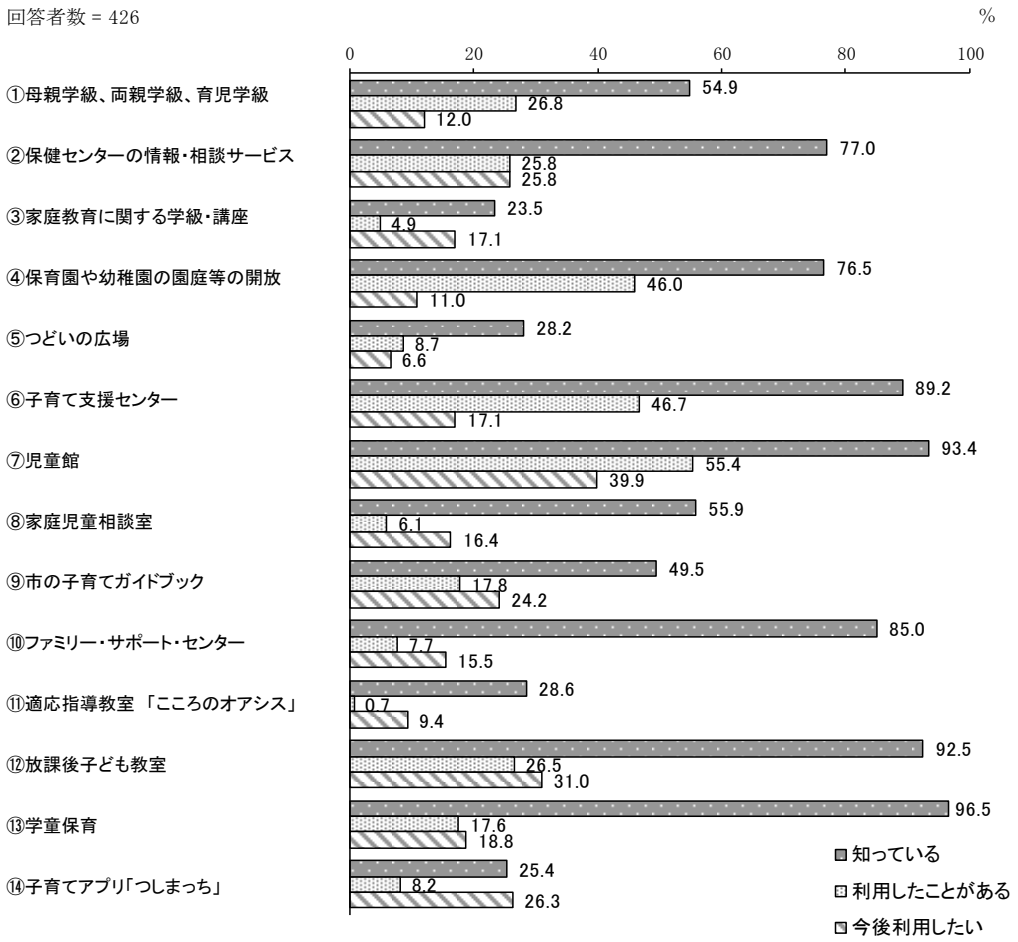
平成 25 年度調査と比較すると、④保育園や幼稚園の園庭等の開放、⑥子育て支援センター、⑨市の子育てガイドブック、⑫放課後子ども教室の割合が増加しています。一方、①母親学級、両親学級、育児学級、⑧家庭児童相談室の割合が減少しています。

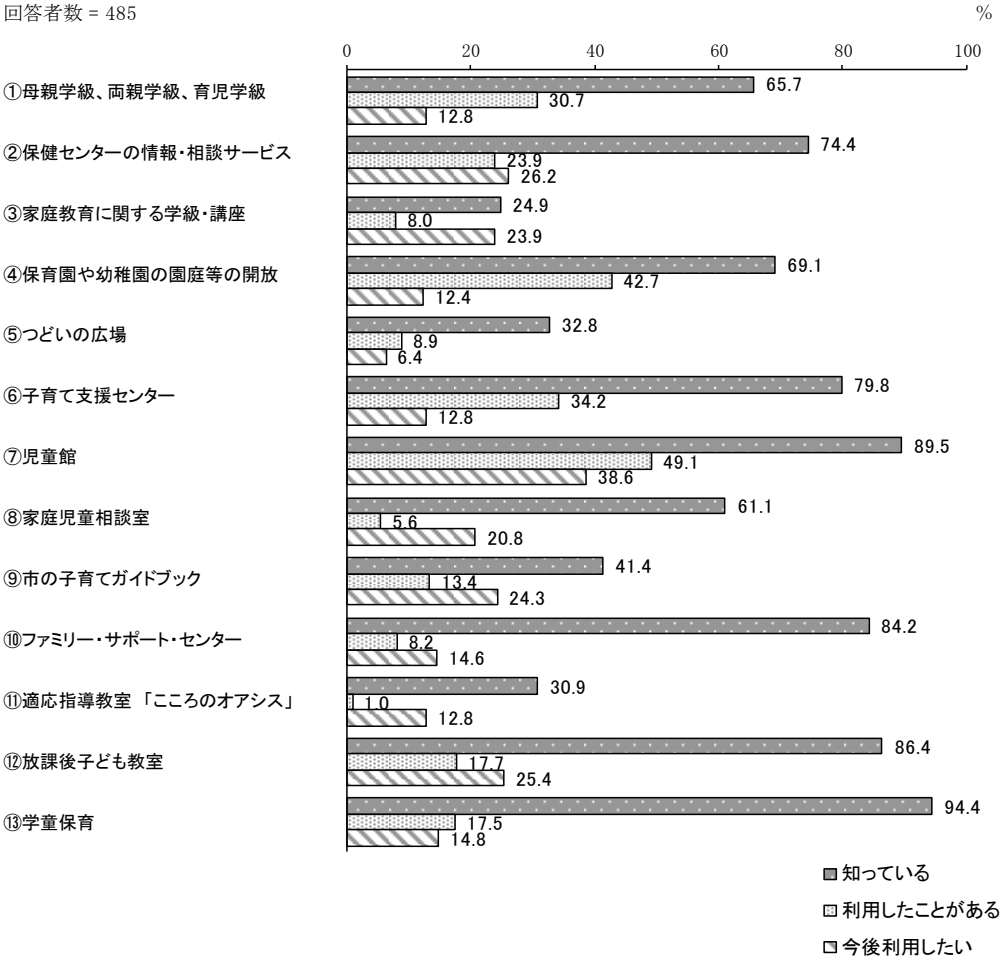
利用したことがあるでは、⑦児童館の割合が 55.4%と最も高く、次いで⑥子育て支援センターで 46.7%、④保育園や幼稚園の園庭等の開放で 46.0%、となっています。

平成 25 年度と比較すると、⑥子育て支援センター、⑦児童館、⑫放課後子ども教室の割合が増加しています。

今後利用したいでは、⑦児童館の割合が 39.9%と最も高く、次いで、⑫放課後子ども教室で 31.0%、⑭子育てアプリ「つしまっち」で 26.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、⑫放課後子ども教室の割合が増加しています。一方、③家庭教育に関する学級・講座の割合が減少しています。



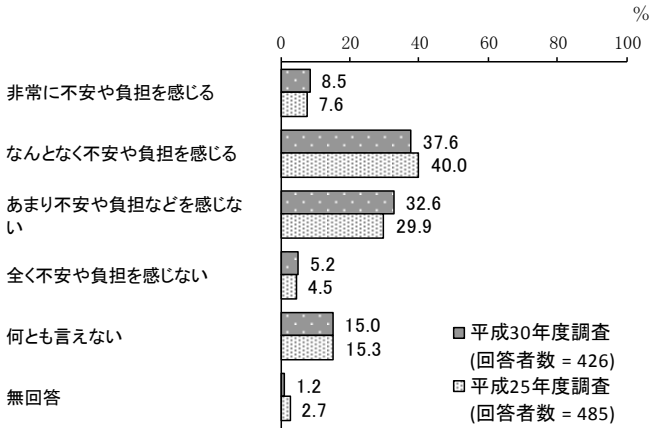


（８）子育て全般について

問 24　あなたは、子育てをどのように感じることが多いですか。《あてはまる１つに○》

「なんとなく不安や負担を感じる」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「あまり不安や負担などを感じない」の割合が 32.6%、「何とも言えない」の割合が 15.0%となっています。

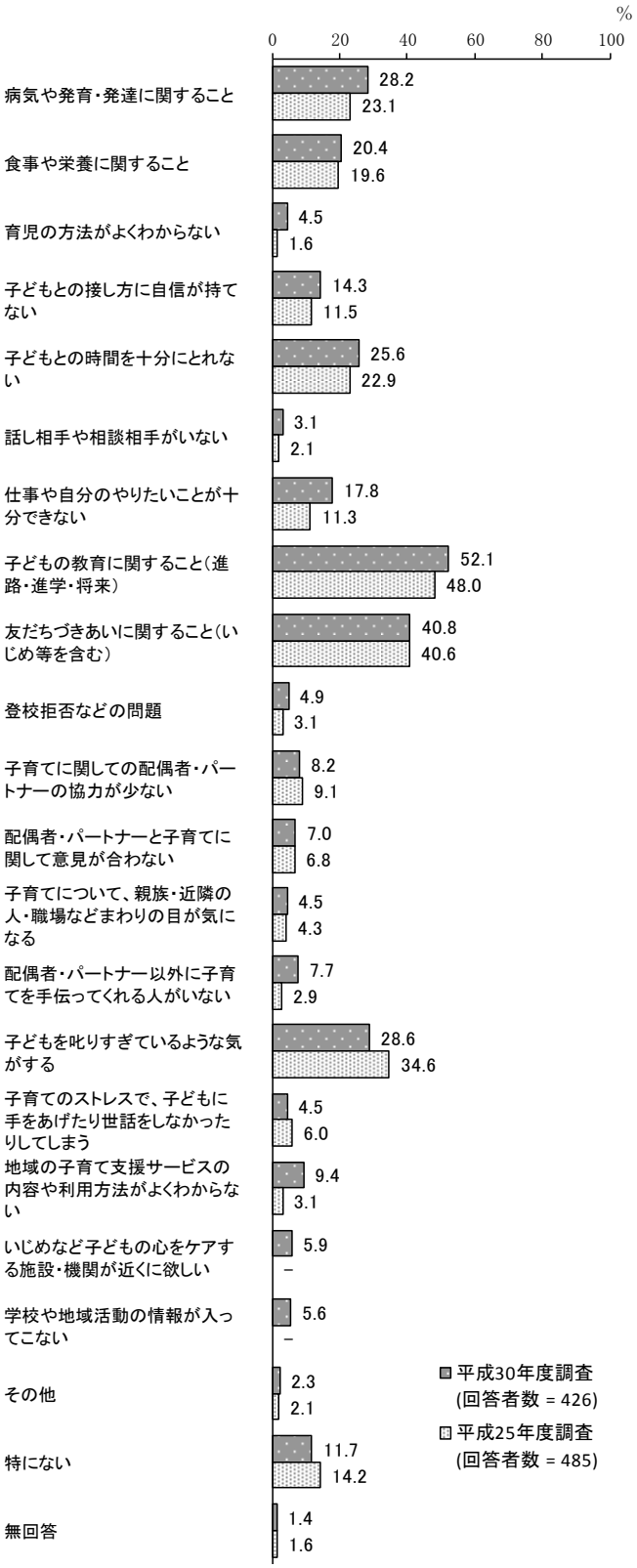
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 25　あなたが子育てに関して日常的に悩んでいること、気になることは何ですか。《あてはまるすべてに〇》

「子どもの教育に関すること（進路・進学・将来)」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「友だちづきあいに関すること（いじめ等を含む)」の割合が 40.8%、「子どもを叱りすぎているような気がする」の割合が 28.6%となっています。

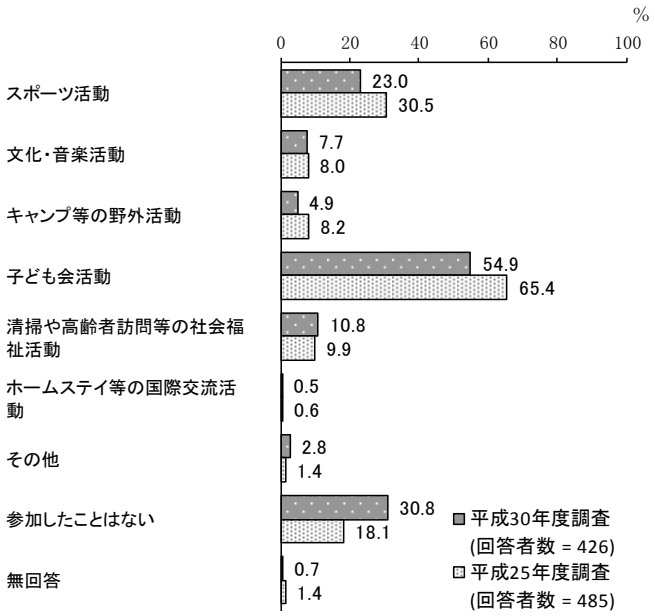
平成 25 年度調査と比較すると、「病気や発育・発達に関すること」「仕事や自分のやりたいことが十分できない」「地域の子育て支援サービスの内容や利用方法がよくわからない」の割合が増加しています。一方、「子どもを叱りすぎているような気がする」の割合が減少しています。



問 26　宛名のお子さんは、地域的なグループ活動へ参加したことがありますか。《あてはまるすべてに○》

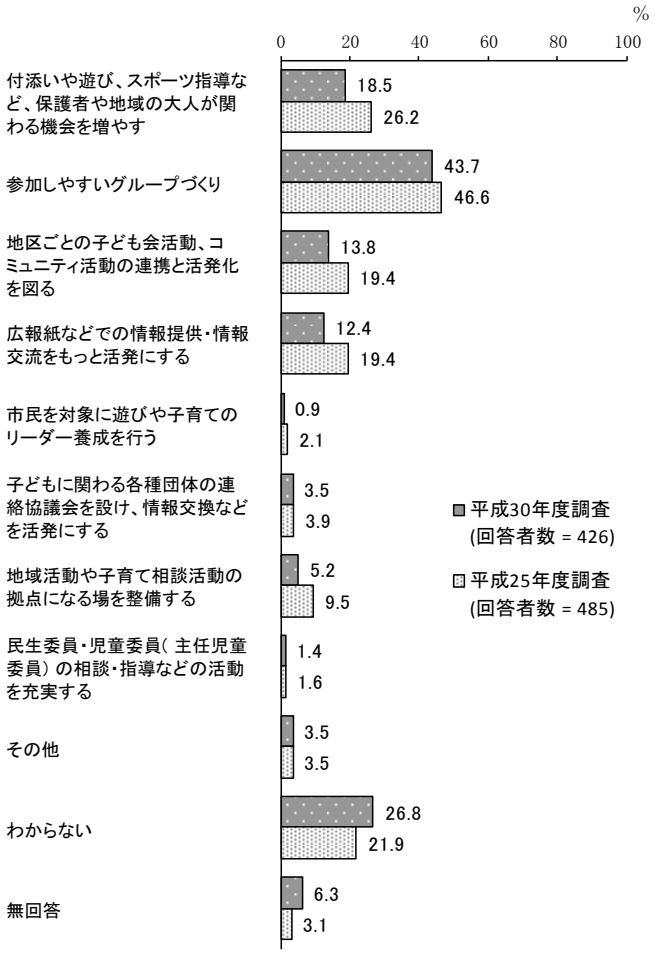
「子ども会活動」の割合が 54.9%と最も高く、次いで「参加したことはない」の割合が 30.8%、「スポーツ活動」の割合が 23.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「参加したことはない」の割合が増加しています。一方、「スポーツ活動」「子ども会活動」の割合が減少しています。



問 27　宛名のお子さんに関わる地域的なグループ活動をさらに活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。《あてはまる２つまでに○》

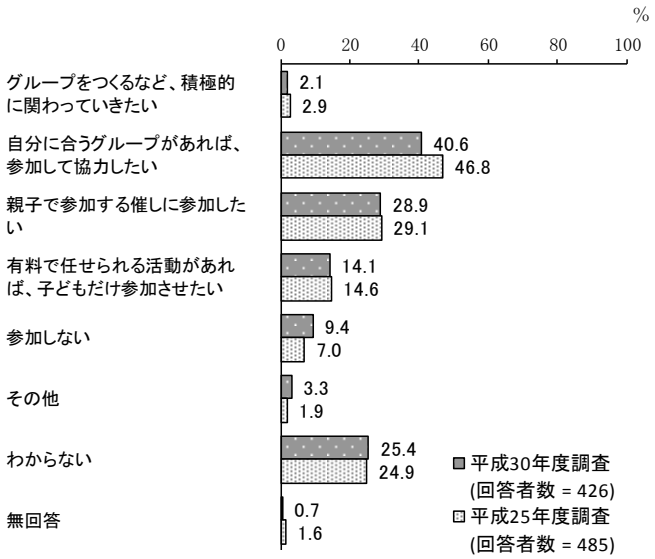
「参加しやすいグループづくり」の割合が 43.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 26.8%、「付添いや遊び、スポーツ指導など、保護者や地域の大人が関わる機会を増やす」の割合が 18.5%となっています。



問 28　あなたは、今後、宛名のお子さんに関わる地域活動に参加するつもりはありますか。《あてはまるすべてに○》

「自分に合うグループがあれば、参加して協力したい」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「親子で参加する催しに参加したい」の割合が 28.9%、「わからない」の割合が 25.4%となっています。

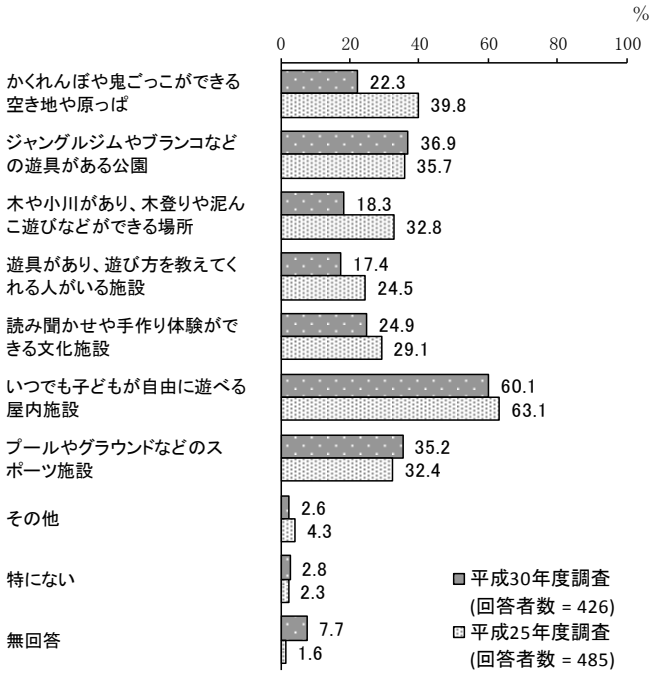
平成 25 年度調査と比較すると、「自分に合うグループがあれば、参加して協力したい」の割合が減少しています。



問 29　宛名のお子さんのために、近くにあったらと思うものは、特にどんなところですか。《主な３つまでに○》

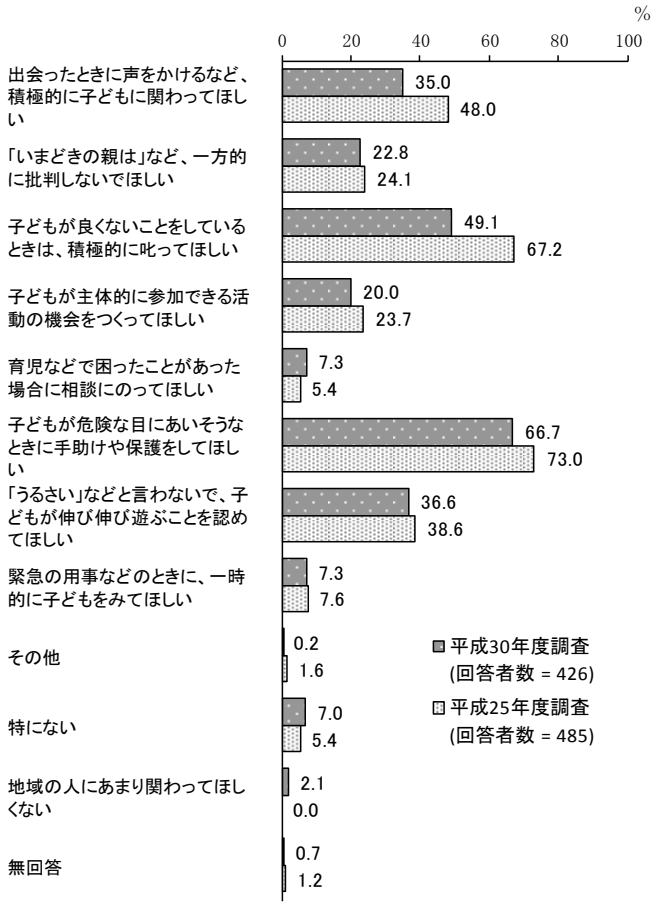
「いつでも子どもが自由に遊べる屋内施設」の割合が 60.1%と最も高く、次いで「ジャングルジムやブランコなどの遊具がある公園」の割合が 36.9%、「プールやグラウンドなどのスポーツ施設」の割合が 35.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「かくれんぼや鬼ごっこができる空き地や原っぱ」「木や小川があり、木登りや泥んこ遊びなどができる場所」「遊具があり、遊び方を教えてくれる人がいる施設」の割合が減少しています。



問 30　宛名のお子さんを子育てするうえで、地域の人に望みたいことはありますか。《あてはまるすべてに○》

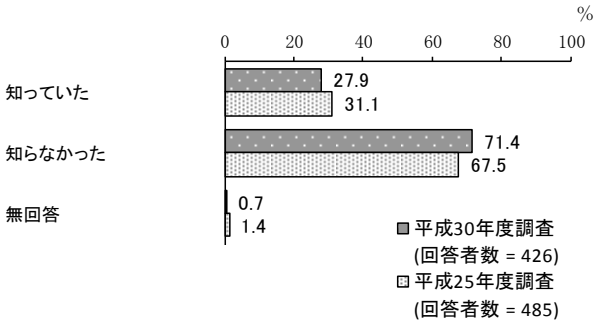
「子どもが危険な目にあいそうなときに手助けや保護をしてほしい」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「子どもが良くないことをしているときは､積極的に叱ってほしい」の割合が 49.1%、「「うるさい」などと言わないで、子どもが伸び伸び遊ぶことを認めてほしい」の割合が 36.6%となっています。



問 31　あなたは、児童虐待相談の窓口として児童相談所（海部児童・障害者相談センター）の他に、市が窓口になっていることを知っていますか。《あてはまる１つに○》

「知っていた」の割合が 27.9%、「知らなかった」の割合が 71.4%となっています。

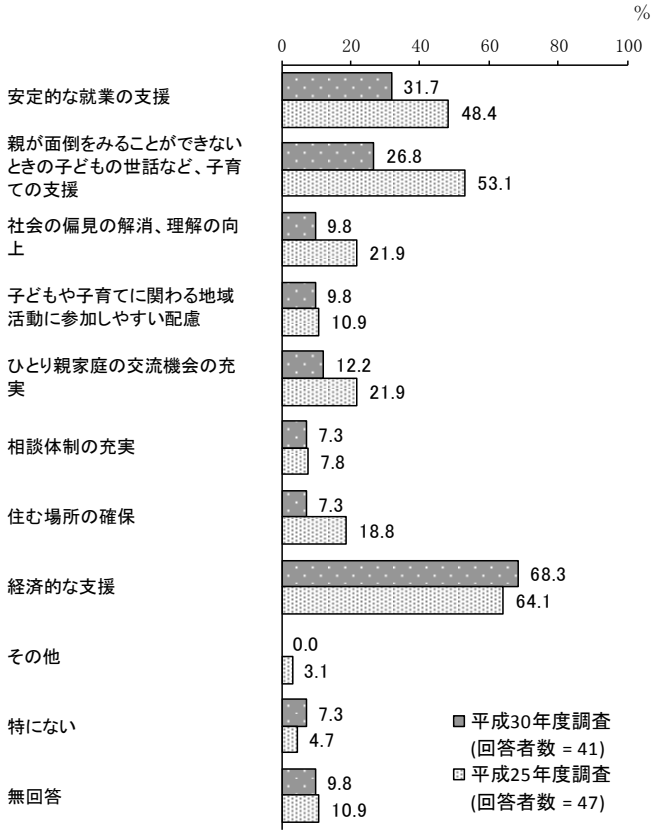
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 32　宛名のお子さんを育てるために必要な支援は、次のうちどれでしょうか。《主な３つまでに○》

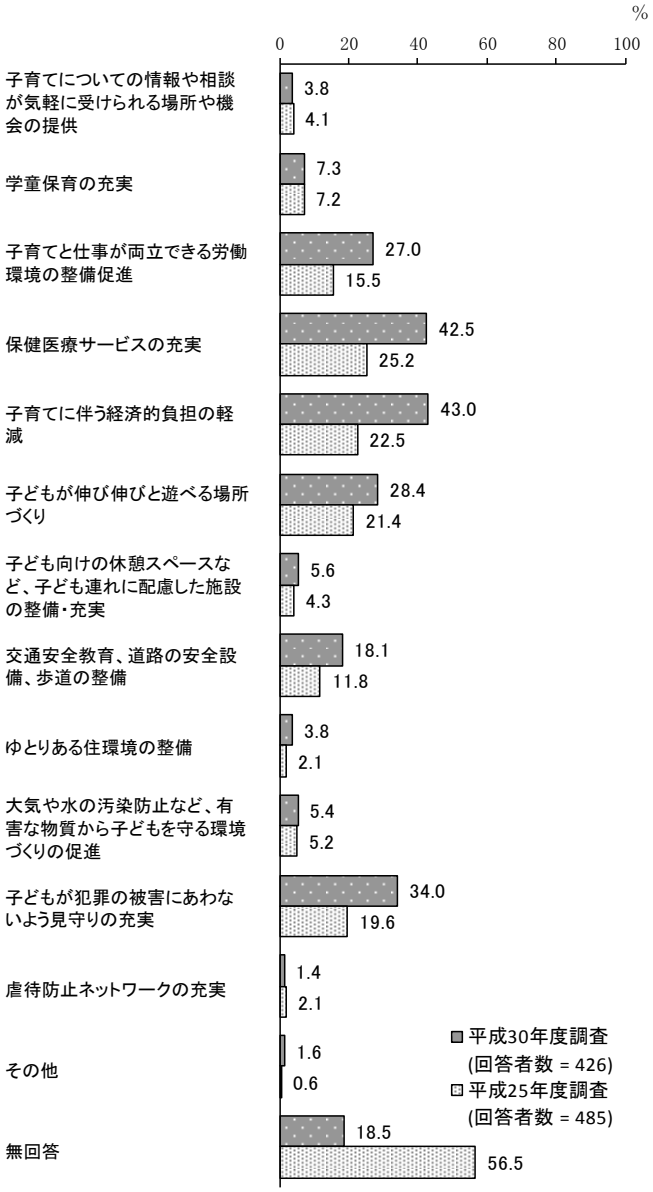
「経済的な支援」の割合が 68.3%と最も高く、次いで「安定的な就業の支援」の割合が 31.7%、「親が面倒をみることができないときの子どもの世話など、子育ての支援」の割合が 26.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「安定的な就業の支援」「親が面倒をみることができないときの子どもの世話など、子育ての支援」「社会の偏見の解消、理解の向上」「ひとり親家庭の交流機会の充実」「住む場所の確保」の割合が減少しています。



問 33　あなたは、宛名のお子さんを健やかに育てるために、今後、市・県・国にどのようなことを期待しますか。《主な３つまでに○》

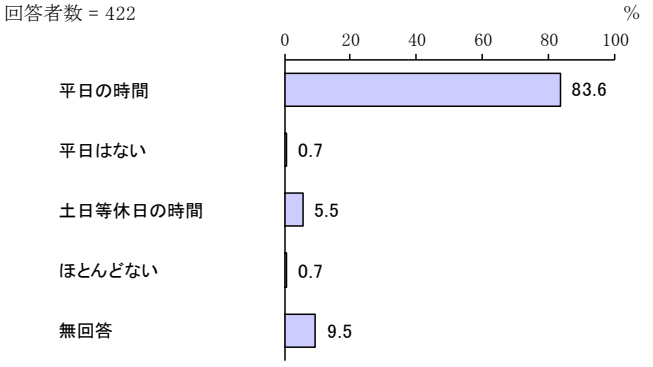
「子育てに伴う経済的負担の軽減」の割合が 43.0%と最も高く、次いで「保健医療サービスの充実」の割合が 42.5%、「子どもが犯罪の被害にあわないよう見守りの充実」の割合が 34.0%となっています。



問 34　宛名のお子さんと平日に会話をしたり一緒にいる時間についてお聞きします。《あてはまる１つに○》また、「１」または「３」を選択した場合は、具体的な時間をお書きください。

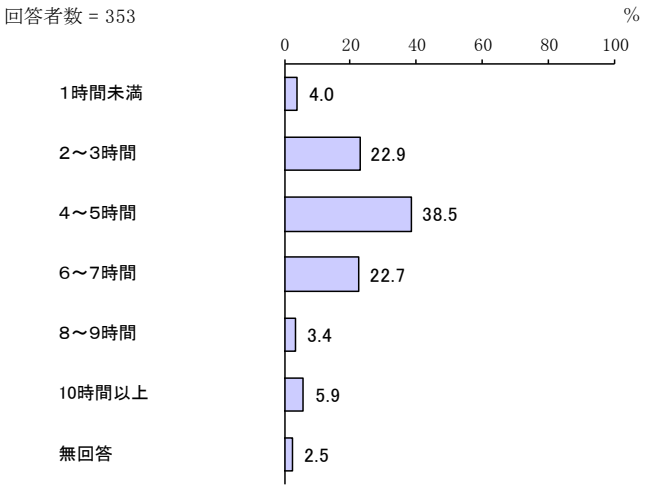
ア．母親

「平日の時間」の割合が 83.6%と最も高くなっています。



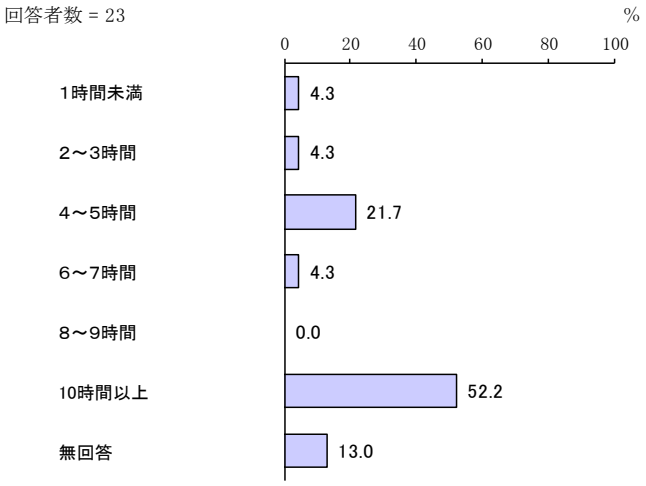
（ア）平日の時間

「４～５時間」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「２～３時間」の割合が 22.9%、「６～７時間」の割合が 22.7%となっています。



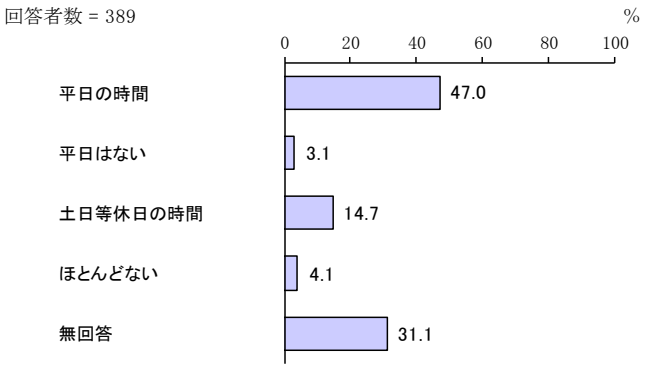
（イ）土日等休日の時間

「10 時間以上」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「４～５時間」の割合が 21.7%となっています。



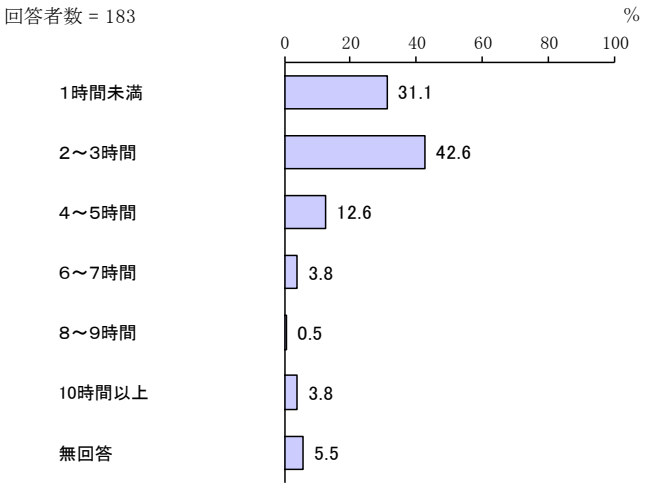
イ．父親

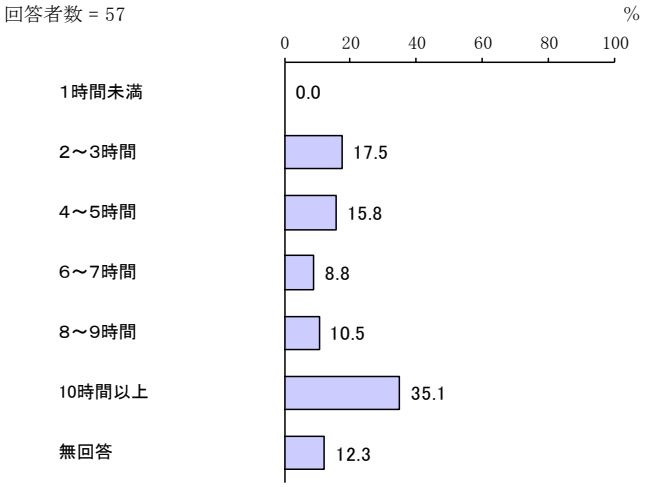
「平日の時間」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「土日等休日の時間」の割合が 14.7%となっています。



（ア）平日の時間

「２～３時間」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「１時間未満」の割合が 31.1%、「４～５時間」の割合が 12.6%となっています。



（イ）土日等休日の時間

「10 時間以上」の割合が 35.1%と最も高く、次いで「２～３時間」の割合が 17.5%、「４～５時間」の割合が 15.8%となっています。